Ⅳ．就学前児童の保護者へのグループヒアリング調査

１．調査の概要

（１）目的

就学前児童がいる世帯の保護者から、子育てに関する本音を引き出すこと。

（２）実施日時：平成 31 年 2 月 9 日（土)、10 日（日)、16 日（土）14:00～17:00

（３）会場：かでる 2.7 1050 会議室（2/9)、510 会議室（2/10・16）
（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

（４）参加者

○アンケート調査にて、グループヒアリング参加希望の有無を聞き、参加の意思を示した回答者から、居住区、この年齢等のバランスを勘案して抽出・打診した結果、計 49 名の参加を得た。

	＼区	中	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	横計
2月9日	母親	1		1	2	1	2	2	1		2	12
	父親					1						1
2月10日	母親	1	1	3	2	1	3	1	3	1	1	17
	父親		1									1
2月16日	母親	1	2	1	3	2	1	1		2	1	14
	父親					1	1			2		4
各区計		3	4	5	7	6	7	4	4	5	4	
母親計												43
父親計												6
総計												49

（5）実施方法

○「グループワーク Q&A 方式」にてグループヒアリングを行った。その手順は下記のとおりである。

①参加者に 3～5 名の A～D グループ（テーブル）に分かれてもらい、各テーブルにインタビュアー1 名を配置。
②インタビュアーは質問票を提示し、参加者はそれに応じた回答を手元の付箋に記入。
③記入後、各参加者は順番に模造紙（ワークシート）に付箋を貼り付けながらその内容を説明。
④インタビュアーは必要に応じて補足質問を行い、回答内容を付箋でワークシートに追記していく。
⑤参加者同士の会話（同意・反論、補足等）についても、インタビュアーは付箋にて記録。

○グループ分けは、各グループの人数がほぼ均等になるように行った。

（6）その他

○参加者にはグループヒアリング参加の謝礼として 3,000 円相当のクオカードを差し上げた。

２．グループヒアリング風景

主催者挨拶

グループヒアリングの進め方を説明

グループヒアリング風景

グループヒアリング風景

会場の全体風景

作成したワークシート

3．ヒアリング設問シート

質問項目や質問に関するアンケート調査結果を記した下記の A3 判のシートを参加者に提示しグループヒアリングを行った。

ヒアリング設問シート

0

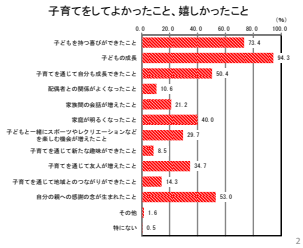
Q1
（自己紹介：お名前、区、
お子さんの人数・年齢・性別
…を言った上で）

子育てをしていて、一番楽しい・
うれしいことはなんですか？

1

Q2
子育てをしていて、どんな情報が
最もほしいですか？
または、どんな情報に最も
興味がありますか？

3



2

Q3
前問で回答いただいた
情報を含めて、
子育てに関する情報はどこで
入手することが多いですか？
（どこで入手する情報が
役立つと考えますか？）

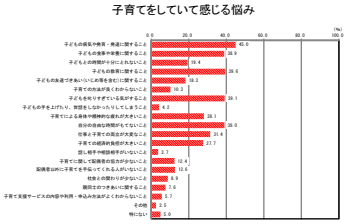
4

Q4
子育ての情報は、
どういった機会があれば／
どこだと／どのような媒体だと
入手しやすいと思いますか？
（イベント、講座、冊子、ウェブ…）

5

Q5
（1）子育てをしていて大変なこと、
困っていること・
困ったことはなんですか？
（2）それは、何があれば
解消できる／解消できたと
思いますか？

6

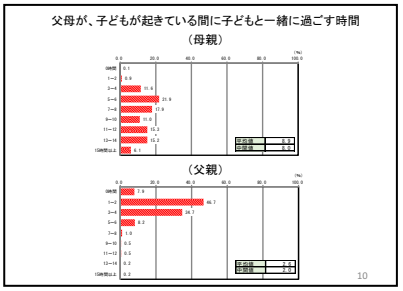


7

Q6
（1）あなたや配偶者の方が
働いている会社は
子育てしやすい職場ですか？
（Yes/No）
（2）どんなところが
子育てしやすい／
子育てしにくい ことに
つながっていますか？

8

Q7
（1）お子さんの父親、または
お父さん一般は積極的に
子育てに関わっていると
思いますか？
（2）どうすれば／どういう
働きかけがあれば、
父親・お父さん一般は
今より積極的に子育てに
関わるようになると思いますか？



10

Q8
（1）今、お子さんが通園しているのは
どれですか？【保育所、認定こども園、
幼稚園、通園していない】
（2）通園先を選んだ理由はなんですか？
通園していない場合は、どのような
基準・観点で選びたいと思いますか？
（3）通園先の良いところ、悪いところは
なんですか？

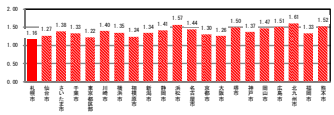
11

Q9
子育てに関して、他のまち・
地域で行っていることで、
札幌市でもあれば良い／
やってほしいと思うことを
教えてください
（どこのまち・地域の、
どんな取組か）。

12

Q10
（1）あなたは何人お子さんが
ほしいですか？
（2）その人数のお子さんを
安心して生み育てるためには、
何が必要だと思いますか？

13



14

Q11
子育てについて、一番札幌市に
やってほしいと思うことは
なんですか？

15

Q12
最後に、子育てについて
「札幌市にこれだけは
訴えたい！」ということが
あれば

16

４．グループヒアリング調査結果の概要

Q1　子育てをしていて、一番楽しい・うれしいことはなんですか？

○子どもの「成長」を具体的に感じられたとき、親である自分のことを「好き」「必要としている」と感じているときが多く挙げられた。

○一方で「なし」と回答した人も数名いる。

Q2　子育てをしていて、どんな情報が最もほしいですか？　または、どんな情報に最も興味がありますか？

○「子ども向けのイベント情報」「子どもと一緒に遊べるイベントや飲食店の情報」「おでかけスポット」「子どもが楽しめるスポット情報」「冬の遊び場所」など、子どもと行ける場所・催しについての意見が特に多く出された。

Q3　前問で回答いただいた情報を含めて、子育てに関する情報はどこで入手することが多いですか？（どこで入手する情報が役立つと考えますか？）

○「インターネット」と、「ママ友」「友人」が特に多く挙げられている。

○「インターネット」については、特定のサイトを挙げる人もいたが、ほとんどが検索サイトで検索し出てきた情報を見ている。

○「ママ友」「友人」からの口コミについて「一番信頼できる」との声が多く聞かれた。

○また、「保健センター」「学校や保育園から持ってくるプリント」「保育園の先生」「子育てサロンのスタッフ」「児童会館の先生」といった子育て支援施設・支援者も有力な情報入手ルートである。

Q4　子育ての情報は、どういった機会があれば／どこだと／どのような媒体だと入手しやすいと思いますか？（イベント、講座、冊子、ウェブ…）

○「Web」「ネット」「アプリ」「メールマガジン」「SNS」など、インターネット関連の言葉が比較的多く挙げられた。

○紙媒体として「チラシ」「冊子」なども多く挙げられている。

○情報を届けるためにはプッシュ型の媒体が必要だが、そういったものとしては「アプリ」「メルマガ」「メール」などが挙げられたほか、「スマホにメールを送ってもらうほうが入手しやすい」子育て世帯に向けた郵送物が届くことがベスト」という意見も出されている。

Q5　（1）子育てをしていて大変なこと、困っていること・困ったことはなんですか？（2）それは、何があれば解消できる／解消できたと思いますか？

○「大変なこと、困っていること」として「自身・子どもが病院に行く時」「子どもの病気」「子どもが病気になった時」が多く出された。

○その解消法としては「家事代行や早朝・夜間預かりのあるところをお知らせいただく」「夫が気軽に休める」「託児がある」「ベビーシッター等、手軽な利用」「病児保育・病後児保育・ベビーシッター、もっと利用しやすくなれば」「気軽に利用できる病児保育施設。さらにお迎えをしてくれるとうれしい」など、ベビーシッター、利用しやすい病児保育などのサービ

スに関する意見が出された。

Q6　（1）あなたや配偶者の方が働いている会社は子育てしやすい職場ですか？（Yes/No）（2）どんなところが子育てしやすい／子育てしにくいことにつながっていますか？

○回答を聞くと、育休等子育て支援制度の有無よりも「同じくらいの子どもがいる家庭が多く、大変さが分かってもらえる」「子育て世代の人が職場や同僚にいないので理解してもらえない〔制度はあるが利用しにくい雰囲気がある〕」「子育て中の同僚が多く、理解がある」など、職場・同僚に子育てへの理解があるかどうかが、子育てしやすい職場かどうかを左右する大きな要素であると考えられる。

Q7　（1）お子さんの父親、またはお父さん一般は積極的に子育てに関わっていると思いますか？（2）どうすれば／どういう働きかけがあれば、父親・お父さん一般は今より積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

○（2）について、父親本人からは「仕事を優先しなければならない現実の改善」「行政から5歳までは超過勤務をしないように働きかける」「育休」「仕事が減れば」などの声が上げられた。

○母親からも「育休が当たり前になる」「1ヶ月に1回でも定時に退社できるようにしてほしい」「企業の子育てに対する協力があれば」など、社会・職場における意識・制度の変革についての意見が多く挙げられている。

Q8　（1）今、お子さんが通園しているのはどれですか？【保育所、認定こども園、幼稚園、通園していない】（2）通園先を選んだ理由はなんですか？通園していない場合は、どのような基準・観点で選びたいと思いますか？（3）通園先の良いところ、悪いところはなんですか？

○（2）については「立地」「自宅から近い」「仕事場から近い」「家から近い。またはバスがある」など「アクセスの良さ」についての声が多く聞かれた。

○（3）について「悪いところ」はあまり上げられなかった。「良いところ」としては「先生の質」「先生が一生懸命」「先生が優しい」「先生同士の連携が良い」「園長や先生の対応が良い」など、保育士・教諭の姿勢に関する意見が多く挙げられている。

Q9　子育てに関して、他のまち・地域で行っていることで、札幌市でもあれば良い／やってほしいと思うことを教えてください（どこのまち・地域の、どんな取組か）。

○他の市町村で行われている取組として、特に、医療費・予防接種に関する助成や、冬期等の遊び場について多く挙げられた。

○特に興味深く聞いたのが、春日部市の子育てサロンに関する取組である。「申込制なので、ママ友ができやすい」「マッチング（近い人同士）もしてくれる」など、母親同士のつながりづくりに注力した取組ということであった。

Q10　（1）あなたは何人お子さんがほしいですか？（2）その人数のお子さんを安心して生み育てるためには、何が必要だと思いますか？

○全員が「2 人」以上と答えた。「2～3 人」や「3 人」以上も 49 人中 24 名おり、中には「5 人」「若ければ何人でも」と回答した方もいた。

○（2）については、「お金」「経済面」「助成金」「医療費、教育費」「金銭的なもの（助成）」など、金銭・経済面が最も大きな要素と考えられていることがわかる。

○一方で「地域の方々との交流」「周りからのサポート」「働きながら子育てしやすい社会」「地域の助け」「人付き合い」といった、地域・社会からのサポートについて挙げられていることも注目される。

Q11　子育てについて、一番札幌市にやってほしいと思うことはなんですか？

○多く出されたのが Q10 と同様、医療費・教育費等の助成・軽減・無料化に関する意見であった。

○そのほか「遊び場」「保育園を増やす」「待機児童を減らす」等、多様な事柄に関する意見が出されている。

Q12　最後に、子育てについて「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば

○ここまでに挙げたことに加えて何か言い残したことがあれば挙げていただくために設けた設問である。

○特に興味深く聞いた意見の一つが「発達に不安のある子や保護者の心のケアを。または、そのケアをしてくれる場所の具体的な案内をしてほしい」「発達障がいのある子どもが地域できちんと成長していけるよう、サポート体制を充実してほしい」という意見である。

５．グループヒアリング全回答結果

Q1　子育てをしていて、一番楽しい・うれしいことはなんですか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中１	母･0 歳 10 ヶ月	（なし）
中２	母･3 歳 4 ヶ月	子どもから「大好き」「ありがとう」などと言われることがうれしい（親として認められている）〔親の存在が認められているような時がうれしい。ふとした時に言われるのがうれしい〕
中３	母･4 歳 5 ヶ月	子ども達の笑顔を見ること。成長を支えて、その姿を見守ることができること〔1 歳長女が歩きはじめたので感動。4 歳長男はひらがなを覚えた〕
北１	父･2 歳 2 ヶ月	「初めてできた」を見た時（言葉、体、何でも）
北２	母･2 歳 5 ヶ月	子どもが笑顔で抱きついてくれる時（必要としてくれていると実感する時）〔子どもが自分を必要としてくれているようでうれしい〕
北３	母･3 歳 11 ヶ月	（なし）
北４	母･4 歳 2 ヶ月	トイレができた時。自分でご飯を食べる時。子どもに何気なく「好き」と言われた時〔トイレトレーニングが難しかったが、できるようになった。自分でできる事が増えていく〕
東１	母･1 歳 11 ヶ月	言葉が増えてきて「お母さん」と言ってくれたこと
東２	母･2 歳 10 ヶ月	子どもが新しい単語を言えるようになったり、お手伝いできたり、成長が感じられること
東３	母･2 歳 11 ヶ月	子どもの成長が感じた時（ひとりでお風呂に入れるようになった。小さい子のお世話をするようになった）〔お姉さんらしさを感じた時〕
東４	母･3 歳 4 ヶ月	子どもから「大好き」と言われる時〔寝てるとき、子どもが 3 人とも寄ってくる（父親より多い）〕
東５	母･4 歳 5 ヶ月	子どもが笑って楽しそうにしている姿を見られること
白１	母･2 歳 3 ヶ月	絵本を読んだり、一緒に遊んだりするなかでいろいろと覚えていることが増えてきた時〔言葉や色等〕
白２	母･2 歳 8 ヶ月	遊んでいる時、成長を感じられた時〔昨日できなかったことができるようになる。最近、トイレトレーニングが難航していたが、大を伝えられるようになった〕
白３	母･3 歳 11 ヶ月	子どもが自分でできることが増えていくこと〔子どもは頑張っていてえらいし、かわいい。自分も楽になる〕
白４	母･3 歳 4 ヶ月	（なし）
白５	母･5 歳 11 ヶ月	（なし）
白６	母･5 歳 2 ヶ月	新しいことができた時〔ひらがなが書けるようになったり、下の込み読み聞かせたり〕
白７	母･5 歳 7 ヶ月	元気にいつも遊んでくれている
厚１	父･1 歳 11 ヶ月	子どもの笑顔と、できなかったことができるようになった時〔でんぐり返しができた時と、母親と一緒にお菓子作りをした時〕
厚２	父･2 歳 4 ヶ月	一緒にお風呂に入って、その日のあったことを話すこと〔単語しか出てこないが、たまに文章が出てくる〕
厚３	母･3 歳 5 ヶ月	何気ない会話で成長を感じた時。子どもの個性を見つけた時〔こだわり・個性がすでに見て取れる〕
厚４	母･4 歳 5 ヶ月	（なし）
厚５	母･5 歳 3 ヶ月	子どもの成長を見続けた時が一番うれしい〔（下の子）寝返りをうったりしゃべるようになったり。（上の子）自分で何かをやり出そうとしたこと〕
厚６	母･5 歳 4 ヶ月	参観日に行ったときなど、親が来たことを喜んでくれること

Q1 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	猫と猫じゃらしで遊んでいた時。ハイハイで近寄ってきてくれたこと
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	子どもの成長を感じられた時（ゴミを捨てられる。自分でご飯を食べられる等）〔ごみを自分でごみ箱に捨てられるようになった。片づけをするになった〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	最近、おしゃべりがたくさんできるようになり、知らないうちに言葉を覚えているところ
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	成長が表に見えた時。子どもならではの発想や間違い、仕草が面白い時〔手紙を書く、感じたこと・ハッとするような様子が成長を感じる〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	子どもと会話したり一緒に歌ったりしている時。お迎えに行った際、走ってきて抱きついてくる時〔保育所〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	ほっと一息入れているときに、息子たちが「ママー」とくっついてくる時
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	できることが増えていく〔会話が普通にできるようになった。ゲームも一緒にやったり、これから一緒にやることを考えたり〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	子どもと遊んでいるとき。子どもがいないと行けないところに行けるようになる。家族の行事が増えた〔児童会館やプラネタリウムなどによく行く。最近行った行事は「一升餅（誕生餅）」〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	子どもの「できること」が増えた時。帰宅した際に笑ってくれた時〔成長→言葉ができるように〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	子どもの成長を感じること〔（上の子）ピアノ学級で弾く機会が増えた（卒業式でも弾くことになった）。（中の子）友達付き合い。スキーが滑れるようになった。（下の子）言葉がしゃべれるようになった〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	子どもが「できた」と笑顔で言ってくれた時
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	できなかったことをできるようになる、などの成果が見られること〔成長自体が嬉しいし、自分の負担も楽になる。最近、次女 1 歳 2 か月はワンワンとニャンニャンと言い分けられるようになった。長女 10 歳は 47 都道府県を覚えた〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	知らない間に成長していること。ビックリと喜びがあります
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	毎日忙しいが、子どもの会話で盛り上がること〔（大変なことも多々あるけど）皆でそれぞれの状況を話し合ったりしていることを見たり協力し合ったりしているところ。地域には 4～5 人兄弟が結構いる〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	ふとした瞬間に自分のところに授かってくれてよかったと感じる時（寝顔など）。子どもしか思いつかないことを聞けた時〔面白い発想を聞けること〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	昨日はできなかった事も今日できた時〔ミルクをこぼさず飲めるようになった（生後 4 ヶ月くらい）〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	健やかに元気に育ってくれていること。健康が一番！
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	日々の成長が見られる（寝返り、少しのコミュニケーション等）
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	親族・家族の笑顔。生きがい。父母に子どもを預かってもらって、楽しく遊んでいるらしい〔話を聞くことがうれしい〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	成長していくにつれ、どんどん大人びたことを話してくれたり、できないことをどんどんできるようになっていくこと（自転車等）〔去年できなかったことができるように（自転車の補助輪が片方外れた）〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	産まれた時はあんなに小さかったのに、今ではたくさんお話したりダンスをできるようになったこと
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	心配してくれたり、言葉などに好意を感じる時〔言葉で思いやりを示してくれて、どんどん人間らしくなっていくことがうれしい〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	子どもの成長を感じる出来事があった時。子どもとの会話が弾んだり、一緒に笑っている時
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	同じ時間を子どもと共有して、感動を分かち合えること（アウトドア、舞台を見る、など）〔同じ体験、同じ時間を共有し、感動を分かち合う〕

Q2　子育てをしていて、どんな情報が最もほしいですか？　または、どんな情報に最も興味がありますか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	季節ごとの遊べる施設。同じ年齢の子どもの交流場所。保育園
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	子ども向けのイベント情報と、保育園の情報（他施設との比較や制度的なこと）〔幼児向けや親子連れ向けのイベント情報を発信してほしい。2 人目ができた時、どうすれば保育園に入れるのか、制度的な情報がほしい。テレビの d ボタンで見るよりも紙媒体の方が便利〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	子どもの参加できるイベント。遊べる場所〔Amebro で在札ブロガーのページを見る。他はイベント情報書込みサイト〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	一時・短期で預かりができる場所やサービスが欲しい〔急病時に預けることができず、4 時間かけて実家まで行ったことがあった〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	教育費が小学校・中学校・高校でそれぞれいくらかかるか知りたい（学費、制服代、給食費、修学旅行代など）〔公立や私立による違いも知りたい〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	10 月からスタートする保育料無償化の内容（保育園に入れるかどうか）
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）子どもを簡単に預けられる。（2）ママ Navi では託児付き講座を探すことができる。地域限定の子育てサイト、親子で学べる・遊べる場所〔（1）短時間の一時預かり、一日預かりなど。情報はあるが結局電話したり見学しないと正確な情報を把握できない。電話で問合せて見学に行ったのに「今はやっていない」と言われたこともあった。（2）ママ Navi に託児付イベントが載っている〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	おでかけスポット。病院（どこに行けば良いか）〔病院に関するネットや口コミの情報はあまり参考にならない。札幌市の子育てアプリもダウンロードしているが、ちょっと見にくいため（字が小さい、情報のありかがわかりにくい）使いこなせていない〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	子どもと一緒に遊べるイベントや飲食店の情報を年齢別にしてほしい〔飲食店では子どものイスやエプロンなど、イベントでは 0 歳児が参加できるかどうかといった情報がほしい〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	制度・予防接種・イベント情報について〔医療費助成などの制度／予防接種の変更情報／子ども向け遊びイベント〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（お得な）学び場、遊び場、ワークショップなど〔テーマパークなどではなく、日常的に遊べる・学べる場所。大きい子も小さい子も一緒になって遊べる場所〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	習い事、勉強を就学前にどこまで行えば良いのか〔Web サイト、知人から教えてもらっている〕
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	生まれてからすぐの子育てについて（授乳、3 時間睡眠など）〔生んだ直後、どうすれば良いかわからなかった。母親学級など〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	どうしたら眠るようになるのか。子育ての方針〔グーグルで「2 歳児　どうしたら寝るか」などで検索する。自分の子育ての方針が正しいのか不安。検索の結果、「Yahoo 知恵袋」「教えて goo」「発言小町」を見ることが多い〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）子どもが楽しめるスポット情報。（2）体調不良の際の対応の仕方など〔（1）子どもの体力を消耗できる遊び場探し。子どもは元気で力があり余っている。子どもの習い事や教室選びも情報がわかりにくい。お迎えが必要かどうかなど。（2）具合が悪いときに病院に行くべきかどうか判断に悩む。また何なら食べられるかわからないときもある〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	イベントや催し物などの情報があるとうれしい。小学校や幼稚園の内部の情報がほしい
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	療育。健康・発達のこと〔他の学校のこと（学校の雰囲気・学習の進め方）を知りたい〕
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	年齢に応じた発達など、5 歳児の場合はどんなことができて、どのような行動が多くみられるのか〔正しい情報、信頼できる情報〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	習い事〔習い事の情報がまとまらない。Web サイト中心だが参考にならない〕

Q2 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	幼稚園に関する情報と、市で運営している遊び場があれば教えてほしい〔実際にその幼稚園が無償化になるのか。江別市のぽこあぽこのようなスポット、札幌市にはないのか…。岩見沢であえーる、おおどりんこ〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	子ども（同年代）相手の情報〔どういうことを考えているのか、どういうことに興味があるのか〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	近場で今すぐ遊べる集まりの情報。家での遊びのバリエーションを知りたい〔近場（徒歩圏）で遊べる場所。子どもと親が一対一で遊べる（大人も楽しい）内容〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	子どもをどこで遊ばせているか（特に冬）。利用しているサービスなど（年齢別に）
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	子どもと出かけられる場所や小さな子を連れていけるイベントについて〔毎日検索して調べているが見つからない。春日部市は毎日のようにイベントがあった。ベビーマッサージ、親子ヨガ、親子体操、毎週のようにやっていた（春日部市）〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	病気やケガの際の受診場所を明確に！詳しいガイドなど〔簡単なカタログ〕
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	一時預かりの空き状況（保育所の）。保育所応募順位をネットで見たい〔保育所の応募順位は毎月 1 回くらい電話で確認している。ホームページとパスワードなどで見られるとよいのだが。結局保育所は決まったが、第 4 志望で徒歩 25 分と遠い。変更も考えたが入れなくなってしまうよりは良い。小規模保育園 1 人の募集に 30 人くらいの応募がある状況だった〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）外出時の授乳室・おむつ室の有無や場所。飲食店の小上がりの有無。（2）成長や発達への不安。0 歳の時は母子手帳や web サイト「ママリ」、札幌市から配布された資料で成長を確認していた。1 歳になった時は特に調べてない〔（1）授乳・おむつ替えの場所がわかりにくい。ベビーベッドやシートの有無なども含めて情報があると助かる。デパートには授乳・おむつ替えのコーナーが大抵設置されているが、上の階にしかないのが少し不便。（2）0 歳児の成長過程は「ママリ」で確認できた〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	子どもが病気になった時の預け先が分からない〔病児のサポート情報、もっとほしい〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	小さい子と一緒に出掛けられるイベント〔年齢に差があると、上の子は参加できても下の子はダメ、という事が良くある。なかなか、かゆいところに手が届くような情報がない〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	子どもを連れていけるイベント・遊びなどの情報（Web サイトだけだと詳細がわからないことが多い）〔まとまったサイトがあれば。細かいことがわからない（駐車場・並ぶのかどうか、など）。トミカ博〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	子育てがお互いストレスフリーになる事例などが知りたい〔子育てを楽にする工夫を知りたい。セミナーもあれば〕
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	はやりなど〔おもちゃ、遊び、年齢によりかかりやすい病気〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）病気やケガの情報。（2）遊びのイベント。冬の遊び場所〔（1）病院に行くべきかどうか、信用できる情報。（2）公園は冬だと行けなくなるので、室内で思い切り遊べるようなイベントや場所を探している。広報さっぽろや新聞・チラシなどで探すことが多い〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	同じ位の月齢の子どもの様子（こんなことができるようになってくる等）〔聞ける人がいない→ネット・ブログ〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	長女の子育て、初めてのこと。他の子はどんな成長をしていて、どの程度（どこまで）できるか〔一般的な発達状況って？〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	何歳までに、どこまでできるようになったら良いのか。交流イベントなど、子どもが参加できる行事の情報〔トイレトレーニングや「あいうえお」の練習／「もりのようちえん」などは抽選で参加できないこともある。参加できそうなものの情報が多くほしい〕

Q2 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	小児科、幼稚園、保育園のリアルな評判〔ネット、口コミは古い内容も多く、参考にならないことが多い。病院であれば行ってみないとわからない。保育園は選ぶ余地がない。保育園の評判を思い切って区の保健センターの方に聞いてみたが、やはり「言えない」とのことだった〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	病気の症状。小さな違いについて、もっと詳しく知りたい（ネットで）〔ケース別の症状診断をネットで。病院の駐車場、交通〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	休日の病院（昔ですが）〔14 年前、ネットも普及してなかった（特に最初の子は不安）。子ども多いとなおさら大変〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	子どもメインで楽しめる無料（もしくは安い）イベント。病院、公園〔子育てサロン、親子ヨガ。親子で楽しめるふれあい遊び。わざわざ子どもが多い公園に車で行くことも〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	病気やケガをしたときの対処法や最適な病院の情報〔病院の口コミサイト（この症状にはこの病院）。#7119 も利用している（救急車を呼ぶべきかどうか）。#8000 とは違うので、自分で判断しないと使えない〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	保育所の詳しい情報〔実際に行ってみてわかることがある。基本的情報を一覧で見たい〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（なし）〔（夫）社会福祉士、（妻）保育士なので、すでに知っている。「発達」はあまり気にならない。そのうち追い付く。帳尻が合う〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	遊び場。特に近所の施設。飲食店など走り回れる場所（民間問わず）〔特に札幌は広い場所がない（例：旭川もりもりパーク）。まとめサイトみたいなものがあれば〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	朝、調子が悪い時に物差しになるサイト（他には成長が遅い時とか）。お買い得な育児グッズサイト、口コミ病院サイト。イベント情報（札幌近辺）〔当時は#8000 に電話して相談した（周知が足りない）〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	お金と時間さえあれば、何十人でも子どもが欲しいと思いますが…。ズバリ 1 人あたりどれくらい貯金すればいいのか？〔子どもを育てるのに優しい地区は〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）病気や成長過程で不安なこと。遊びに行くところ。ママ友と子どもがゆっくりできるところ。（2）イベント情報（混雑具合も）。幼稚園〔（1）年の離れた姉妹共通の遊び場探し。年齢が離れているので一緒に楽しめるものが少なくなってきた。家族で一緒にでかけられなくなりそう。病院についてはでかえって感染しそうで心配。病院に行くべきか、どの病院に行くべきか、また診療科はどこか判断に悩む。習い事にも通っているが、本人が本当にやりたいと思っているか、他の習い事のほうがよいのか悩む〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	病児預かりサービスの詳細（早朝・夜間の預かりを実施しているサービスがあるかどうか）。子どもが楽しめるイベント〔緊急サポートの使い勝手に関する情報が少ない（いつからサービスがほしいのか。電話対応もイマイチ）。近隣のつながりが少ない中で、子ども達を早朝・夜間に預かってくれる場が少ない（学童も早朝の一時預かりを実施してくれれば…）〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	小学校入学に際して、普通学級と支援学級の違い（どんなサポートがあるか、など）が知りたい〔ちえりあなどは情報の入手がしづらい。現在は知り合いに相談して情報収集している。仕事の合間にサッと情報収集できる Web サイトがあると良い〕

Q3　前問で回答いただいた情報を含めて、子育てに関する情報はどこで入手することが多いですか？（どこで入手する情報が役立つと考えますか？）

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	インターネット、保健センター、ママ友（実際の話が聞ける）
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	マンションの掲示板。保育園の配布物。ネット（スマホ）。役立つのは「ママ友」の情報〔イベント情報（近隣）は掲示板の方が多い〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	インターネットであらゆるサイトを調べる。友達に聞く〔検索内容は、日々でてくる知りたいこと。信頼できる友人の情報が一番役立つ〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	情報誌（ベネッセ社、めばえ等）が多い。企業や公的機関の情報が信頼できる〔個人が発信する SNS などの情報は信頼できない〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	保健センターの健康・子ども課を訪ねる（どんな幼稚園があるか？幼児教室は子への接し方など全般が学べるので役立っている）〔実際に子育てする際は困った（足りなかった）ことはなかった〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	近所のママたち、Web、区役所
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	ネット。広報紙（コミュニティセンター等、各種会館）〔Web 検索上位のキーワード〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	子育て支援センターのスタッフ（札幌ではない）、いとこ（元保健師）、医療的なことは「#8000」に電話する〔「#8000」は以前藤沢市に住んでいたときに、子育て支援センターで教わった。具合がわるいときに症状や対応方法の相談を受け付けてくれる。いとこは子どももいるし保健師なので何でも具体的に聞ける〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	Web サイトでは JR タワーの HP や飲食店の口コミサイト、紙ベースでは広報さっぽろやふりっぱー〔広報さっぽろの子育て情報や子連れ可能なイベント情報は役に立っている〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	子どもが学校や保育園から持ってくるプリント、広報さっぽろ、病院〔プリントはイベント情報。病院は予防接種など。広報さっぽろはその両方〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	その都度授業。広報さっぽろ、子育てブログ、ママじゃらん〔「ママじゃらん」には公園や子連れイベントが載っている。情報のプッシュがほしい（こちらから見に行くのではなく）〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	知人からの情報は、聞いた後さらに調べる。Web サイトはいくつか見て判断する
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	インターネット、支援センター、ママ友〔Web 検索、Yahoo 知恵袋など〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	ネット（発言小町など）、母親、広報さっぽろ〔ネットで見つからない対応方法を母に聞く。身近に相談し合える人がいない〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	保育園の先生。姉〔保育園の先生は具体的な情報を持っている。とても役に立った。姉は子育ての先輩なのでこちらも具体的に教えてくれる〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	先輩ママ（実際に小学校の子どもがいる）、ネット
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	ネットや情報誌
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	インターネット、保育園→気軽に見れる・聞ける〔保育園の先生。「こそだてハック」。信頼できるかは「？」〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	友人や Web サイト
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	新聞、チラシ、地下鉄の広告、インターネットなど〔チラシは個人的にインパクトがある。新聞の下の方（記事）・地域欄、「どさんこワイド」〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	ネットからの情報。嫁〔先に子どもを持ったので〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	厚別区広報、ほんわか新聞、サンピアザの Web サイト、Web 検索〔誌面に載り切らない情報は見逃してしまう〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	保育園の先生、ママ友、職場の同僚、ネット〔まずはネットで検索してから先輩ママや友達に聞いてみる〕
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	Web（以前は広報紙、地区センターのチラシ）〔広報さっぽろのイベントコーナーが無くなったのは問題！（後ろの方にあった）。イベント紹介冊子は情報ありすぎで探せない。子育て分けられていない〕

Q3 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	インターネット→口コミ
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	子育てサロンのスタッフ。子育てサロンに来ているお母さん〔先輩ママや子育てサロンをお手伝いしているおばあちゃん世代の方の生の声は力強く信頼できる〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	札幌市ホームページの子育てページ。子育てサロンのパンフレット。札幌市からもらった冊子。たまに『ひよこクラブ』〔札幌市の Web ページは少し探しにくい。前に見たはずのところもわからなくなってしまう〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	Web サイト（半信半疑）、ママ友（先輩ママの情報は有力）、会社〔Web サイトは多数見てから判断していた〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	インターネット、新聞、チラシなど。特に役に立つのは口コミ〔身近な人からの情報一番現実味があり、信頼度も高い〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	ママ友情報（ちょっと大きい子どもがいるママ友がいろいろ教えてくれる）〔ママ友とは支援センターで知り合った。元同僚も〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	Web サイト（いくつものサイトを見て総合的に判断）
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	Web 検索〔どの Web サイトかは気にしたことがない〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	ネット。児童会館の先生〔来週から幼稚園に通うことになったので、今は状況不明。児童会館の友達からの口コミ。ネット検索の上位にある情報〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	インターネット
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	お友達、インターネット、保育園など
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	広報さっぽろが主。それを Web で調べる。保育園・小学校から配布されるもの
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	先輩ママ、新聞、学校からの手紙〔友達が同時期に子育てしていたので情報交換できた。新聞のチラシには子どもに向けたイベント情報が結構載っている〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	インターネット（ママサイト、質問サイト）〔ママリ〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	近所のママ友、ネット、幼稚園〔大体ママ友で解決している（パパ友も）〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	子育てアプリ、Facebook、Web、友達〔アプリ（市で出している）。Web（公園・遊び場についての個人サイト）〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	たまひよの育児本。Twiter のまとめページ〔最終的にベネッセにたどり着く〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	Web サイト（口コミサイト）は信頼している〔保育所の情報は参考になった〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	友人・知人。訪問看護さん（往診）。ブログ
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	Web 検索(個人のブログ)〔いくつか見て「多数者」の情報を使用する。Youtube でおんぶひも・おしめの替え方〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	ベネッセ。Web 検索〔子どもが吐いた時は検索した。子育てアプリで子どもの症状を検索したこともあったが使えなかった〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	学生時代の友人。近所・保育園ママ。口コミが多い。後は Web 検索〔年上の子を持つ先輩ママ（職場）〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	ネット。口コミ〔グーグル検索の結果。ママ友や年上ママからの口コミ〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	広報さっぽろ、口コミ、チラシなど。Web サイト（google 検索や SNS）が一番〔急病の時は、札幌市の情報ダイヤルを使うことが多い。災害時（震災の時）、情報交換に役立った。ふとしたことはグループ LINE でやり取りすることが多い。親のコミュニケーションの機会が生まれる規模。園でないとつながりが生まれづらい〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	自分の子どもより上の学年の（発達障害の）子どもがいるママ友だち〔他ではなかなか情報が得られなかった。Web などで見かける実体験に沿っていない情報は一般論になりがちであまり役に立たない〕

Q4　子育ての情報は、どういった機会があれば／どこだと／どのような媒体だと入手しやすいと思いますか？（イベント、講座、冊子、ウェブ…）

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	年齢別の冊子〔いつも行くスーパーで、健診時に、年齢別のお役立ち情報冊子があるとうれしい〕
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	媒体としては、チラシ、広告、Web、SNS などで。入手機会は、イベント参加などで目に付いたら
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	近所のことであれば、マンションの掲示板
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	無料冊子。近所のスーパーや公園にもあると良い〔情報量は多ければ多いほど良い。公園にポストなどを設置して、情報紙を配置する〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	子育て世帯に向けた郵送物が届くことがベスト。もしくは子育てサロンのチラシや冊子、あるいは Web 情報など〔受動的に子育て世帯へ、地域に未着した情報が届くと便利（地域の子育て情報サイト『エミナ』に掲載されているような情報）〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	Web
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	ネット、地区センター、区役所ではなく出張所で〔自分の徒歩圏内で行ける施設にあるとよい。ネットもよいが、地区センター等においてあるようなチラシなど紙媒体もわかりやすい〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	札幌駅、スーパー〔札幌駅周辺は子どもの休憩できる場所が少ない。大通には「おおどりんこ」があるので便利。まちなかで大人の用事を済ませられない。藤沢の事例では Ario のような大規模商業施設に子育て支援センターがあり、便利だった〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	スマホで検索することが多いので Web 上で。もしくはスーパーに紙の情報があると入手しやすい〔A4 紙 1 枚程度の情報量で、週 1 回程度の更新頻度〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	Web 広告〔SNS でフォローしているものに広告があれば見えやすい〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	スマホで完結。Web、アプリ、メルマガ、フリーペーパーなど。自分に合った情報をプッシュしてくれると良い〔札幌の子育てアプリ、区を絞れるが厳選（子育て世帯向け）情報ではない（自分で探さないといけない）〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	保育所、子育てサロン、ママカフェに置いてある冊子やチラシからイベント、講座、ブログ、メルマガ
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	保育園に講師が来てくれたりする（汐見先生など）〔FAX が送られてくる（事業者などから）。あんふぁん web〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	保育所、日常で行く場所（銀行・スーパーなど）〔病院勤務のため院内保育所に預けている。園に関係する情報がほとんどなので、公的なものもあれば〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	子育て何でも窓口があるとよい。保育園で情報を得たい〔ひとまとめで情報を得られると助かる。相談窓口は平日 9 時～17 時以外の土日や夜に開いていると嬉しい。働いていると公共の場の相談には行けない〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	ネットだと手軽〔いつでもどこでも見れるネットは便利〕
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	冊子、ネット
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	アプリ、LINE。ポストに入るチラシ〔札幌市にいる友達と LINE。取りに行かなくても来る情報。メールだと埋もれてしまって見ない〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	情報などは必要な時に見たいので、自宅近くのコンビニなどに冊子があるともらいやすい
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	チラシ、CM、Web、情報誌など〔子どもが生まれたら送られてくる（1 歳になるまで）。もっと長い期間送ってほしい〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（なし）〔いろいろな場所に冊子などを置けば手に取るかも。おおどりんこにも置いている〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	遊び場探し、図書館、冊子、メール〔すきま時間に見る・申し込めるくらいの手軽さが欲しい〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	Web。他には健診のついでに手に入れる
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	Web、子育てサロン、冊子（日刊紙）〔子育てアプリ、チラシ、見たかも…。LINE で配信（市が）。かすかべ「子育てメール」がしょっちゅう来る〕

Q4 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	健診時に講座があると参加しやすい〔区のサークルは苦手…→参加しやすい。行きたいけど行きにくい〕
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	地下鉄の車内広告〔お昼寝スペース。お母さんと一緒にいられる場所が少ない〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	広報さっぽろ。赤ちゃん休憩室〔スーパーやデパートなどの赤ちゃん休憩室に市のお知らせや子育て支援のチラシなどが置いてあるとよい。置いてある場所は見たことがない〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	イベント（託児があれば良い）。チラシ〔母親が安心して参加できることをアピールしてほしい（託児あり、駐車場あり）〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	園からの配布物（紙）。市のアプリがあるならアプリで〔Web は能動的に（情報を）取りにいかないといけない。紙媒体は一番見やすいが、取りに行きづらい・手元に置きづらい。「検索」は、自分が入力したキーワードしか引っかからない。「区」のイベント・催事などの取組が一覧で見れる状態になれば、まだ使い勝手は良いと思う。紙媒体の方が「素朴な」情報の発見がある〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	保育園等でチラシを配ってもらう。充実した公式サイトがあるとなお良い（新聞は取っていない）〔周辺でも新聞を取っていない人が多い〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	日々更新してる子育てサイトから一覧情報。イベント・講座情報。冊子もまとめて 1 冊に
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	体験した時〔あらかじめ情報を得ようとすることはあまりない〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	子育てサロン。近所のスーパー。イベント〔イオンなどで買い物ついでに相談できるとよい〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	冊子・Web。いつでも見られるもの〔外でも簡単に！〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	Web、アプリなど〔休みの空き時間に調べられるもの〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	定期的（季節などで）冊子による情報〔市の web ページは情報が探しにくい〕
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	よく行くところ（スーパーや小児科）で見られれば。保育園は園の情報しか置いていない
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	自分の都合に合わせて情報を得たいので、ネットで〔先着順。子ども連れて行けない、行きたくない〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	保育園、幼稚園、区役所等〔毎日行く場所で知ることができれば（他、スーパーとか）。大体ママ友で完結してるけど〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	アプリ（子育てサロン）、Web〔他のグループメンバーは知らない。子育てサロンで知った。たまたま市の人からチラシをもらった〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	家事・育児の合間のすきま時間に、家でも外出先でも手に入る情報が良い。冊子や Web など〔札幌ドラッグストアで良く手に入れる（A5 紙 1 ページくらいの情報量。月 1 回で内容が変わる）〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	人目に付きそうな所（イオン、駅など）にチラシや冊子
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	土日の講座（同年代の子を持つ親が集まれるような）〔大体、イベントは平日にやっている〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	Web〔そのタイミングで「知ろう」という行動をするので〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	スマホにメールを送ってもらうほうが入手しやすい〔年齢・性別などを設定したら個別の情報を通知してくれると良い〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	ワーキングママはとにかく多忙だと思うので、必ず目に付く保育園や学校にチラシを置く
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	児童会館、ネット、アプリ。「Siri」に問いかけたら正確な情報を答えてくれるような AI ができると嬉しい〔子育ての情報をひとまとめに見られると良い。情報が必要で調べなくてはいけないが検索に時間がかかってしまう。検索するよりも子どもと過ごしたい。検索ではなく、人と話して相談したい〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	広報さっぽろは続けてほしい。保育園などでもチラシや Web の紹介があると見る（かもしれない）〔定期的に、手元に情報が届く媒体があるのはありがたい〕

Q4 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	保育園や学校から配布されるプリント〔A4 で両面程度。情報が多すぎない方がうれしい。不審者情報についてはほくと君メールで。ただ、登録は学校からのプリントを見てから行った。病院にも子育て情報があるが、病気にならないと行くことはない（情報に接する機会が少ない）〕

Q5 （1）子育てをしていて大変なこと、困っていること・困ったことはなんですか？（2）それは、何があれば解消できる／解消できたと思いますか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	（1）離乳食の進め方。（2）実際に作れる場所、クッキングスタジオなど〔食事の固さに悩む。実際に調理しているところを見たり触れたりできると良い〕
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）預かり先（病気など）の調整。保健センターの健診と仕事との両立。（2）預け先は有料でも、家事代行や早朝・夜間預かりのあるところをお知らせいただく。保健センターも平日夜間や土日に開けていただく〔「仕組みがあるから使ってね」ではなく、「使える準備をしましょう」という環境を作るべき。気軽に使える民間のサービスがあれば…〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	（1）子どもを連れての外出時、外で大泣きしてしまうこと。大泣きしている時の周りの目が気になってしまうこと。（2）1 人でも暖かい声かけをしてくれたら嬉しかった。男性への育児の勉強会〔子どもが赤ん坊のとき、地下鉄で泣きやまなくなった。懸命になだめていたのだが、年配の男性から直接「しつけが悪い」と言われてしばらく落ち込んだ。マタニティマークをつけるときにも悩んだ。不妊で悩む方も多いので遠慮がある。また妊婦を狙ってお腹をけるような事件が発生していた。結局地下鉄の専用席を使うときにつけるなど出したりしまったりしていた〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	（1）「明日、一時預かりしたい」が難しかった（情報の少なさ・定員等）（2）預かりサービスを受けれる施設を、1 学区に 1 つ以上配置する〔朝 10 時に子どもが発症。夕方から一時預かりできるところを探したが見つからなかった〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	（1）子育てに関することで相談できるプロの人、セラピストさんなど（予約が取りづらかった）（2）「どうしてもきつく叱ってしまう」時など、セラピストさんがもっといてくれればスポットで問題や悩みが解決できたと思う（今は週一の幼児教室で代用している）〔セラピストへの相談、2 か月に 1 度くらいしかできなかった〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）自身が・子どもが病院に行く時（2）夫が気軽に休める。託児がある
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）子どもの病気。（2）上の子を預ける場所。その子を送迎する方法〔（2）夫が単身赴任中なのだが、上の子どもが大きな病気をしたが無事治癒し退院するというときに、私も下の子どもも身動きができないほど具合が悪くなってしまった。誰も迎えに行けない。必死に考えた結果、連絡先を知らない仲の良いお隣さん。連絡先は手を尽くして探した。家族全員、具合が悪くなったときに重い病気を患っている子どもがいたらどうするか未だに不安になる。札幌市の病児預かりは 5 千円。以前道内の小さなまちにすんでいたが、2,500 円くらいで 24 時間預かってくれる施設があった。そういう場所があれば安心できるのだが〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	（1）保育園に入れないこと。お昼が食べれる子育てサロンが少ない。荷物が多い。（2）午前だけでなく、せめて 14 時までとか運営してほしい。バスまでのベビーカーを利用しやすくしてほしい。ちあふる暗い〔そろそろ仕事を再開したいので、就職活動をしたいのだが、その時点では保育所に預けられない。働いていないと駄目。一方で認可外の場合就職予定があることは入所のマイナスになる。認可型だと 1 人の募集に 10 人はいる。私は今 9 番なのでどうなるかわからない。仕事をしたいと思っても仕事を見つけることができない。歯医者について：藤沢市の場合、治療席の横にベビーカーを置いて施療を受けられる病院があった〕

Q5 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	（1）子どもの発語が遅いこと。（2）さっぽろサロンの回数（20 回）を増やす。特に、サロン卒業後のサポートを手厚くしてもらいたい〔現状は週 1 回で 20 回まで。その後は月 1 回のみ。同じような経験をした保護者に話を聞かないとわからないことも多い。児童デイサービスの見学会をしてほしい〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）子の体調不良・病気が重なった時（子を連れての移動）。家事が進まない。家具が壊される。（2）保育園併設の病児保育施設。理由を問わず利用ができる一時保育〔インフルエンザに、1 ヶ月の間に 3 人罹った（1 週間おき）。通院したくても 0 歳児を預かってもらえなかった〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）産後の生活。（2）産後ケアハウスがあれば利用を検討したかった（家族ごとお世話になりたい）〔産後ケアハウス、家族丸ごとお世話になれるような施設は札幌にはなかった〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（1）子どものコミュニケーションの取り方。時間の作り方。病気などの時、仕事を休まないといけないこと。（2）周りからの助け、声掛けの仕方。日頃からの健康管理、親からの助け、病児保育、ママ友？
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	（1）子どもの熱・病気（2）ベビーシッター等、手軽な利用〔市のサービスの利用はない！定員が少ない！高い！遠い！〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	（1）自分の通院ができない。ファミリーサポートの登録に行けない（時間が合わない）。（2）その場その場で気軽に預けられる場所〔（1）歯医者に行けない。ファミリーサポートの登録時間が 10 時、14 時、15 時なので、仕事をしていたら登録に行かれない （2）院内保育所は通勤日でないと利用できない。土日も休みで夜も限定。日にちや時間が増えると良いのだが。〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）時間が無い。（2）子育てや家事を支え合う手が足りない〔（2）「誰か手伝って」に尽きる。とはいえ今、人に頼ったりお願いすることが難しい。信頼できる人かどうかの判断も不安になる〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）どこで受診するか。習い事（2）疑問を聞ける場所
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	（1）子どもが病気になった時（病院、仕事）（2）家族の援助
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	（1）子ども 2 人の寝かしつけ（上の子は落ち着きがない。何でも触ってしまう）。（2）寝かしつけ解消（上の子はこれから）〔同じタイミングで寝てくれない〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	（1）好き嫌い（食べ物）（2）成長が問題ないか調べられたら安心する〔定期健診後、発育を相談するところはどこに行けば良いのか〕
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（1）3 か月でも入れる飲食店・遊ぶところが少ない・高い〔短時間・ちょっとの間預けられる施設（事前登録無しに）。安心できるところ〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（1）意思の疎通。（2）普段の会話・コミュニケーション
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	（1）プレ幼稚園の空きがないまま日々子どもと過ごすのが辛くなってくる。保育園の一時預かりも空きがなく、利用しづらい。「遊ぼう」と言われるのが苦痛。（2）一時預かりを利用しやすい状況がいい〔リフレッシュ休暇などの休みが取りにくい（職場・保育園）〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	（1）病気の時。ぐずっている時。（2）病児保育・病後児保育・ベビーシッター、もっと利用しやすくなれば。数十分から 1～2 時間くらい気軽に利用できるサービスがあれば
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（1）自分が病気の時や子どものどちらかが病気の時。（2）急な用事で預けられる人や場所〔「急に」「すぐに」「持ち物なく」「安く」〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	（1）アレルギー（2）健診の時に相談して（病院の紹介）〔アレルギー科が増える・手厚く〕

Q5 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	（1）主人と意見が合わない。保育所に入れない。（2）子育てサロンに保育所機能を併設する〔（1）夫が欧米方式の育児を強いる（泣いても抱っこするな等）。今は、抱っこは良いこととされているが話を聞いてくれない。子どもを夫にまかせると泣きすぎて声が枯れている。（2）子育てサロンに行くとスタッフの方が余るくらいにいるので、保育所と連携した保育場所などが増えるといいなと思う〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）子どもと一日中一緒なので、ぐずった時にイライラしてしまう。（2）気分転換の散歩や外出。子どもを少しの時間預けられる場所〔少しだけ子どもと離れられる時間がほしい。また、子どもを預けることについて、批判されない雰囲気がほしい〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	（1）自分が具合悪い時に仕事と家事の両立をしなければならない。（2）協力者や顔見知りの近所の人とか？〔手続きが早くできると良い〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	（1）夕飯時にぐずる。保健センターからのアンケート。（2）母子手帳配布時に最低限の登録をしてもいいのかも？アンケートに（発育に関係なく）区に求めることを書いても良いのでは？〔聞いてどうするの？という設問が多い。古い？質問の仕方が重たい。余計な回答をすると突っ込まれそう。アンケートの狙いが不明。もっと困っているお母さんの声を拾ってくれるようなアンケートにすべき〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	（1）会社の飲み会になかなか参加できない。（2）夜間の保育園シッターさん（安く）〔いつもの幼稚園・保育所で安心できる〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	（1）食事、室内遊び（2）家事サポートしてほしい。室内・低料金の遊び場がほしい〔日々の悩み・困りごと。気軽に相談したい〕
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	（1）病気（2）なし〔熱・インフルエンザ。共働き。なるものは仕方がない。強くなってもらうしかない〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）体力が余ってぐずる。食が細く食べなかったり、食べ散らかしたりする。（2）いつでも行ける遊び場〔子育てサロンは 9 時～12 時までくらいのところがほとんど。18 時くらいまで実施してほしい。今は資生館小学校の子育てサロンしかない。厚別区にもできると聞いているのでもっと広がると嬉しい〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	（1）睡眠不足。一人でゆっくりできない。（2）夫も育休が取れたら良かった〔0 歳の時とか〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）忙しい（仕事をしていてゆっくりする時間がない）。（2）休みがあればゆっくりできる〔そんなに悩みは無いけど…〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（1）①病気やけがで保育園からの呼び出し／②祝日（保育園・児童館）休み／③子ども自身も個性・意思・意見があり、反発してしまう。（2）①職場の理解。家族の協力／②友人の協力／③まずは意見を聞いて促すようにしている〔①職場の理解の有無が転職のきっかけに／②一時保育は使いにくい（子の不安・ストレスも大きい）〕
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	（1）仕事の時の子どもの体調不良。（2）気軽に利用できる病児保育施設。さらにお迎えをしてくれるとうれしい。多少高くてもいい〔（1）RS ウイルス（風邪のような症状。風邪より強）などがすぐ流行る。具合が悪くなりお迎えになるかもとスマホチェックは欠かせない。特に冬が多く夏は少ない。RS ウイルスは 1 週間くらい登園禁止。（2）1 日 1 万円くらいまでなら価値があると思う。今も病児保育を受け入れる病院はあるが定員が少なく、結局使えたことがない〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	（1）病気、成長、自分のイライラ。（2）子育てのプロが近くにいれば〔ストレスのはけ口〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）自分の子どもが次々と風邪を引き、さらに体調の悪い子どもが増えたらどうなってしまうのだろう？と考えてしまった。（2）預かり先があれば気持ちが安心した〔インフルエンザ、ノロウイルス、脱水症状に別々にかかったことがあった。看護師のママ友に「大丈夫」と言われて安心できた。イオン水の作り方を教えてくれた。近所の人がお迎え・預かりなどしてくれた〕

Q5 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（1）イライラしてしまう。下の子に怒れず。上の子がそれを見て、下の子や赤ちゃんになるごっこをする。（2）広い心！〔アンガーコントロール。言葉に出してみる。講習会を聞いてみる。真駒内の幼稚園では子どもが多いのが普通だったので 4 人産めた〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	（1）疲れていても体調が悪い時もお世話しなければならない。（2）子どもを預ける場所〔気軽に子どもを預けれる場所がほしい（手続きも簡単）〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（1）子どもが病気になった時、仕事が休めず、預け先に困った。（2）病児保育も病院で受診してからなので、朝一からは難しい〔自分の代わりに家事・子どもを見る人がいない。急な時に安心して頼れるところがほしい〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（1）預け先が少ない。ケアできるのが両親しかいない。（2）市・道の主導で研修できる場を増やしてほしい。人材についても配慮を…。事務所のスキルアップ、人材確保（自分の職場を含めて〔吸引・心臓マッサージの必要がある。休んでいる看護師さんなど（研修）〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	（1）誰かと遊びたい。（2）家の近くの集いの場〔東急おおどりんこ。行っても知ってる人がいない。児童会館はあるが行かない（小学生のため、なのでは？）。自分が子どもの時（今はない）は町内会で子どもを集めたりしていた〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	（1）保育園からの呼び出し（仕事を休まなくてはならない）。（2）家族の協力が大切（平日あまり遊んであげられない）〔メール・電話で手続きが取れれば大分楽になる。子育てサポートを利用するための手続きが繁雑〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	（1）子どもに時間を費やしたい（おんぶしてあげたい）が、やらなければならないことも多い（茶碗洗い）。（2）お金と人の手があればできる（一時保育）。アメリカ（海外）ではベビーシッターが主流らしい。日本もやろう！〔家事代行、AI の活用〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）ちょっとした時間がほしい、例えば家事の間にあやしてくれたり、見守りができるカメラ（1 歳の時）。（2）地域コミュニティで見守りの協力をしてもらえたら嬉しい〔地域にいるおじいちゃん・おばあちゃんに頼みたい。「10 分だけ見ていてもらえませんか」と気楽に頼めたら。『サザエさん』のようなご近所同士の助け合いができると本当に助かる。今のままなら少子化が進むと思う〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）子どもの急な病気・ケガの時、近くに見てもらえる人がいない。自分がつかれていたり体調が悪い時、サポートしてもらえないこと。（2）子育てサポートセンター・こども緊急サポートセンターの利用方法を分かりやすくしてほしい。保健センターの土曜開庁や時間調整がもう少しできると良いと思う。あと、アンケート内容の見直しを〔手続きが面倒。手引きが不十分で必要な情報がかいていない（利用時間帯など）〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	（1）自分の子どもに発達障がいがあるかも、と感じた時、どこに・誰に相談して良いのかわからず「ウチの子は大丈夫」と思う気持ちもあり、第一歩を踏み出すまで時間がかかった。（2）自分の子どもに発達障がいがあるのかもと思った時に、その特徴を知ったり、相談場所を紹介するような web サイトがあると良い〔保育園の面談で初めて自分の子どもが発達障がいかも、と思った。その後、保育園の紹介で保健センターに行ったが、フルタイム就労だと何度も保健センターに相談しに行くのは難しい。何でも相談できる専門家やワンストップサービス的な相談窓口がほしい〕

Q6 （1）あなたや配偶者の方が働いている会社は子育てしやすい職場ですか？（Yes/No）（2）どんなところが子育てしやすい／子育てしにくいことにつながっていますか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	（1）YES（2）同じくらいの子どもがいる家庭が多く、大変さが分かってもらえる（休み等）〔（良い所）休みが取りやすい仕組み、雰囲気がある。子育てしている人が多い。（悪い所）急な休みが取れない。理解が少ないと感じる雰囲気〕
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）YES（2）休みや遅刻に理解がある。協力的〔これまで産休の実績がない職場だったが、いろいろと理解があった〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	（1）YES（2）子育て経験のある女性が多い。同じような道を経て仕事を続けている人が多い〔ピアノ講師なので女性が多く、理解がある。一方で自分が行かないとできない仕事でもあるが、生徒のお母さんたちも状況を理解して応援してくれる。夫の会社の育休制度についてはわからない〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	（1）YES（2）半日ごと・1 時間単位での有給に育休も取得できる〔男性が育休を取ったことがない職場で、男性職員が取るとは言えない雰囲気がある〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	（1）YES（2）働きたい時だけ働くことができるから（収入は減るけど…）〔シフトなど、なるべく子育てを優先してくれる。ただ、フルタイム就労で子育てしている人もいるので、そういった人には相談しにくい時もある〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）YES（2）割と自分の都合で休みが取れる
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）夫：NO（2）夫の仕事は残業・出張・呼び出しがあり、子どもとの時間が取りにくい〔私は現在育休中。夫の状況や保育園の問題があり復帰できるかどうか不安に思っている〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	（1）NO（育休なし）（2）夫の休みがいつかわからない。給料がまちまち。土日が仕事〔夫は基本給が低く、成果による歩合制が厚くなっている営業職。土日は基本お仕事で平日がお休み。今は専業主婦なので回っているが共働きになったら保育所をどのように利用すべきか不安。営業成績により収入が不安定なため前年の収入で保育料などが決まると厳しい。自分の前いた職場は産休を取る人はおらず、辞めざるをえないような環境だった〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	（1）NO（2）男性の育休取得実績が無いだけでなく、有給休暇も基本的に取れない。仕事が忙しく、ノー残業デーでも 20 時以降に帰宅する〔社宅（単身向けおよび家族向け）が勤務先店舗の上階にある。お昼ご飯は子どもだけでなく配偶者の分も作っている〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）（父母ともに）YES（2）（母）育児中短時間勤務。妊娠・出産・育児に関する制度があり、利用しやすい雰囲気がある。（父）子の看護休暇（年間 5 日位取得できる）。育休制度もあるが、男性は取得しづらい〔検診を勤務時間内に受けられる。妊娠中は通勤時間をずらせる〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）（自分）YES（2）在宅ワークなので何とかなっている（調整ができる）。夫の職場にも制度はあるので、こちらの利用の仕方しだい〔育児休暇ではなく在宅ワーク推奨（育休制度はあるが取得する文化が職場にはない）〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（1）NO（2）子育て世代の人が職場や同僚にいないので理解してもらえない〔制度はあるが利用しにくい雰囲気がある〕
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	（1）YES（2）子どもが病気していても理解が得やすい。子育ての悩みも、打ち明けてすぐに解決しやすい
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	（1）YES（2）職場（病院）に理解がある。（夫）自営業で融通は効く〔子どもの病気が問題。職場が病院のため感染症に厳しく対応が難しいときも。自分だけで両立は難しい。夫の勤務体制はとても助かっている〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）子育てしやすくはある。（2）定時に帰れない。仕事量で評価される〔（1）産休は 7 か月取得したが、本来もっと取ることができるので、もう少しゆっくりしたかった。あまり休むとポストが無くなる不安があった。（2）定時では実際に仕事が終わらない。代わりに手伝ってくれる人もいない。お互いライバルでもあるから。働くと子どもに負担をかけていると感じている。それがつらい。上の世代の男性は子育てを共有する感覚をもっともってほしい。でなければ会社全体で子育てを支援する雰囲気をつくることはできない〕

Q6 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）NO（2）日曜日しか休みがなく、平日は子どもと顔を合せることがない。休みを取りづらい
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	（1）（自分）YES（夫）NO（2）休みが取りやすい。自分で仕事の量と時間を調節できる
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	（1）YES（2）労務部が子育てに関する手続きに詳しい。休みなど、融通がきく〔コールセンター(現在は育休中）は女性が多い〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	（1）YES（2）仕事のタイミングを自分で決められる
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（1）NO（2）昇格に関わり、子育てしにくい〔実際のところは…。周りを見ると実際そう。取ることは必須だが「年 1 日」「2～3 日」で何ができるの？〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（1）NO（2）出勤・退勤時間がまちまち。緊急対応もあるので〔一応シフト制だが、自分がダメなら次の人、となるので〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	（1）NO（2)休みが取りにくい〔育休を取った人がほとんどいない（取った人がその後どうなったのかもわからない）〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	（1）YES（2）子育て中の同僚が多く、理解がある。子どもの看護休暇。定時上がり（夫）
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（1）YES（2）休みを取りやすい〔単身赴任中。1～2 時間会社を抜けることも可能だった〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	（1）YES（2）急病の時など、休み・遅刻ができる〔長期休暇〕
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	（1）（自分）YES（夫）NO(2)（自分）フレックス、在宅勤務。保育料の助成制度はある（半額）。ただし仕事内容によっては出勤しなくてはいけない時もある。（夫）夫の残業が多く、平日は育児に参加できない（育休はある）
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）しづらい。（2）産休も取りづらそうだったので退職した〔以前私が働いていた業務は私一人で担当していた。産休を取ったら誰も担当する人がいなくなる。皆に迷惑がかかるので辞めることにした。産休を取得した人は誰もいなかった〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	（1）YES（2 全て思い通り（陰で言われている？）〔自営なのでスケジュール仕事量を自分で決められる部分が多い〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	（1）YES（2）有給が取りやすい〔周りに子どもを持つ環境ができている〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	（1）YES（2）時短が取れる（現状は 3 歳まで。延長してほしい）。リモートワークできる。職場の理解。人員配置〔リモートワークは週に 1 度（会社（広告系）が推奨）〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	（1）NO（2）人手不足。休みづらい
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	（1）YES（2）融通がきく〔（妻）時短勤務。（自分）共同経営者。自宅勤務できる〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）NO（2）上司の都合で飲み会が入る。突然の休みがとれない〔夫の会社は産休を取れる状況ではない。夫の会社は「奥さんに任せとけ」ムード。上司に子どもがいないことも影響していると思う。会社にはワーキングママと子どもがいない。男女ともに子育てに関する学びが必要〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	（1）YES（2）理解がある。子どもの急病時にも早退しやすい。育休はしっかりとれる〔お互いに○〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）（自分 YES（2）急な休みも OK。しかし人が欠けて大変な時もある〔人が多い職場ではないが理解がある〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（1）（母）YES（父）NO（2）（母）急な早退や休みにも可能な範囲で対応してくれる。（父）時間・休みの変更はできない〔（父）育休が取れず、参観にも行けない〕

Q6 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	（1）（自分）フリーランスなのでスケジュール組みはしやすい。ただし、代わりはいないので休めない。（夫）異動ごとに上司が変わり、環境が変わる（郵便局。制度としてはある）〔夫の職場は育休制度があるが、取得できるかどうかは上司次第のところがある。今は女性の上司なので融通を聞かせてくれて、夫婦で協力し合える状況〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	（1）NO（2）長期でいない〔旦那が仕事でいない。女性が少ない職場。理解がある人→上司〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）NO（2）休日が少ない〔年末年始もない。いないのが当たり前〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（1）YES（2）土日祝休み〔以前は残業も多かった〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	（1）NO（2）育児休業が取得しづらい〔「育児休暇を取らないで」と圧力がかかる（出張が多い部署のため。他の部署は 3 か月取れる）〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（1）（自分）YES（夫）NO(2)（自分）時短勤務や 1 時間休暇が利用できる。（夫）会社が非協力的〔細やかな対応が可能。周りに子育て経験者が多い〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（1）YES（2）有休が取りやすい〔手術入院時は 2 週間休めた〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	（1）YES（2）自分が動く（どうにも都合がつかないこともある）〔自営業、税理士事務所〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	（1）YES（2）会社を抜けて病院へ行ったり、会社へ連れていけるところ。でも子どもを連れたままだと身動きがとりづらい点は大変〔自分の職場は子連れ OK だが、夫の職場は子連れ NG。保育園は家の近くが良い（職場に連れていく時のような手軽さがあると良い）〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	（1）どちらかというと YES。（2）他の職員もお互い様だから〔子どもが具合悪い時に休みやすい。フォローしてもらえる〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）NO（2）子育てママが私しかいない。気持ちがわからない。人手が足りない〔口では子育て中なのだから早く帰っていいよと言われるが仕事は減らないし、他の人の負担を増やすだけ。結局自分でやるしかないので、最終的にはやめるかどうか判断せざるを得ない〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）どちらとも言えないが、どちらかというと YES（2）業種の中では休み安い方だと思うが、夜勤などは休みにくい。夫は出張や残業が多いが、休める時は休んでくれる〔看護の仕事なので福利厚生はしっかりしているが緊急時にはなかなか…。自分だけではどうしようもない、という割り切りも必要〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	（1）YES（2）育児短時間制度を就学前まで取得できること（同期入社の上司に、子どもに発達障がいがあることを伝えて）〔残業代が出ないので（余分な仕事をしないようにと）周りの理解が得られやすい。時間給（15 分単位）なので、細かい時間で休みを取ることができる。子育てのための休暇は子ども 1 人につき年 5 回支給される。できればこのままの就業形態（時短労働）で子どもが小学校低学年になるまで続けたい（高学年になれば自分ひとりで過ごすことができると思うから）〕

Q7 （1）お子さんの父親、またはお父さん一般は積極的に子育てに関わっていると思いますか？
（2）どうすれば／どういう働きかけがあれば、父親・お父さん一般は今より積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	（1）とても積極的。（2）お父さんにしかできない…かのように子育てをお願いする
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）YES(うちの父親は積極的）（2）本人の気持ち次第〔やるぞ！と思えばやるはず→自分と同じようにやってほしい。平等じゃないと割り切るしか…〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	（1）90 点。我が家の夫は積極的だと思います。一般的な男性もとても多い（多くなった）と思います。（2）子育てについて、夫婦での話し合い・情報を共有すること。どういう子に育てたいか？今何ができるか。妻の人生について伝える・考えてもらう〔元々積極的な方だったが、2 人目が生まれてから「かゆいところに手が届く」ようになった。それまでにお互いに子育てに関する不満や要望、自分の職業観などをとにかく話し合った。今では 1 日子育ては全く問題なし。家事も済ませてくれる。最近は本当の「イクメン」が増えてきたと思う〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	（1）よくわからない。自分で点数をつけるとしたら 50 点くらい。（2）仕事を優先しなければならない現実の改善〔平日は遅くまで働かないといけないため、週末だけしか育児に関われない。せめて出産前後 1 週間くらいは強制的に育児休暇を取ることができれば…〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	（1）NO（2）父親が少しでも子育てに関わるメリットや方法、モデルケースなどを札幌市が示す。または父親の子育て参加の取組を会社の義務とする（監査も行う）〔上手く子育て支援の仕組みを取り入れた企業には優遇措置。また、どう取り入れれば良いか相談できるアドバイザーを置く〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）関わっている。（2）あえて母親がいない状況を作る
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）NO（2）お父さんの仕事を子どもに見せようツアー。お父さんと一緒に過ごす日の制定（一泊・ママ同伴せず）〔（1）完全に受け身で子どもや私のニーズに気づかない。頼んでも内容が理解できない様子。しかし勤務時間が長いので、寝るのが大好き。子どもと一緒に過ごすよりもできるだけ寝ていたいというのが本音だと感じている(2)子連れお父さん出勤制度をつくる。会社の人も子育てのことがわかる〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	（1）65 点。言えば YES。(2) 自分も仕事をする。育休が当たり前になる〔(1) 夫はやってくれるが言わないとやらない。子育ての話をすると任せると言われる。ただ夫の勤務時間が長いこともあり、お願いするのが申し訳ない気持ちもある。（2）夫婦がお互いに仕事をすると変化すると思う。会社が「子育てに時間をとらないと。休みなさい」と言うくらいの環境変化〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	（1）YES（2）1 ヶ月に 1 回でも定時に退社できるようにしてほしい。また、土日などの休日に親子で楽しめるイベントがあると良い〔せめて子どもをお風呂に入れることだけでも手伝ってほしい（残業ばかりでそれもできない）〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）YES (2) ①父と子の参加型イベント／②休みを取りやすい職場環境〔母を置いて子どもと山登りに行ったり、家事もやる（皿洗い、風呂掃除など）（2）①「お父さんとあそぼうイベント」／②病気じゃなくても私用で有休をとりやすく！〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）その家庭によって差はあるが、参加する気のあるお父さんが増えている気がする。（2）母が頑張りすぎないこと〔職種・家庭による差が大きい。父親の育児に参加したがっているようには感じる〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（1）以前よりは積極的に関わるようになっていると思う。（2）子どもの成長やどんなことがあったか話す場所や時間〔LINE など現代的なツールを活用して夫婦で子育てしていることをシェアしたい〕
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	（1）関わってもらっている。（2）母親学級など（ここに参加して少し変わった気がします）〔「お母さんうつ」になりやすい。「サポートしてあげて」〕

Q7 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	（1）70 点。性格的には YES。社会的には NO。（2）産休・育休を取得しやすく。定時勤務の徹底。社会的な問題大〔夫の子育ては受け身。やらなきゃいけないからやっているという感じだが、徐々に主体的に変化している〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）90 点。（2）会社への働きかけ、発信〔（1）単身赴任で東京にいるが頻繁に帰ってくる。子育て全般やってくれる。もともとマメな人だった。（2）子育てに男性が関わるのが当然な世の中になってほしい。育休を強制してはどうか。それくらいのことが必要だと思う〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）関わっている。（2）父親同士で関わるところ。子どもの一言
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	（1）（夫）関わっていると思う。（一般）NO（2）職場（休みを取りやすく）、教育（子どものうちから教育していく）〔「あなたにしかできない！」「自分でやるしかない！」関わらせる気持ちになる声かけ・状況づくり〕
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	（1）YES／NO（休みの日は遊んでくれる。仕事の日、帰宅後はほとんど何もしない）〔何をしても積極的にはならない！（特に行政からの働きかけでは）〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	（1）（自分）NO（一般）YES（2）周りがそうだから。もったいない〔自分で子育てしたいので、父親に役割を譲りたくない〕
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（1）NO、関わっていない（2）行政から 5 歳までは超過勤務をしないように働きかける。遊ぶところ（父推奨）〔関わりたい・関わりたくない。正直半々。土日はあるので、平日くらいは…〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（1）割と YES（2）父親参加型の会などの開催〔お父さん同士で話ができる〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	（1）関わっている（2）企業の子育てに対する協力があれば〔育休取るとデメリットがあるのではないか？企業の協力が無いと難しいのでは？大阪のほうでは新しい情報を多く取り込もうとする動きが活発〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	（1）関わっている。（2）他の家の父親がやっていることを参考に、できそうなことをお願いする（ほめる。○○担当。プロ扱いする）
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（1）YES（2）パパママ学級。お父さんと参加するイベント〔きっかけはパパママ学級だったと思う（そこで褒められた）。子とお父さんのイベント（春日部市）。「お父さんと遊ぶ日」〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	（1）今は YES（2）小さい頃（赤ちゃん期）は、あやし方が分からないと放置。自分も関われば良かった〔一緒に学べば・教えれば…〕
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	（1）50 点（2）子どもが小さいうちはノー残業にすることともできる（会社の制度として）。「良い父親」の見本とする。講習会を開く〔上司の子育てマインドが低い。子どもは奥さんに任せておけばいいだろうというお話しになる。男性は周りの人に影響を受けると思うので、男性も子育てに積極的なのが当たり前な環境になるとよい〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）まあまあ（90 点）（2）子育て育休を月 1～2 で取る〔（1）言ったらやる、受け身の子育て。でもお願いしたらきちんとやってくれるので 90 点。(2)子育て世帯は平日に月 1 回必ず休める制度。お父さん参加の子育てサロン〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	（1）NO（2）他のパパの例を出す。写真を送る〔父親の「やっている」は母親にとっては不足していると思う〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	（1）NO（2）母親が困ってみる〔お願いすればやってくれる。自発的ではないかも…。必要に迫られなければ…そういう環境を作っていくしかない〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	（1）NO（2）強制的に育休を取らせる。母親と時期をずらして、その間は育児をしっかり担当してもらう〔「父も手伝っている」という意識。「手のひらでうまく転がしてほしい」と言われる。「もっとかわいく言ってくれ」「『ありがとう』と言ってほしい」「やった」感〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	（1）関わっている人は増えていると思う。（2）男の子的な遊びを一緒にする
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	（1）NO（2）育休〔育休。育てる実感。世間的な風潮として〕

Q7 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）NO（40 点）（2）休みに 1 泊 2 日で父子研修〔家事は 100 点。子育ては 40 点。勤務時間が長く、平日に子どもに関われない。もっと時間があれば〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	（1）関わっている（自ら進んで）。（2）家庭の時間、一緒にいる時間を増やす。育休？〔育休。育てる実感〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）どちらとも言えない。（2）休みが多い時間があれば…〔日祝休み。土もあれば…。晩も遅い〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（1）積極的ではないが関わってくれている。（2）子どもからのお願い。頼りにしている感〔子どもとの遊びはやってくれる。家事はあまり…〕
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	（1）85 点。中の上あたり。（2）丸 2 日間の父母役割交代制度（強制）。大変さを実感してもらう〔夫の協力的な姿勢はありがたい。しかし家事をほとんどしないので、結局私が食事などをセッティングして預ける。母親は子育てと家事をしながら動く。一度役割をまるごと交代しないと大変さは伝わらないと思う〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	（1）YES（2）もっと時間があれば、子どもが懐けば〔父になる時間がない〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）YES（2）連休があれば公園に一緒に行く〔沐浴をさせたことはない。こちらも任せるのが怖かった〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（1）YES（2）パパママ向け講座・イベント。スマホをやめる。小さいのは今しかない〔今でも結構行ってくれる。「子育てスマホ」やめて！〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	（1）積極的な人もそうでない人もいると思う。（2）話し合いの機会を設ける〔仕事で時間が取れない→育児に参加できない→わからない、の悪循環。セミナーで子育て中の夫婦の会話（情報交換）を行う〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（1）関わっているほう（2）社会的に父親の子育て参加がもっと当たり前になれば良い。育休推進！〔性別・個性を活かして子育てに参加してほしい〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（1）（比較的）YES（2）でもこれ以上は厳しい〔妻から「子煩悩」と言われる〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	（1）YES（2）仕事が減れば〔税務所への無駄な届け出・書類もある〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	（1）いない。または関わっていなかった。（2）父としての自覚。本人の気持ち次第？TV などで父と子の関わりをもっと広めてもらったら…〔TV ドラマや情報バラエティ番組などで、男の育児をもっと見せる（楽しい・大変ではないというイメージ）。昔は父親の育児は恥ずかしかった？（昔の父親も参加したかったのかも）〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	（1）関わっている（自ら進んで）。（2）パパも休息を取って好きな事をする時間があれば、時間も心も余裕ができるのでは？〔父に 1 人の時間を作ってあげると、子どもと遊びたくなるゆとりができる〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）98 点（2）早く帰って来られる。「パパなんだから早く帰っていいよ」と言える会社の環境〔（1）100 点でもいいのだが、子どもに熱くなりすぎるので-2 点。子育てには主体的に関わってくれる。以前は言われたらやる受け身だったが、「お願い」「ありがとう」と伝えていたらいつしか積極的になった（2）夫は通勤時間も勤務時間も長いので、時間的にできないことも多い。子育て中の父親は早く帰ることができる仕組みがあるとよいと思う。しかしその仕組みができたら、給与を下げられるのではないかと不安になる。〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）昔に比べれば YES（我が家は YES）（2）具体的に「こうしてほしい」と伝えると働いてくれる。そんなに不満はない。母親が何もしないとやってくれる
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	（1）YES（休日は子育てに関わっている。子どもをプールに連れて行くのは父親の役割）（2）男性にも週一で、子どもと一緒に過ごす時間（子育てデー）を強制的に取らせ、部下を休ませない上司にはペナルティを与えるようにする。

Q8　（1）今、お子さんが通園しているのはどれですか？【保育所、認定こども園、幼稚園、通園していない】（2）通園先を選んだ理由はなんですか？通園していない場合は、どのような基準・観点で選びたいと思いますか？（3）通園先の良いところ、悪いところはなんですか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	（1）通園していない（2）園内外で遊べる場所があるか。行事やリトミック、英語等の時間があるか。小・中につながっているか。
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）保育所（2）仕事場から近い。国産の食材を使用。少人数制。（3）良い点：立地、定員数（各学年 12 名）、悪い点：保育士とのコミュニケーション〔親として 10 園近く見てきた。自身も保育士の資格を持っており、そういう目線で見てきた。保育士と親のコミュニケーションの機会がだんだんと減ってきた（年少の頃は連絡手帳などがあったが）一言二言話す機会があるとうれしい〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	（1）上の子（4 歳）幼稚園。下の子（1 歳）認可外保育園（夫の会社の）。（2）上の子は教育内容に魅力を感じた。下の子は安く預かってくれる。（3）上の子の園は心を育ててくれる。下の子の園は会社の保育園なので安心感がある。ただ、どちらの園も自宅から少し遠い〔企業型保育園は休むと預けられない。幼稚園は送迎しないといけないところもある〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	（1）通園していない。（2）アクセスの良さ。保育士さんの表情など。（3）（通園していないため無回答）
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	（1）昔は保育園だったが、今は通園していない（2）働く時間を確保できるかどうか。（3）子どもの世話はしてくれていたが、改善してほしい所を伝えるとお互いでかばい合って何もしなかった。あと、幼稚園は保育料が少し高い〔保育料だけでなく、施設料とか習い事の附帯料金の割引（もしくは補助）をしてほしい〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）認定こども園（2）プレスクールや園開放に実際に行き、雰囲気を見て決めた。（3）（良い所）習い事みたいに英語やダンスなど、内容が濃い。（悪い所）施設が狭い。
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）上の子は保育所、下の子は幼稚園（2）上の子の保育所は外遊び中心で保育方針が良い。下の子の幼稚園は家から近く、先生の対応が良く（話し方・雰囲気）、英語やリズム体操などいろいろな体験ができる。（3）（良い所）少人数で先生がみんなのことを分かっている。家から近い。延長保育（夏季もあり。費用もかからなくなる予定）。（悪い所）月曜日が休み〔（3）幼稚園の行事が土日に行われると、月曜日が休みになってしまう〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	（1）まだ通園していない。（2）安心できるところ。通いやすい立地。保育園か認定こども園を希望〔（2）給食が安心。バイキング方式の給食を行っている園もあるがちゃんと量を食べているか不安になる。認可外も不安になってしまう。今入れそうなところはバスに乗ってから徒歩なので遠いことが気がかり〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	（1）通園していない。（2）子の性格（おとなしくて引っ込み事案）に合いそうな・人柄の温かい先生方がいるところに通園させたい。（3）（通園していないため無回答）〔小規模でも良いので、子どもに合ったカリキュラムを選択できる幼稚園があると良い〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）認可保育園（2）自宅から近い。兄弟が通っている。（3）良い所は、隣が小学校という事もあり、異なる年代との交流が多い。イベント地域に密着した活動がある（畑作業、交通安全活動）。イベントがたくさん（カレーパーティー、保育参加など）。保護者の参加が積極的。悪い所は保育士の不足〔0 歳児のお世話をすることで、年長としての自覚が生まれている（家の手伝いをするようになった）／保育士の負担が大きく、入れ替わりが激しい。延長保育を減らしてほしいと言われることも。規定の保育士の人数では回らない〕

Q8 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）保育園（2）立地（3）（良い所）学びがたくさん（お茶、受験など）。（悪い所）特になし〔通園バスよりも徒歩（何かあった時、すぐ迎えに行くことができる）〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（1）保育所（2）立地、先生、子ども達の雰囲気（3）（良い所）立地（悪い所）衛生面。食事、先生の質〔施設が古い。おやつに市販のものを与えすぎている気がする（決まりはあるのか？）〕
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	（1）認定こども園（2）保育環境、配置基準、担当保育制。（3）丁寧に見てくれている。自由な保育を推進している。製作面、行事面があまりない〔他の園よりは良かった。乳児はない。「思い出」がほしい〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	（1）院内保育園（2）入らざるを得なかった（3）職場併設なので、何かあったらすぐ対応できる。仕事を休むと預けられない〔（2）就職を急いでいたので、園を選ぶ余裕がなかった〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）保育園（2）場所と教育プログラム。（3）良いところだらけ（土曜保育・先生が一生懸命）。あえていえば仲間はずれがすでにあること〔（3）土曜日保育や延長保育も受け入れてくれる。仲間はずれについてはどこの園もあるかも。「話してくれない」時期もあったりしたが乗り越えている〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）プレ幼稚園。（2）教育面の方針。（3）食事面が心配。園の雰囲気や対応は良い
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	（1）認定こども園（2）仕事。子どもが楽しく過ごせる。（3）（良い所）大らか。先生が優しい。（悪い所）トラブルがあっても大らか。あまり対応してくれない
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	（1）保育園（2）家から近い。用意するものが少ない。（3）保守的すぎる〔4 月から認可保育園になる。足首までのプール。雪だるまをすぐ壊す。安全面への過剰な配慮〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	（1）幼稚園（2）バス、給食（3）2 年目から認定に変わった〔発達・教育について特別なフォローがある子がクラスにいること。クラスの保護者に説明があってもいいのでは…〕
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（1）通園していない。（2）家から近い。またはバスがある。通園の料金が安い。（3）勉強・運動をよく行う。長く預けられる（時間が）〔文武両道で。頭シラミ対策、髪をしばる〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（1）していない。（2）〔まだ先かな、という意識〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	（1）まだ通園していない（4 月から）。（2）家の近所。園庭が広い。（3）（なし）〔引っ越しの際に手に入れた冊子で決めた。園庭が広く歴史も古い…が、消去法で決めざるを得なかった〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	（1）保育所（2）自宅から近い。環境・保育方針が良い。（3）（良い所）のびのび・広々。少人数で皆仲良し。先生同士の連携が良い。（悪い所）強いて言えばアナログ。お知らせとかは Web を利用しても…
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（1）認定こども園。（2）園の理念や環境が良かった。延長保育もあった。（3）園長や先生の対応が良い。一時保育が機能していない点が不便〔「先生が足りず、受け入れできないのが実情」と言われた〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	（1）幼稚園（予定）（2）4 月転勤だったため、そこしか受け入れてくれなかった。（3）良い所は自由にのびのび。悪い所は行事・親の協力が多い
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	（1）4 月から保育園に通園予定。（2）入れるのがそこしか（認可外も合せて 2 つ）なかった。（3）家から遠い（30 分）。3 歳までしかいられないので、2 年後に転園しなければならない。誕生日が来ないと加点されないので、2 年後の 4 月入所も難しい〔入所時点での応募資格の加点がされると良い。4 月 5 月の早生まれは加点が多くなり得だなあと思う。3 月が得な場合もある〕
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）通園していない。（2）家が近い。通園・通勤に便利〔この 1～2 年のうちに仕事をしたいのだが、その間は保育園に入れないので、仕事を見つけにくい〕

Q8 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	（1）保育園（2）会社の近く（3）（良い所）いろいろなことができる。（悪い所）保育士〔保育士の入れ替わりが多い。何故か不安になる（特に年度途中の退職）。制度や方針など、入園した当時と変わることがある〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	（1）上（5 歳）の子は幼稚園に通っている。（2）下（22 歳）の子は幼稚園に通っている。（22）プレ保育に通ったが、内容が良かったので。（3）良い点：先生が良い。イベントや遊びの量もちょうど良い。悪い点：園長先生の対応、給食の質〔子どもの名前を、プレに行っただけで覚えていてくれる。目が行き届いてる感じがあって安心できる。給食センターからの搬送過程には問題あり！〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	（1）保育園（2）家から近い、のみ（選びようがなかった。もっと選択できるとより良かった）（3）先生方に余裕がある感じ。ニコニコしていて優しい。公立なのでプラスαがない。習い事ができるとよりありがたい〔口コミでも、良い園と聞いていた。習い事に関しては、「悪いところ」ではなく希望として〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	（1）幼稚園（2）保育園が 3 歳までだったのと、幼稚園に通わせてみたかった。（2）（良い所）？（悪い所）ワーキングママには改悪にばかりなってきた〔何か良い所があったか、よく覚えていない。上の子の小学校進学のタイミングで転園した〕
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	（1）保育園（2）抽選の結果、消去法で（3）（良い所）家から近い。（悪い所)特になし〔2 歳の二次募集で入れた。車で 15 分近いといっても…(区も違う）〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）通園していない。（2）4 月から認定こども園に入園予定。見学に行って気に入った。（3）（良い所）のんびりしている。（悪い所）場所が遠いので私が通うのが大変〔（2）いろいろな年齢の子どもたちと交流できるようにたて割り教育をしてくれる〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	（1）保育所（予定）（2）家から近い。小学校入学前まで通わせられる。同じ小学校の子たちがいる〔第一希望は認定こども園〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	教育費の支援。無料化
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（1）認定こども園（2）年齢は生後 2 か月から、朝は午前 7 時から受入。（3）保育士の入れ替えが多い。アピールポイントが無い。幼稚園児もいて、いろいろなイベントがある
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	（1）認可保育園（2）そこしか入れなかった。（3）認可保育園なのできめ細かい対応。人数も多い大規模保育園なので、イベントなども多く幼稚園的。でも本当は環境が許すなら（下の子も）幼稚園がいい〔（3）保育園は 120 人で幼稚園的な雰囲気がある。幼稚園はお昼までだったり、病気は全てお迎えになるので働きながらだと厳しい。また幼稚園は母子で行う企画が多く大変だった〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	（1）幼稚園（予定）（2）家から 5 分。空きが無いと思っていたから、空いていればどこでも〔周りが「早めに入れなさい」と言う〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）幼稚園（2）歩いて通える。保護者、先生が助けてくれる。（3）（良い所）心配なことが無くなる。（悪い所)特になし〔クラス（縦割りクラス）懇談の時に、先輩ママがまずほめてから教えてくれる。ネットワークを作れる。SOS を出せる。落ち着ける場所。助け合える、教え合える〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（1）幼稚園。（2）何日かプレ幼稚園に行って、一番楽しそうだった。評判も良かった。（3）（良い所）外遊びメインでのびのび。（悪い所）バス通園のため、他の保護者との関わりが薄い。日常が良く分からない〔参加日もあるが、おしゃべりする雰囲気ではない〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	（1）通園していない。（2）様々な楽しい体験ができること。（3）（なし）〔保健センターのパンフレットで情報収集〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（1）認可保育園（2）自宅からの近さ（3）食育に力を入れているところが良い。トイレトレーニングをしない所、ホールが無い所が欠点

Q8 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（1）通園していない（2）子どもが楽しめる、興味を持てる活動がある〔音楽が好きなので〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	（1）幼稚園（2）親の関与が少ない。（3）（良い所）本当によく面倒見てくれる。（悪い所）バスの時間が早い
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	（1）認可保育園（2）家から近い（上の子の保育園）（3）先生たちがしっかりしている。すぐ辞めない。行事が多いので、準備が大変〔子どもを連れて公共交通機関に乗るのは厳しいから〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	（1）認可保育園（2）家・職場から車で 10 分以内。（3）悪いところ：駐車場が 5 台しかなく、路上駐車になるので改善してほしい。良いところ：となりが小学校なので交流が多い、イベントもたくさん（カレーパーティ、保護者の保育参加など）
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）認定こども園に通う予定。（2）教育内容、人数、制服がジャージであること。（3）人数自体は多いのだが、通園時間が保育所利用・園利用で異なるので、全員そろう時間は少なく、重なる時間はあるので、たくさん友達ができる〔（2）教育内容は多様。フラッシュ暗算をみんなでしたり、側転などの体力づくりも学べる。「制服がジャージ」については、上の子どもが通っていた幼稚園の制服が白いポロシャツにベージュのパンツだったので懲り懲りした〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）保育所（小学校）（2）仕事をしているから長女を預けて対応よかった。（3）登園・帰宅時間の融通が利く。人数が多い割りに目が行き届いている。人数が多いので行事の場所取りが大変。預かり保育が 19 時まで〔大規模な園の割には目が行き届いている。信頼感がある〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	（1）保育園（2）1 次審査で落ちたため、家から徒歩 1 分と近場にある保育園を選択した。（3）良い所は園全体で 60 人と小人数で、先生と子どもとのつながりが強いところ。悪い所は特になし〔保育園選考時期は当初予定していたところしか考えていなかったため、軽いうつ状態になった。今は発達障がいの相談にもよく乗ってくれているので、保育園に対する不満はない〕

Q9　子育てに関して、他のまち・地域で行っていることで、札幌市でもあれば良い／やってほしいと思うことを教えてください（どこのまち・地域の、どんな取組か）。

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	他のまちとの関わりがなく、わかりませんでした〔札幌市以外の地域の情報を知る機会がない。他の地域の取組が知りたい〕
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	医療費補助、中学生の間は無料（帯広市）
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	せめて小学生の間は医療費無料。働きたいときに働きたいように働ける（これは夢？）
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	冬期間の無料の遊び場がほしい。無い場合は有料でもいいので、冬期間に子どもが安心して遊べる場所がほしい〔徳島市では駅前に 2 時間 300 円で遊べる屋内遊技場があった。また、冬でも公園で遊べたことに比べると、札幌市は遊び場が少なく感じる〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	道内他市町村では高校卒業まで医療費無償化しているところもあるので、札幌市もぜひやってほしい。他には、東京都の小学校では歯磨き指導を行っているところもあるので、そうしたところも充実してほしい〔転居元の兵庫県明石市では中学卒業まで医療費無償化。東京都では歯科医師が学校を訪問して歯磨き教育を行っている〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	オムツ無料（三笠市）
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	幕別町は中学校卒業まで医療費無償。一時預かりを利用しやすく枠を広げてほしい。月～金で、徒歩圏で行ける子育てサロン〔幕別町の一時預かりは 20 人位入れる。北区では 2 週間前から予約しないといけないので実際使えない。時間も短いなど融通が利かない〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	藤沢市の場合、医療費が中学くらいまで無料（初診料も）。小児科に健診・予防接種時間の設定がある。おむつゴミは無料。子育て支援センターに栄養士・助産師がいる（週に 2～3 回）〔治療目的によって診療時間が異なる。感染対策もとられていて、熱や発疹のある子どもは別の入口を使っている〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	東神楽町では、出産祝い金の額が大きく（42 万円）、家を買う時も補助金が出ると聞いた。キレイで大きくて子どもが遊べる施設（木の遊び場など）が、札幌市に比べ旭川などの地方にたくさんあると思う〔特に旭川市にある木製遊具の遊技場が大きくて面白い〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	旭川市。中学生まで医療費の助成がある〔住宅などの助成があるまち（子育て世帯への支援）〕
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	千歳市あそびのくにピッピちとせ。有料でも良いので、屋内の遊び場がほしい〔札幌にも（ゲームセンターではない）屋内遊戯場（0 歳児も入れる、都度消毒、ピッピちとせと同じ位の料金）がもっとほしい〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（わからない）
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	海外では専用ベビーシッターがいる。北海道以外の国内地域では、18 歳まで医療費が無料〔関東？決まった人〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	考えたことがなかった。でもヨーロッパの取組はうらやましく思う（教育に還元してくれるなら税金アップも OK！）〔ヨーロッパのように教育費無料だと安心できる。加点制度は不公平があるのではないか〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（なし）
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	斜里町で医療費、予防接種の助成
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	小学生（子ども）の医療費が無料
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	江別市かその近辺では子どもの医療費助成が中学まで。地元の町では返還不要の奨学金制度がある〔資格制度も補助がある〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	病院代無料。どこかであったような…
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	室蘭市では予防接種がほとんど無料。もう少し子育ての補助をしてほしい〔江別市と厚別区では差が歴然〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	無理

Q9 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	大阪府豊中市でリトミック、町内会の運動会。単発参加 OK。江別市のぽこあぽこ〔リトミック（音楽に合わせて踊る）。外国語（英語や他言語）の交流会があると良い〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	医療費助成（北広島市）。他の地域はわからない。情報がほしい
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	登録していく子育てサロン（春日部市）〔定員申込制なので、ママ友ができやすい。マッチング（近い人同士）もしてくれる。札幌市は毎回別の人が来る。パパママ学級から近い人を集めてくれる。お母さん同士のマッチングに取り組んでいる〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	東川町・三笠市など。子育て支援（免除）が増えたら〔医療費〕
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	ベビーシッター・ハウスキーピングサービスがもっと当たり前になってほしい（家で病児保育してくれる）。同じ会社で夫婦がセットで働き、日によってどちらが出勤するか決められる
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	江別市「ぽこあぽこ」のような施設。おおどりんこは狭い〔広いあそび場（無料）が市街地にあると良い〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	江別市は病児保育の枠が多い。北広島市は補助がある〔補助制度をもっと PR してほしい〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	医療費助成の対象年齢を上げる。インフル予防接種の助成をしてほしい
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	医療費の補助が中学まである。公共料金の補助〔もしかしたら母子家庭対象〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	中学生くらいまでの医療助成
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	訪問育児マッチング、朝お迎え〔アメリカのビジネスサービス（スタートアップ）〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	産後病院から退院したら、休養に専念できる母子施設（韓国）〔母子院。札幌市にもある。1 年間のうちに 10 日以内利用できる仕組み。産後の肥立ちを良くするための施設〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	恵庭市。子どもの屋内遊び場〔児童会館的な。基本いつでも。子どもだけ無料〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	おさがり。園でやってた（制服とか）〔中・高の制服も。江別市では図書館の本を無料か 10 円くらいでもらえた気がする〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（なし）
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	園ごとのバス送迎ではなく、駅から共通バスで各施設に送迎してくれる〔国内の比較的小さな市町村だったと思う〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	医療費の助成（初診料）。他都市との連携（旭川市と比べて）〔説明が足りない（区など）。相談システムが分からない。区によって健診の基準が違う。引っ越しの時にどのようなやり取りを？〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	病院代、教育費（ヨーロッパのどこか？三笠市？）〔「4 人産んだ」特典ないの？〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	おさがり BOX のような（衣服・チャイルドシートなど。TV で見た）。小樽ではチャイルドシートを貸し出している〔真駒内子育てサロンでは平成 31 年 1 月までやってくれていた〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	住んでいるところの名産品を使った体験イベント〔地域の史跡や物産品を用いたイベント〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（わからない）
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	ベビーシート・チャイルドシートの無償・無期限レンタル（使用時のみ）。幼児教育無償化、医療費無料〔今金町チャイルドシートの貸し出し。子どもを大事にしている〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	もりもりパーク（旭川市）、ヘルパー（保育士資格）（海外）、車のレンタル（子どもの人数に応じて大きな車を）（他の地域にあるかは不明）〔ヘルパー（北区？）福祉車両も！〕

Q9 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	地域・町内会でのバーベキュー大会、七夕祭りなど。手稲区七夕まつりも、近所の人といろいろ馴染めて良い〔バーベキュー大会（北広島で開催）。町内会の催しだが、他地域の住人の参加も可。世代間の交流は子どもにとっても新鮮〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	子育て出勤を推奨。職場の隣に保育園や病院（テレビで見た）〔休憩中に子どもの様子を見に行けるのはよいが、通勤が大変（公共交通）。車通勤とセットにするとか工夫がほしい〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（なし）
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	医療費の助成をもっと幅広く（中学生くらいまでやってくれる地域もあった気が…）。保育料を安くしてほしい〔移住促進をしている自治体では、医療助成を高学年までやっている事例がある。保育料を安く、あるいは減免してくれている自治体はあるの？〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	石狩市では、未就学児で発達障がいのある子に対し、市の療育担当者が直接、保育園などの様子を見に来て親子にアドバイスしてくれる。そのため、小学校への入学もスムーズに行われる〔市の担当にも進路や療育などの相談に乗ってほしい。先進事例の視察や取り入れ等も積極的に行ってほしい。特定の年代（幼児期、小学校など）だけでなく、ちゃんとした大人になるためには「いつ・何が必要か」ということを教えてほしい〕

Q10 （1）あなたは何人お子さんがほしいですか？（2）その人数のお子さんを安心して生み育てるためには、何が必要だと思いますか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	（1）2 人（2）地域の方々との交流
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）2 人（あと一人）（2）札幌市のサポート（お金がかからない、預けやすい、とか）〔休みたくない女性が働ける環境。お金もかからなく、サポートもあるという背中を押してくれる環境が必要〕
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	（1）3 人（2）お金。お金を得るためには仕事。そのためには保育園〔学費や習い事などのため、大学卒業までを逆算して資金づくりをしている〕
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	（1）2 人（現在は 1 人）（2）不妊治療の補助・サポートの充実〔保険適用外の治療は金銭面から受けるのが難しい。子どもの人数は、どこまで治療を受けることができるかにもよる〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	（1）3 人（現在は 1 人）（2）ゆとりある時間とお金の両立〔母乳で育てたいというこだわりがあったが、体調を崩してから 2 人目以降母乳で育てることが難しくなった〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）3 人（2）経済面〔働き方を考えると、産むタイミングが難しい〕
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	（1）5 人（2）お金。教育関連費。人手〔子育てに対する潜在的な意識改革。小さいころから子育てに親しむ環境。大人も〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	（1）2 人（2）安定したお金。保育園〔仕事を再開できるか不安。就職活動がしにくい。面接を受けると保育所のあてがあるか聞かれるが答えにくい。「小 1 の壁」も心配〕
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	（1）2 人（2）父親が育児・家事をする時間の確保。母親が仕事をする時間の確保〔子育て優先で仕事ができれば…。障がい者雇用と同様に、子育て世帯の雇用も義務化する（行政から働きかける）〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）3 人（2）経済力
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）3 人（2）健康とお金〔母親が働きたいと思った時に働ける環境を〕
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	（1）本音ではもう一人ほしい（今は 2 人）。（2）経済的な余裕。周りからのサポート

Q10 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	（1）2 人（2）助成金〔賃貸住宅から持ち家へ。「うるさい」と言われる。土地も高い。江別市・恵庭市に引っ越す人が多い〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	（1）3 人（2）お金。育児しやすい環境〔保育園に預けられる環境〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	（1）2 人（2）働きながら子育てしやすい社会〔もう一人産むとなると職場に居場所がなくなりそう。女性の先輩は子どもがいない人ばかり。先輩に「2 人産むなら辞めるしかないよね」と言われたことがある。周りの目が優しくなったらいい〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	（1）3 人（2）経済力〔3 人食べさせていけるか…、お金の心配が壁となる〕
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	（1）2 人（2）安全な環境。教育費
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	（1）3 人（2）教育費の軽減〔2 人でギリギリ〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	（1）3 人（2）お金。若さ
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（1）3 人（2）第一はお金が足りないか心配なので、補助がほしいです。次に安心な環境（治安）〔3 人で「社会」。2 人だと「ライバル」。2 人とも高校・大学まで出せるか？〕
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	（1）2 人（2）支援の整備〔近所づきあいの支援。金銭的なもの〕
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	（1）2 人（2）金銭、育児の協力、治安〔教育での補助。習い事をするときに得られる補助が何かあると良い〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	（1）3 人（2）若さとお金〔安心して産める年齢・タイミング、逃すと難しい〕
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（1）2 人（2）医療費、教育費、地域の助け〔関東では中学まで医療費無料が多い〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	（1）今の人数（3 人）（2）教育費の減額
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	（1）2 人（2）家から近い、気軽に預けられる保育所。育児に積極的な父親
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	（1）2 人（2）お金。産んだ時に上の子を預けられる場所〔お金に関して、フルタイムで 2 人とも働く必要がある。現実的に預け場所がない。保育所は求職期間では利用できない〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	（1）2 人（2）会社の環境〔20～30 代は仕事が楽しくて子どもに気持ちが向かなかった。会社の配慮があれば。キャリアアップがスムーズに進まなくなるのではないか、心配である〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	（1）2 人（現状通り）（2）人付き合い〔身近に子育ての話ができる・急な事態でも手を差し伸べてくれる環境が必要〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	（1）2 人（2）お金！〔教育費、突然のベビーシッター、子ども部屋も増やさなければ…〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	（1）3 人（2）お金もそうだけど、一緒に育てる場所と人
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	（1）2 人（2）お金〔何かをやってもらおうとは思っていない。自分でしっかりやっていくべき、と考えている〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	（1）3 人（2）お金、人手〔育休産休の充実。一時保育の気軽な。柔軟な利用〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	（1）3 人（あと 2 人）（2）お金。保育所の受け入れ
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	（1）今は 3 人で十分。4～5 人産めれば…。（2）お金かな…〔教育費、医療費。もっと早く進めてもらいたい。そうすればもう一人…〕
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（1）4 人（2）大学進学までの費用。広い住宅。安定した雇用〔年代の異なる兄弟がストレスなく暮らすために、ある程度のスペースが必要（勉強、遊び）。子育て中に退職して、3 年後に復帰できるような制度（昔職場にあったが、無くなった）。再就職しやすいこと。子育てと趣味、自分のことを楽しめる時間も必要〕
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	（1）2 人（現状のまま）（2）お金。社会の優しい目〔駅などの公共空間にいると、ふと子ども連れの自分が遠慮をしていることに気付く〕
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	（1）2 人（2）十分な目。お金

Q10 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）若ければ何人でも。（2）（心配せずに）教育にかかるお金〔制度が変わった時に大変。細々とした物。部活の時の遠征費など〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（1）3 人（2）お金。サポートしてくれる人（できれば近しい人）。
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	（1）2 人（2）働きやすい社会、制度、まちづくり〔夫婦そろって働ける環境を整える。行政は頑張っているので、企業も休み制度を充実してほしい〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	（1）2～3 人（2）保健所に入れること。経済的な理由。妊娠中のつわりに効く薬の開発〔保育所を探すのが大変。妊娠中の体調管理が大変。10 年前に比べると補助も制度も安定してきたが、どうして出生率が低いのか〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	（1）2 人（今の人数。できれば男の子がほしかった…）（2）教育費がかかりすぎる…？〔自分にかけてもらった費用をかけられるか？〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	（1）2 人（2）親（の代わり）の支援（特に世話してくれる時間）〔現在も両親が見てくれている。自分が子どもの時は近所で晩御飯をごちそうになっていた〕
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	（1）2 人（2）市からの補助。家族の協力・サポート。会社の理解・支援〔社員が育休を取得できないと対外的に示しがつかないようにする。独自制度で育休をサポート〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	（1）2～3 人（2）産んだら 1,000 万円くれれば産む！（お金）〔安心して子育てできる〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	（1）3～4 人（2）若さ、体力、お金、時間〔持病があるので難しい。病気のことを考えると夫の家事能力が不安〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	（1）3～4 人は欲しかった。（2）金銭的なもの（助成）。体力〔出産年齢が上がってきていることも。体力をつける時間が無い〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	（1）2 人（2）働き方が選べる（フルタイム・育児短時間など）ような制度の充実。また父親が育児に参加できるよう No 残業デーの徹底〔徹底にあたり、国からの積極的な働きかけがほしい〕

Q11　子育てについて、一番札幌市にやってほしいと思うことはなんですか？

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
中１	母･0 歳 10 ヶ月	予防接種の無償化。家に来てくれる託児サービス。留学のあっせん
中２	母･3 歳 4 ヶ月	子どもが住みやすい地域を作る（子育て支援地区の整備）〔安全・目を離しても大丈夫な住環境、地縁の安心感〕
中３	母･4 歳 5 ヶ月	柔軟に預かりの受け皿を増やすこと。子どもの人数に対して合ってないのでは？足りてないと感じます
北１	父･2 歳 2 ヶ月	気軽に外に連れていけるような子どもの遊び場を作ってほしい〔移動時間もあまりかからないところにあると良い（いつもは大通や東急にいくばかり）〕
北２	母･2 歳 5 ヶ月	子どもに関わる費用（教育費・医療費など）を（ほぼ）無料にしてほしい。他には、幼児教室並みの情報を全子育て世帯に提供、教育相談をより充実してほしい〔お金がかかるから子どもを産まない人が多いので、せめて義務教育終了までは教育費や医療費を無料にしてほしい。また、質の高い教育を受けるために必要な情報や補助金がほしい〕
北３	母･3 歳 11 ヶ月	保健センターに行きやすくしてほしい。北区は駐車場が狭くて行くのがイヤ
北４	母･4 歳 2 ヶ月	学校の能力アップ〔学校での体力づくりや心の育成。檜山地方は学力テストも体力テストも優秀。何か秘訣があるのだろうか〕
東１	母･1 歳 11 ヶ月	保育園を増やす。最悪、週 3 の保育園など〔保育園のコース化。フルタイムで働きたい人は日数多く、パートタイム勤務でもよいという人向けに週何回など。保育シェア・ワーキングシェアが進むとよい〕
東２	母･2 歳 10 ヶ月	子どもの医療費負担の軽減（無償化）〔最低でも小学校卒業、できれば高校卒業まで無償化してほしい〕
東３	母･2 歳 11 ヶ月	①子どもに関わる費用の助成（援助、無償化）／②子どもの見守りパトロール〔②保護者＋行政、パトロールカーでアピール〕
東４	母･3 歳 4 ヶ月	助成金額は現状をキープしてほしい〔児童手当が下がったことがあるので、他の手当は下げないでほしい〕
東５	母･4 歳 5 ヶ月	子育て世代への経済的支援（医療費、予防接種、保育料、割引サービス）。保育所の食事、食育の推進〔予防注射・保育料。やむを得ずかかる子育てのお金の負担を軽くしてほしい。子どもの健康を守る仕組みを強化してほしい。土日祝の保健センター利用など〕
白１	母･2 歳 3 ヶ月	LINE での情報提供。子育て中の息抜き〔ファミリーサポートを知らない人がいる。病児保育、空き人数。息抜きの場。託児付き講座〕
白２	母･2 歳 8 ヶ月	認可保育所の増設など（増員も含めて）〔保育士の仕事を評価すること。給与等手厚い手当〕
白３	母･3 歳 11 ヶ月	気軽に預かってもらえる場所がほしい〔今、子育てしている人が楽しそうでいきいきしていたら出生率は上がる〕
白４	母･3 歳 4 ヶ月	教育費の助成。ちょっとした時間の託児。子どもが遊べる場所を増やしてほしい
白５	母･5 歳 11 ヶ月	学費・医療費助成。保育士を増やす。（大きくなっても）子どもを預けれる場所を増やす
白６	母･5 歳 2 ヶ月	大学進学までの学費の補助。冬期間の光熱費の手当〔一部でもいいので〕
白７	母･5 歳 7 ヶ月	税金の無駄遣い。皆同じくしてほしい
厚１	父･1 歳 11 ヶ月	子育てしやすい環境。他の都市と比較、良くしてほしい（助成金、医療費、教育費）〔施設（例：ぽこあぽこ）。室蘭、気楽なイベント。相談員がイベントに誘ってくれる。情報をくれる。お金がメインだけど…。今日も託児付きだから来た〕
厚２	父･2 歳 4 ヶ月	病院、学費の無料化
厚３	母･3 歳 5 ヶ月	保育士さんの給与アップ。企業側からの子育てへの協力〔保育園に補助金がプールされて保育士に分配されていないのでは？企業も子育てに協力するよう働きかけを〕

Q11 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	各種サービスをもっと利用しやすくしてほしい（手続きを簡単に）。本当は一番に絞り切れないくらい。いろいろやってほしい〔良いサービスでも手続きが面倒に思う。手続きをシンプルに。札幌でも良い取組はあると思うが…。活用の仕方、情報の受け取り方を PR してほしい〕
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	小さな子どもを連れていける場所を作ってほしい〔いつでも！子育てサロンは日時が決まっている。ちあふる、区に一つでは。遠い人もいる。未就園児の親のバス無料券〕
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	幼稚園・保育園の定員枠を増やす
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	保育園入園に際して、生まれ月による不公平を是正してほしい。所得金額で順位付けすると、早生まれの子どもが不利（標準報酬月額で順位付けするなど）
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	おむつのゴミ袋が足りないので、もっと欲しい〔（参加者全員が同意していた）〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	就学前に身につける情報発信の場。授業の内容。学童。シングルマザーに対しての待遇〔小学校のカリキュラム・学習内容の準備をどれくらい用意すれば良いのか。どこで情報を得られるのか。ひとり親、低所得、事情は様々だが公平な補助の受給を考えてほしい。お金・待遇・サービス、必要な人に届いているか？〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	金銭的な補助〔子育ての金銭的な補助を国の補助でなく、市独自の仕組みでやってほしい〕
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	金銭的な補助（ゴミ袋もありがたかったが）。子育てしやすい雰囲気（例：地下鉄）〔市が安く習い事の場を設けてくれれば（水泳くらいしか聞いたことがない。水泳も各プールでやってほしい）。担当部署だけでなく、市ぐるみで〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	医療の助成、教育の助成、児童会館のミニ児童会館化。習い事の送迎サービス〔親がつきっきりでなくても受けられる教育の機会。小学校にミニ児童会館を併設してほしい〕
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	教育費無料化〔将来、市を支える人材を市が支えるべき！〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	働き方の見直し〔働きなおすのが難しい。求職期間中は保育園に入れない。預かってもらってから仕事を探したい〕
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	入れたい保育所に入れるようにしてほしい。保育士さんの待遇を良くする
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	教育の支援。無料化
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	保育料無償化。医療費助成の延長。休日保育の充実
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	保育園・幼稚園、小学校～高校、医療費無料
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	引っ越しする人たちへの対応・連携〔対応が冷たい。困った時ではなく、それより早い時に情報が知れる〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	○○の無料化〔ゴミ袋（おむつ用）（象徴的なものとして）。一番しんどい時、とても嬉しかった。「考えてくれる人達」〕
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	どこに行っても家族連れに会えるような…。ママ同士のつながり支援。無料で遊べる施設・公園（ぽこあぽこ）〔子育てサロンは話しかけにくいし、話してもその場だけで終わりがち。子と母だけの関係。であえーる、ピッピ千歳、旭川もりもりパーク。すずらん公園は高い〕
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	今あるサポート体制は無くさず維持してほしい〔医療費は特に下げないでほしい〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	妊娠健診の完全な無料。保育士の増員、質の向上。休日当番病院の増加
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	支援制度の出し惜しみをするようなことはしないでほしい。支援制度の周知をもっとしてほしい〔窓口にも気持ちよく対応してほしい。「社会福祉士」と言ったとたん対応が変わった。とてつもなく悪い対応だった〕
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	札幌市職員（男性）がイクメンになる〔子どもがいる職場にすればヒアリングも必要ない…というくらいが目標。シェアオフィスではすでにある〕

Q11 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	待機児童を減らしてあげる〔保育園を増やす。なおかつ保育料を下げる〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	父母が働いている場合は、職番の環境を整える。有給を当たり前にする。人の目を気にせず積極的に子育てに関われる状態にする（強制的に）〔制度があっても使われない・使いづらい〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	子育て世帯に対する考え方・働き方〔私たちの姿は若い人たちから「子育てしやすそう、楽しそう」と見えているか疑問に感じる。子育て期間中はノー残業でかつ普通に働いて給与も普通であること〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	例えば医療費の助成を 18 歳まで等､子どもにかかるお金を減らしてください〔少子化対策として、子どもを産みたくなる支援を見えやすくする〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	発達障がいでも普通学級に通う子どもが増えているので、担任以外にもクラスに入ってサポートしてくれる先生やサポーターが欲しい〔普通・発達ともに配置を（1 学年に 1 名程度は担任外の職員がいると良い）。あと、子どものインフルエンザ予防接種の料金も安くしてほしい〕

Q12　最後に、子育てについて「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
中 1	母･0 歳 10 ヶ月	年齢に関係なく、地域の方が気軽に来られるイベント。小中学校の先生の様子が見られる体験入学的なイベント〔地域にどんな人が住んでいるのか？学校はどんなところか？自然に知り合えるきっかけがほしい〕
中 2	母･3 歳 4 ヶ月	保育料や住民税を下げてほしい
中 3	母･4 歳 5 ヶ月	子どもが未来の日本を担う。その子ども達を大人全員で協力してレベルの高い世界に通用する子どもに育てましょう。親の力だけでは無理だと思います。行政の力をよろしくお願いします
北 1	父･2 歳 2 ヶ月	「札幌でしかできないこと」を増やし、「札幌だからできないこと」を失くしてほしい〔冬の遊び場（公園など）をもっと増やしてほしい。また、徳島市では中学校卒業まで医療費が無料だったので、そこも拡充してほしい〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	子どもと関わる人（小学生～大人）がもっと増えてほしい。もっと子どもに寛容な社会になってほしい〔現在は 4 人に 3 人が子どもに関わることがないという状況なので、北区や手稲区などで実施している、中学生と 3 歳未満の子どもとのふれあい授業のような取組が、小学校や高校、大人にも拡大してほしい〕
北 2	母･2 歳 5 ヶ月	鉄棒などぶら下がりができる場所（特に冬場）がほしい。体育館や児童会館にはなく、近所の公園は冬になると閉鎖してしまう。幼稚園の入園料を廃止してほしい。進級料も何故あるのか、何に使っているのかがわからない〔入園料を徴収するにしても、使途を明確に示してほしい〕
北 3	母･3 歳 11 ヶ月	公園の管理。保育士さんにもっと相談しやすい雰囲気づくり
北 4	母･4 歳 2 ヶ月	各種制度の充実とともに費用の抑制〔外国人は子どもに優しい人が多いかも。子どもに「ベイビー、キュート！」と話しかけにわざわざ来てくれる〕
東 1	母･1 歳 11 ヶ月	都市部にしてはまだまだ子育てサポートが低いと思います
東 2	母･2 歳 10 ヶ月	発達に不安のある子や保護者の心のケアを。または、そのケアをしてくれる場所の具体的な案内をしてほしい〔母子手帳でしか子どものことがわからない人が多い。学校（教育現場）でも子どもについて教えてほしい。子どもの発達について問題が解決するまでみてもらえる場所が増えてほしい（さっぽ・こども広場以外で）。あと、親のケア（子育てに関する相談）もほしい〕
東 3	母･2 歳 11 ヶ月	（なし）
東 4	母･3 歳 4 ヶ月	大きくなった後でも子どもが帰ってこられる街を作ってください〔自分も U ターンだが、職探しに苦労したから〕

Q12 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
東 5	母･4 歳 5 ヶ月	産みやすい・育てやすいと、若い世代の人たちが思えるような魅力的なまちづくり〔安心して暮らせる・働き続けられる・子どもを産み育てられるまちづくり〕
白 1	母･2 歳 3 ヶ月	助産師・保健師さんの訪問。1 回だけでなく 3 回くらい来てほしかった〔最初の子や産まれたばかりの時はもっと手厚く。言わなくても来てくれれば〕
白 2	母･2 歳 8 ヶ月	子育てに関する計画(事業)を具体的に伝えて！(市から積極的に発信して！)〔計画書があるのは知っているが、わかりにくい。具体的なアクションが多く書かれているとよいのだが〕
白 3	母･3 歳 11 ヶ月	子育てを応援する空気を醸し出してほしいな〔以前飛行機に子どもをつれて乗っただけで「チッ、子どもかよ」と何度も聞こえるように言う男性がいた。一方でマナーの悪い親子がいるのも事実なのでその対応も必要〕
白 4	母･3 歳 4 ヶ月	小学校の正確な情報の開示
白 5	母･5 歳 11 ヶ月	小人数の教育の場があると良いと思う。医療、学校、教育の連携〔学校や公的施設の情報を知りたい。気軽に見に行ける機会がほしい。学校や健康のことがいっぺんに解決できるところがほしい〕
白 6	母･5 歳 2 ヶ月	サイクリングロードをもっとキレイにしてほしい〔犬のフンがたくさん落ちている（白石区）〕
白 7	母･5 歳 7 ヶ月	中学生までかかるお金に対して、物で支給してもらいたい〔子育て関係のイベント・ヒアリングは駅直結会場にしてほしい〕
厚 1	父･1 歳 11 ヶ月	（なし）
厚 2	父･2 歳 4 ヶ月	小さい情報でも良いので開示してください
厚 3	母･3 歳 5 ヶ月	児童会館の存続〔学校の統廃合の影響で児童会館も無くなったので（残してほしい）〕
厚 4	母･4 歳 5 ヶ月	実家が近くになくてもやりたい子育てができるようにしてほしい。保育士さんの待遇を良くして、減らさないでほしい〔実家が近い、父親の休みが取りやすい、など。環境に関わらずだれでも子育てしやすい取組をしてほしい〕
厚 5	母･5 歳 3 ヶ月	（なし）
厚 6	母･5 歳 4 ヶ月	事務的な対応にならず、もう少し寄り添ってくれるような体制
豊 1	母･1 歳 0 ヶ月	個別のヒアリングをもっと積極的にしていく
豊 2	母･1 歳 3 ヶ月	地下鉄車両のベビーカーの場所によく人がたまっているので、場所の目的をもっと周知てほしい〔（参加者全員同意。）〕
豊 3	母･2 歳 10 ヶ月	不妊治療とかの助成。企業がもっと働きかける(男性が育児に協力しやすい)。学力・スポーツなどの留学にかかる資金の貸し付け〔産みたい人が機会を得られる制度づくり。若い人向けの出産・妊娠。子育ての知識を得られる機会づくり〕
豊 4	母･2 歳 1 ヶ月	受入窓口を広くしてほしい
豊 5	母･2 歳 7 ヶ月	保育園をもっと増やしてほしい〔周りに入れない人が結構いるので〕
豊 6	母･3 歳 10 ヶ月	企業に対してもっと助成すれば、パパママの負担も減って帰りやすく・休みやすくなってくる？〔人材確保の面でも、企業にとっていいことがあるはず。奨学金制度の充実。学習、スキルの習得機会を均等に。企業に対して。イクメンを支援する。評価、PR する〕
豊 7	父･4 歳 7 ヶ月	職業（肩書）で対応を変えるのはやめましょう。情報提供が少ない〔子育てに限る給付金・手当などについて〕
清 1	母･1 歳 1 ヶ月	子どもを預ける所を増やしてください
清 2	母･1 歳 4 ヶ月	保育所を増やしてください。定員を増やしてください。保育士さんの待遇を良くしてください〔保育士に余裕が持てるような〕
清 3	母･2 歳 11 ヶ月	（なし）
清 4	母･5 歳 9 ヶ月	（なし）
南 1	母･1 歳 3 ヶ月	小学生のうちから、男子に向けて良いパパ教室のようなものを

Q12 続き

番号	父母の別・子の年齢	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
南 2	母･2 歳 7 ヶ月	子どもを連れて出かけやすい環境にしてほしい。地区ごとの良さもだしてほしい〔医療、教育、遊びなど。地区の良さを PR〕
南 3	母･4 歳 6 ヶ月	（なし）
南 4	母･4 歳 9 ヶ月	（なし）
西 1	母･0 歳 6 ヶ月	定期的に意見の聞き取り調査をしてくれるとありがたい〔保健センターのアンケートは利用している（他の場所にも置いてほしい）〕
西 2	母･2 歳 11 ヶ月	子どもが増える努力、頑張ってください。地域みんなで優しく子育てできる環境を整えてください〔子どもにもお年寄りにも優しい地域づくり。必ず使うもの（スキー、制服など）を支給してほしい〕
西 3	父･3 歳 2 ヶ月	保育士・幼稚園の先生の給料アップ！
西 4	父･4 歳 6 ヶ月	「おかしい」を放置するな！窓口が平日のみ（出生届など）。書類・手続きが多すぎる
西 5	母･6 歳 1 ヶ月	小学生もたくさん病院にかかるので、医療費補助を。あと、児童会館のセキュリティが心配（鍵をかけない）〔小学校とは違ってセキュリティ意識が低い（鍵・パスワード等の設定を）〕
手 1	母･2 歳 1 ヶ月	子ども=大変なことが増える・お金がかかる、というイメージができてしまっているので、お得感を強調するのはどうでしょう〔子育てに優しいまちだとは思う〕
手 2	母･3 歳 4 ヶ月	大学までの教育費を減らしてほしい（無償？）〔学力や学歴に差がつくと貧富の差がますます広がる。大学の教育費を考えると私たち夫婦の老後も心配になる。結局子どもの負担になってしまうので〕
手 3	母･4 歳 6 ヶ月	保育料の見直しをしてほしい。例えば時間制で料金のかかり方を変えてもらうなど、公平性のある金額の出し方にしてほしい
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	発達障がいのある子どもが地域できちんと成長していけるよう、サポート体制を充実してほしい（親に対するサポートもほしい）。言葉の教室などに通わせたいが、フルタイムだとかなり厳しい（近場にないので送迎が必要になる。また日時も選択できない）〔相談などの「第一歩」を踏み込めるようにするためのサポートがほしい。フルタイム就労の人にも発達障がいのある子どものケアが十分に受けることができるようにしてほしい（行政に仕組みを作ってほしい）〕
手 4	母･6 歳 1 ヶ月	小学校の一日入学の知らせが児童会館に全然来ない（来たのが申込締切の 2 日前）〔札幌市と児童会館の連携が足りない。告知の際は Web サイトだけでなく紙媒体も使ってほしい〕

Ⅴ．子育て支援者へのグループヒアリング調査

１．調査の概要

（１）目的

保育所・幼稚園・児童会館等の現場スタッフ及び子育て支援を行っている市民活動団体関係者から、子育て支援の現場における本音を引き出すこと。

（２）実施日時：平成 31 年 2 月 17 日（日）14:00～17:00

（３）会場：札幌市役所本庁舎 12 階 3 号会議室（札幌市中央区北 1 条西 2 丁目）

（４）参加者

○保育所・幼稚園・児童会館等の現場スタッフ及び子育て支援を行っている市民活動団体関係者 15 名。内訳は下記のとおり。

・保育士　　：5 名
・幼稚園教諭　　：4 名
・児童会館スタッフ　　：2 名
・民間児童育成会関係者　：1 名
・市民活動団体関係者　　：3 名

（５）実施方法

○「グループワーク Q&A 方式」にてグループヒアリングを行った。その手順は下記のとおりである。

①参加者に 5 名の A～C グループ（テーブル）に分かれてもらい、各テーブルにインタビュアー1 名を配置。
②インタビュアーは質問票を提示し、参加者はそれに応じた回答を手元の付箋に記入。
③記入後、各参加者は順番に模造紙（ワークシート）に付箋を貼り付けながらその内容を説明。
④インタビュアーは必要に応じて補足質問を行い、回答内容を付箋でワークシートに追記していく。
⑤参加者同士の会話（同意・反論、補足等）についても、インタビュアーは付箋にて記録。

○グループ分けは、下記のように行った。

グループ	種別	人数
Aグループ	保育士	1名
	幼稚園教諭	1名
	児童会館スタッフ	1名
	市民活動団体関係者	2名
Bグループ	保育士	1名
	幼稚園教諭	1名
	児童会館スタッフ	1名
	民間児童育成会関係者	1名
	市民活動団体関係者	1名
Cグループ	保育士	3名
	幼稚園教諭	2名

（6）その他

○参加者にはグループヒアリング参加の謝礼として 3,000 円相当のクオカードを差し上げた。

２．グループヒアリング風景

主催者挨拶

グループヒアリングの進め方を説明

グループヒアリング風景

グループヒアリング風景

会場の全体風景

作成したワークシート

3．ヒアリング設問シート

質問項目や質問に関するアンケート調査結果を記した下記の A3 判のシートを参加者に提示しグループヒアリングを行った。なお、A・B グループ、C グループで若干異なった質問項目を設定している。

＜A・B グループ用＞

ヒアリング設問シート
～子育て支援者向け A、B～

0

Q1
（自己紹介：職業、お名前…
を言った上で）

現在の仕事で一番やりがいを
感じることはなんですか？

1

Q2
日々接しているお子さん・
親御さん、子育て世帯を
取り巻く環境について、
以前と比べて特に変わってきたと
感じていることがあれば
教えてください。

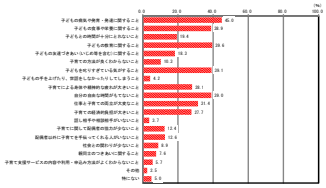
2

Q3
（アンケート結果：「子育てを
していて感じる悩み」を見て）

子育て支援をしていて、
特に問題・重要だと思った
「悩み」の内容を教えてください。

3

子育てをしていて感じる悩み



4

Q4
（1）日々お子さんや子育て世帯と
関わっていて、どのような
もどかしさ、大変さ、困難さを
感じますか？
（2）それはどうすれば
解消できると思いますか？

5

Q5
（1）最近のお父さんは積極的に
子育てに関わっていると
思いますか？
（2）どうすれば／どういう
働きかけがあれば、
お父さんは今より積極的に
子育てに関わるようになると
思いますか？

6

Q6
保育士や幼稚園教諭の
離職防止や就職促進のための
取組／子育て支援活動を
継続していただくために必要な
取組として、良いアイデアが
あれば教えてください。

7

Q7
子育て支援者同士・他の
関係機関とのつながり・
連携について、課題だと
思っていることを
教えてください。

8

Q8
子育て世帯に対する支援として、
（より）必要だと思う取組を
教えてください。

9

Q9
最後に、子育て・子育て支援に
関して「札幌市にこれだけは
訴えたい！」ということがあれば。

10

＜C グループ用＞

ヒアリング設問シート
～子育て支援者向け C～

0

Q1
（自己紹介：職業、お名前…
を言った上で）

現在の仕事で一番やりがいを
感じることはなんですか？

1

Q2
現在の勤務園／所で
働こうと思った理由・きっかけは
なんですか？

2

Q3
日々接しているお子さん・
親御さん、子育て世帯を
取り巻く環境について、
以前と比べて特に変わってきたと
感じていることがあれば
教えてください。

3

Q4
札幌市では待機児童の解消に
向けて、保育所や認定こども園の
整備等により利用定員の拡大に
取り組んでいますが、
それによって、子育て支援の
現場にどのような変化が
ありましたか？

4

Q5
（1）日々お子さんや子育て世帯と
関わっていて、どのような
もどかしさ、大変さ、困難さを
感じますか？
（2）それはどうすれば
解消できると思いますか？

5

Q6
（1）最近のお父さんは積極的に
子育てに関わっていると
思いますか？
（2）どうすれば／どういう
働きかけがあれば、
お父さんは今より積極的に
子育てに関わるようになると
思いますか？

6

Q7
保育士や幼稚園教諭の
離職防止や就職促進のための
取組について、良いアイデアが
あれば教えてください。

7

Q8
特に中高生が、将来の職業として
保育士や幼稚園教諭を
さらに目指すようになるような
取組について、良いアイデアが
あれば教えてください。

8

Q9
子育て世帯に対する支援として、
（より）必要だと思う取組を
教えてください。

9

４．グループヒアリング調査結果の概要

Q1　現在の仕事で一番やりがいを感じることはなんですか？

○多くの方が「子どもの成長を感じられること／見られること」を挙げられている。

Q2【C のみ】　現在の勤務園／所で働こうと思った理由・きっかけはなんですか？

○一度退職した保育士・幼稚園教諭については、知り合いの「園長が声をかけてくれた」など、知人からの声掛けによる再就職が多いようである。

Q2【A・B】/3【C】　日々接しているお子さん・親御さん、子育て世帯を取り巻く環境について、以前と比べて特に変わってきたと感じていることがあれば教えてください。

○「働くお母さんが増えた（共働き）」「共働き世帯の増加」のためか、「しつけ全般が園任せになっている」「トイレトレーニング、離乳食など、丸投げ」の親がいるとの指摘がある。

○また、「ネットの情報にとらわれすぎている」「LINE で親同士つながる」など、インターネットによる情報収集・コミュニケーションが行われていることについての指摘もされている。

Q3【A・B のみ】　（アンケート結果：「子育てをしていて感じる悩み」を見て）子育て支援をしていて、特に問題・重要だと思った「悩み」の内容を教えてください。

○「悩み」の内容については概ね「就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査」で上位に出された事柄が挙げられた。

○その解決方法として「地域で子育て支援が行われるとありがたいと思う」「相談相手がいない」「その家族に寄り添って気軽に相談に乗ってくれる人がいない」「少しでも親の相談にのれるよう個別に対応している」「悩みを吐き出せる（共有できる）場所を作る」というように、相談・悩みを聞く場・人の必要性について言及されている。

Q4【C のみ】　札幌市では待機児童の解消に向けて、保育所や認定こども園の整備等により利用定員の拡大に取り組んでいますが、それによって、子育て支援の現場にどのような変化がありましたか？

○問いかけられた保育士全員から「現場では保育士不足」「先生がいないのが一番の問題」との声が上がった。

○幼稚園教諭からは逆に「子ども一人一人を良く見たいので定員を減らしている」との回答も聞かれた。

Q4【A・B】/5【C】　（1）日々お子さんや子育て世帯と関わっていて、どのようなもどかしさ、大変さ、困難さを感じますか？（2）それはどうすれば解消できると思いますか？

○「保護者の休日・時間の保障を国がしていく必要がある」「時間的余裕」「子ども達の様子を見る時間を保護者に！」「親と子どもの時間が取れるようにすることで子どもが落ちつくこともある」など、親が子どもと接したり、子どものことを知る時間のなさ・大切さを 4 名が挙げている。

Q5【A・B】/6【C】　（1）最近のお父さんは積極的に子育てに関わっていると思いますか？（2）どうすれば／どういう働きかけがあれば、お父さんは今より積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

○（1）については 15 名中 14 名が「YES」「概ね関わっている」などと肯定的な回答であった。

○（2）については「休みやすい環境。時間の余裕」「育休等が当たり前に取れるように」「働き方改革」「父も育児時間が取れる国を目指して」など、父親が育児に参加できる時間を作る社会・制度の改革に関する意見が多く挙げられている。

○また、「おやじの会」「土曜日にお父さんが来やすい仕掛けを作る」「行事へのお誘い。飲み会など」「お父さんが参加したくなるような行事を考える」など、父親が参加する仕組み・イベントなどのアイデアも挙げられている。

Q6【A・B のみ】　保育士や幼稚園教諭の離職防止や就職促進のための取組／子育て支援活動を継続していただくために必要な取組として、良いアイデアがあれば教えてください。

○問いかけた 10 名中 7 名が「賃金アップ」「一般的な給与水準の 2 割以上高くないと」「給料を上げる」など、給与アップの必要性を挙げている。

Q7【A・B のみ】　子育て支援者同士・他の関係機関とのつながり・連携について、課題だと思っていることを教えてください。

○「小学校の連携が増加してきた」「連携があるのは、親父の会や学校・幼稚園・高齢者施設・プレーパークなど」「区との連携は良くできていると思う」など、必要と思われる関係者同士の連携はすでになされていることもあり、「子育て支援者同士・他の関係機関とのつながり・連携」の少なさ・なさについて、大きな問題意識を持っている旨の発言は聞かれなかった。

Q7【C のみ】　保育士や幼稚園教諭の離職防止や就職促進のための取組について、良いアイデアがあれば教えてください。

Q8【C のみ】　特に中高生が、将来の職業として保育士や幼稚園教諭をさらに目指すようになるような取組について、良いアイデアがあれば教えてください。

○Q7、8 は別々の設問として設けたが、参加者から「答えは同じ」との指摘があったものである。

○聞いた 5 名中 4 名が「給料を上げて」「賃金アップ」と回答した。

○1 名の幼稚園教諭からは「中高生のインターンシップ。幼稚園先生、保育士は遊んでいるだけのイメージが持たれている。それを変えるための取組としてインターンやボランティア体験は大切」との指摘もなされている。

Q8【A・B】/9【C】　子育て世帯に対する支援として、（より）必要だと思う取組を教えてください。

○「多様化するニーズに応えられる受け皿をつくること」「利用できる支援の拡大」という意見に代表されるように、「病児保育の充実」「子どもと関われる時間の確保」「寄り添う子育てサロンの継続」「悩みを吐き出せる人や場所を用意する」「子どもを遊ばせることができる屋内施設」「経済的支援」など、多様な事柄が出されている。

Q9【A・B のみ】　最後に、子育て・子育て支援に関して「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば。

○保育士、幼稚園教諭からは「人件費増加」「札幌市独自の手当とか」「具体的には保育士を増やしてほしい」など、給与増や人の増加に関する意見が出された。

○また、「協働の視点」「官民が学び合いつながり合う仕組みづくり」「他都市の取組から学ぶ視点」という指摘がなされている。

５．グループヒアリング全回答結果

Q1　現在の仕事で一番やりがいを感じることはなんですか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	卒園した後も地域の子育て支援者として子ども達の成長を見られること
A2	幼稚園教諭	子どもの成長が感じられた（見られた）時。職員が育っていると感じられた時
A3	児童会館	子ども達ができなかった事ができるようになった時の笑顔を見た時
A4	NPO 等	子育てサロンで元気がなかったお母さんと話をして笑顔で帰った時。言葉がなくても、子ども達と心が通じ合うこと〔深刻そうな場合は、区の保健師さんにつなぎ相談を行う。お母さんが元気になっていく様子が感じられる〕
A5	NPO 等	市内･道内の支援者の皆さんと一緒に学び合い、大切なことを共有できた瞬間。子どもの成長を中心に、親も支援者も地域も一緒に育ちあっていると感じた瞬間〔今年度は年 12 回（のべ 598 名）講座を実施。テーマは「子育てを支える地域社会資源」「子どもの発達」「支援のあり方」など〕
B1	保育士	子どもの成長を感じられた時（心の成長）〔交流会などで卒園者（小 6・中 3 生）から「ありがとう」と言われる〕
B2	幼稚園教諭	子ども達の心の成長を感じることができる。保護者の方々とその子に関する共通理解ができたと感じること〔小さいころ、分からなかったことを理解してくれる。親も初めての保育だと緊張している。親も子どもと共に成長している〕
B3	児童会館	子どもが楽しんでいる様子を保護者が知って、理解と感謝の言葉をいただいた時〔初めて感じたのは勤務してから数年経った時（中学卒業した子から「ありがとう」と言われた）〕
B4	児童会館	様々なことを吸収し急速に成長する様子（成長過程）を見れること〔小学 1～6 年まで見るので家族のような感覚。中学以降は見れないのがさびしい〕
B5	NPO 等	利用会員と提供会員の橋渡しがうまくいった時〔直接・間接（電話・アンケート等）で感謝の言葉を聞いた時〕
C1	保育士	子ども達の成長を感じられた時。子ども達の笑顔〔お弁当を布で包むようになったと、子どもからお母さんに伝えられたこと〕
C2	保育士	子どもの成長を感じられた時。子どもの笑顔が見られた時〔信頼関係ができた・通じ合ったと思った時〕
C3	保育士	子どものひとつひとつの成長を身近に感じられること〔0 歳児担当。ある時、「先生」と呼んでくれるようになった〕
C4	幼稚園教諭	子どもが関わる中で、笑顔になれる時。2 歳児と一緒にお片付け〔名前を呼んでくれたり、ニコっと笑ってくれたり〕
C5	幼稚園教諭	子ども達の成長を目の当たりにした時〔3 歳児担当。4 月は泣いていた子どもが、元気に外で遊んでいるのを見て〕

Q2【C のみ】　現在の勤務園／所で働こうと思った理由・きっかけはなんですか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
C1	保育士	市に履歴書を出していて、たまたま今の園から連絡が来た。行ってみて良かったので続いている〔最初は産休者の代替として〕
C2	保育士	（1）正規採用だったので。（2）一度退職したが、その時、園長と話し、パートと正規職員、自分に合った採用をしてくれると言ってもらえた〔園長が声をかけてくれた〕
C3	保育士	親に言われてひとつ受けてみたら受かってしまった〔ずっと正規職員。育休も取れるから。同じところでずっと〕
C4	幼稚園教諭	短大から現在の姉妹園を結婚退職後、今の理事長に「手伝って」と言われた。子どもと関わることが楽しいと思っていたので OK した〔最初はパート。現在は正規職員〕
C5	幼稚園教諭	自分の子どもが卒園した園だったので、園長から声を掛けられた。子育てサポートを自宅でしていたが、集団で保育をしたいと強く感じたから〔最初はパートから。「子育てサポート」への疑問。「親のためになっているのだろうか？」〕

Q2【A・B】/3【C】　日々接しているお子さん・親御さん、子育て世帯を取り巻く環境について、以前と比べて特に変わってきたと感じていることがあれば教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	地域に知り合いがいない人が増えてきた（札幌市外、道外）。社会進出している母親が増えてきた（キャリアアップ、フルタイム）。家庭養育がかなり低下している。しつけ全般が園任せになっている。欲求不満が増えてきた。支援を必要とするお母さんが増加している〔しつけ全般とは、箸の持ち方などから。孤食が増えたり、箸を使えないからおにぎり食になり、手づかみしかできない子どもたちもいる。朝食無しのお子さんが増えた。私たちの園は認定こども園であるが、保育所タイプの子どもたちが多く、長時間園にいる子どもが多い。生活習慣が身に付きにくい。しつけの問題なのか、発達障がいなど脳機能の問題なのか見極めるのが難しい。子ども時代から子育てに関わる機会をつくる必要があると感じる。子育ての感覚がつかめない様子が見受けられる〕
A2	幼稚園教諭	行事にお母さんだけでなく、お父さん双方の祖父母が来園することが多くなった。叔父さん叔母さんも珍しくない。よいことではあるのだが、問題もある。働くお母さんが増えた（共働き）〔行事の実施日にはスペース不足になり、路上駐車問題も発生する。園児のお母さんのうち、3 分の 1 はフルタイム勤務。300 人のうち 3～5 歳が 100 人を占める〕
A3	児童会館	児童クラブ登録員の増加。子ども達の自由な時間が少ない。共働き世帯の増加。配慮が必要な児童の増加〔児童クラブは定員制限が無い。申し込みがあったら基本受け入れている。170 人くらいまでは受け入れられるが運動などはしにくくなる。おおむね毎日約 50 人～100 人くらいが通っている。大体 8 人のスタッフでみている。豊平区の子育て世帯が多い地域なので、新たなマンション建設なども進んでいるので、今後が心配。親育ちしていない。心配な子どもについて相談しようと話しても、心配な子どもをもつお母さんには特に伝わらない〕
A4	NPO 等	LINE などを活用しお母さん同士でつながっている。（良い点）相談に乗ったり、いろいろな情報を得ることができている。ネットの情報にとらわれすぎている（○ヶ月だから○○できていないと…）
A5	NPO 等	子どもと関わる経験がないまま親になっている人の割合が高くなっている。父親の育児参加の意欲が高まっている。格差の拡大。余裕のなさ。格差社会が広がっている。アスファルトとコンクリートの前で育っている子どもがさらに増加。多様な家族の増加。転勤族など、アウェイ育児をしている人の増加（全国で 72%。円山地区では 85%）。預かってくれる人や手助けしてくれる人がいない家族が多い〔ひとり親の増加、ステップファミリー（再婚家庭）の増加も感じる〕
B1	保育士	仕事と子育ての両立の難しさ。保護者同士のつながりがある一方で孤立する保護者も。気になる子どもが増えている〔仕事の影響で保育時間が長い（段階的に）。LINE で親同士つながる一方、つながりを拒む親も（障がい児・アレルギー児童の親に多い）〕
B2	幼稚園教諭	子どもに対して物質的に豊かにしてあげたいと思う親が増えた。「社会」に送り出しているという意識を持たず、とにかく預けてくるケースが多い（「楽しく通ってくれれば…」という希望しか出てこない）。個別対応を望む保護者の増加（特別でありたいと望んでいる？）〔物質的な豊かさを追求。持ち物を通して「そういう子」として見てもらいたいと考えている？20 年前は特定の職種の親が豊かさを追求していたが、今はそれ以外の親も（身の丈に合っていない）。集団生活（社会）で学ぶことを意識していない親が増えた〕
B3	児童会館	チャレンジを楽しむ第一歩を踏み込めない子どもが多い。「できること」はやるが、「できない」ことはやりたがらないこともある。甘えてこない。無意識の我慢の蓄積を感じる。異なる年代との生活が少ないというか、下の子の世話をしないケースが見受けられる。保護者も、自分が見ていない時の不安が強くなっている気がする。「預けている間、イジメを受けていないか？」という不安を訴える母親が多い。逆の立場（イジメをしている）の考えはあまりいない

Q2【A・B】/3【C】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
B4	児童会館	保護者の就労形態の多様化。子どもに関しては（強いていうなら）頭でっかちが多い〔情報が多く、経験がともなわない「頭でっかち」な子どもが増えた。親がスマホを与えているせい？食の多様化により、土日祝、早朝、延長の希望者が増えた〕
B5	NPO 等	一人親（出産時からひとり）。誰も助けてくれる人がいない。親が高齢なので頼めない〔親の補助としての役割ありきでの利用が多い（核家族・一人親）〕
C1	保育士	親の意識、親の都合に子どもが合わせられている〔寝不足の子。親が遅くまで起こしている（夜のお出かけ、旅行明け等）〕
C2	保育士	子育て支援の増加。シングルでも頑張れるようになってきている〔ファミリーサポートの人がお迎え〕
C3	保育士	親と過ごす時間が短い。以前は「仕事が終わり次第お迎えに」と言えていたが、今は言ってはいけないといわれる〔「人をみて言い方を考えなさい」と指導される。親からの苦情に所が反応？〕
C4	幼稚園教諭	ゲームやスマホ、YouTube の話題が普通に出てくる（5～6 年前から）。20 年前はオムツの子はいなかった。情報がすぐに変わる。グループ LINE〔園が伝えたい言葉が変換されてしまうおそれがある〕
C5	幼稚園教諭	頑張らなくなってきている。トイレトレーニング、離乳食など、丸投げ。育休を取っていても長時間預ける〔できない・やらない親が多すぎる。自分で調べない〕

Q3【A・B のみ】　（アンケート結果：「子育てをしていて感じる悩み」を見て）子育て支援をしていて、特に問題・重要だと思った「悩み」の内容を教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔　〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	発達に対して情報が多すぎ。何を信じていいのかわからない。母親の役割が多すぎる（核家族）。子どもが少ないため、過保護・過干渉。子どもに対しての見る目が少なく、偏った養育になっている。子どもと一緒にいることを（子育てを）楽しめない〔地域で子育て支援が行われるとありがたいと思う。私自身はご近所に無償でお迎えしたり短時間預かってくださる、信頼できる方がいて仕事と子育てを両立することができた。子育てを楽しめない＝しつけができない事と同一線上かもしれない。過保護だがしつけができていない例も増えた。例えば「食べさせてくれるのを待つ（自分で食べる習慣がない）3 歳児」。「ばんそうこうはキズパワーパッドでないとダメだから園で用意してくれ」など〕
A2	幼稚園教諭	親同士のつながり方。付き合い方〔自分と状況が似ている人としか仲良くなれない様子。働いている人同士、パート同士、専業主婦同士では仲良しだが、それを超えるとギクシャクする。一時期仲良くしておられても、LINE でトラブルになった事例もある。つながる仕組みが難しい〕
A3	児童会館	子どもの時間がない。家庭ごとの関わりの差〔やむを得ない状況はあるのだが、18～19 時にお迎え、21 時には寝るとなれば、一緒にいる時間は 2 時間しかなくなる。アウェイ育児と祖父母のいるホーム育児の格差〕
A4	NPO 等	子どものことを夫に相談できない。相談相手がいない〔労働時間が長いから〕
A5	NPO 等	孤立。精神的・経済的・時間的余裕の無さ。いつでもどこに住んでいても困ったときに駆け込める場が無い。その家族に寄り添って気軽に相談に乗ってくれる人がいない〔親子が地域から見守られる仕組みが必要〕
B1	保育士	周りと比べてしまうことによる不安。日々の生活での疲れや不安、イライラを子どもにぶつけてしまう〔普段の会話から違和感に気づくことが多い。他の親と自分を、他の子と自分の子を比べてしまう。発達障がい？でも違うかも、となかなか受け入れられない〕

Q3【A・B のみ】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B2	幼稚園教諭	「叱る」と「怒る」の具体的な分別。保護者自身が理想としている"母"像が高く、叱るたびに落ち込む。また、叱っていても子どもに響いていないことに気づいてない？気づいていても別の手法が取れないケースがあるのでは…。子どもとの向き合い方を伝えることが重要。また、「明るい（無自覚な）ネグレクト」が増加〔「叱る」と「怒る」は違う→わかっていてもできない→落ち込む→子を叱れない。親との交流で叱り方をレクチャーしている。理想の子育て、メディア（たまひよ、すくすく子育てなど）の影響？ゲームで夜更かし→睡眠不足→食事抜き。親がそのことを悩んでいない〕
B3	児童会館	親の中での「理想の子育て」というものに縛られている（他人と比べて自分の子育ては正しいのか？）。調べてわかることには不安が無い。調べてもわからないことには不安が強い。「発達」は良い面悪い面両方あることを知らない親が多い。だから悩む〔「発達」に関して正解はない。だから悩む？少しでも親の相談に乗れるよう（不安を吐き出してもらう）個別に対応している〕
B4	児童会館	「悩み」を悩みのままにしてしまうことが問題。悩みを吐き出せる（共有できる）場所を作る（解決できればそれが一番だが、話すだけでも）〔悩みを悩みのまま終わらせない。異変を少しでも察知できるようにする。保護者同士や保護者と職員との交流で少しでも解決の糸口が見つかるようサポートする〕
B5	NPO 等	子育ての方法がわからない（いろいろな悩みにつながっている）。「正しい子育ての方法がある」と思っているのでは？また、支援サービスを受ける時のハードルが高いと感じる時も〔いろいろの子どもを見る（幼保、子育て広場等）ことで子育て方法の悩みを解決できるのでは？自由な時間が取れていない。疲れてしまって考え方が柔軟になっていない〕

Q4【C のみ】　札幌市では待機児童の解消に向けて、保育所や認定こども園の整備等により利用定員の拡大に取り組んでいますが、それによって、子育て支援の現場にどのような変化がありましたか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
C1	保育士	保育士不足。小規模から認定保育園に入るのが厳しく。入りたいのに入れないという声もあるので困っているのでは？〔0～2 歳児が対象〕
C2	保育士	入所希望の増加。しかし現場では保育士不足。親対応も丁寧にすることが大切だが、保育士 1 人に対する子どもの人数が決まっているので。朝夕も子どもはいるので、職員は一層怪我無く安全を第一にしながら頑張っている〔産休の保育さんへの対処もある〕
C3	保育士	3 歳になったら認定こども園に転園する子はいたが、またすぐ入ってくる〔増えていってるので足りていない。先生がいないのが一番の問題。ここ 2～3 年で一番の課題〕
C4	幼稚園教諭	2 年制の 2 歳児クラス開設（母子分離）。母子通園のサークル実施（平成 31 年度、月 2 回、週 1 回）〔子ども一人一人を良く見たいので定員を減らしている〕
C5	幼稚園教諭	利用者が増大（長時間保育の増加）。働く親が増えた〔生活のためというよりは「遊び」「ぜいたく」のため。そのために預けて働くという意識〕

Q4【A・B】/5【C】　（1）日々お子さんや子育て世帯と関わっていて、どのようなもどかしさ、大変さ、困難さを感じますか？（2）それはどうすれば解消できると思いますか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	国は子育て世帯にお金は出しているが、子どもには還元されていない。保護者の休日・時間の保障を国がしていく必要がある。一人の子どもに対して、保護のみの育児ではなく地域で育てる〔保護者への負担減、労働時間減がより重要では？〕
A2	幼稚園教諭	（1）子どもの困り感や気持ちを伝えきれていない。他の子との違いとか発達の心配とか。（2）共に知る機会。時間的余裕〔伝えきれないのは、急いでいるから。「家では大丈夫ですから」といってダッシュで帰宅してしまう。もう少しだけお話させてほしい〕
A3	児童会館	子ども達の様子を見る時間を保護者に！引継ぎ・連携、地域と、各機関と！〔成長を見逃している。児童会館での成長ぶりを伝えたいけれども、ダッシュで帰宅されてしまう。なので発表会を開いて、成長を感じ取ってもらえるようにした。成長ぶりや発達の問題などを一番伝えたい人に限ってダッシュで帰宅する。子どもの成長を伝えるためには、親が話を聞く時間をとろうと思うメリットが必要。聞いたら役立ったというような。成長の共有を施設は大切にしたい。親御さんは逃げてしまう。親の生活パターンの変化で保育の場が変わるので、児童会館が感じた子どものことを引継ぎたい。できる範囲で保育園・小学校とは行っている。園のスタッフと親御さんたちが一緒に子どものことを学ぶ機会を作る〕
A4	NPO 等	（1）マニュアルにとらわれすぎている。（2）難しい。たくさん話をすること？〔子育てサロンは時間が限られる。地域のサロンなので心配そうな保護者を 1 人だけ手厚く対応することも難しい〕
A5	NPO 等	今の子育て世帯が置かれている現状を支援者自身が学び、全体で共有する。批判しても始まらない。理解する、受け入れる、寄り添う。オーダーメイドで支援。子どもの育ちを親が主体的に継続的に学ぶ場や機会を各場でつくる。常設（週 5）拠点を増やす。地域の支援者同士・各機関同士がつながる（連携・協力）〔子育て支援団体はやはりどこも資金不足である。補助金が少ないことは否めない。誰でも来られる場所であるために、利用料をとるのではなく無料であることは大切だと考えている。不足分は運営者や積立金からの持ち出しが続いている〕
B1	保育士	本音が見えない保護者との関わり方。保護者に寄り添い、背景を知る。その上で少しずつ話をしていき、信頼関係を築いていく〔保護者との信頼関係を築かないとなかなか受け入れてもらえない（会話のペースは保護者の都合による）。何回も何回も説明する〕
B2	幼稚園教諭	その子の課題（マイナス面）を伝えるのが難しい。非常に抵抗感を覚える保護者が多い。園への不信感にもつながり悪循環。一般化した形式での発信・伝え方の必要性。例えば「こんなことがあった→このように育ってほしい。」と誰にでも起こりうるマイナス面を知ってもらう機会が必要〔事例集などで事前に知らせる（個別や参観などで詳しく説明。書面にするだけだと読まない親もいるため）〕
B3	児童会館	（1）職員の目線（広く全員）と保護者の目線（自分の子のみ）の違いからくる意見。（2）目線の違いをお互いに理解して共に子育てをする働きかけ〔保護者が求めるものと施設の役割の違いを理解してもらうことが困難。日々の活動をより多くの保護者に見てもらう（普段の様子を録画し上映会を行う）〕
B4	児童会館	（1）規模が大きすぎて、子ども全員に行き届かなかったり、職員が少なくて対応しきれなかったり。（2）職員の確保とそれに伴う資金面の援助〔子育てに関わる・サポートする人が少ない。男性職員 1 人増やすのに年間 300 万円かかる。現状の給与の 2 割増でないと職員が集まらない。今年 1 名雇ったが、給与が足りないため学童と兼務してもらっている（給与は市の補助と保護者の会費で賄う）〕

Q4【A・B】/5【C】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B5	NPO 等	断らない支援を続けること。たくさんの人が地域支援に興味を持てるように（社会の在り方）。困っている時に少しだけ助けてくれる人がいない（解消にはならないけど、ひとまず助けてほしい）。次につなげる・解消できる方向を考える〔社会のあり方や働き方を変えて、子育てに関わられるようにする。個別のケースに対応するには人員が少ない（基本、要望は断らないため）。短時間だけでも地域で支え合い・サポートできるような仕組みがあれば〕
C1	保育士	気になる子どもの姿を親に伝え、姿を共有し、次に進められるように…。気になる子ども、増えている。（2）姿の共有・一致。なるべく早く。一緒に考えていきたい〔集団生活の場での他者との関わりの際に問題があることが多い〕
C2	保育士	（1）子どもの成長の確認を受け入れづらい保護者。（2）健診に関して、就学に向けてもう少し早く対応していきたい〔3 歳児健診で、集団生活に関する質問をしていきたい。健診する人はきちんと教育を受けた人にしてほしい〕
C3	保育士	（1）手が出る子がいる。（2）親と子どもの時間が取れるようにすることで子どもが落ちつくこともある。発達検査受けたり健診に行くべき〔（1）預けっぱなしの子どもに多い。（2）「行けばいいのに」という家庭に限って健診に行かない（5 歳児）〕
C4	幼稚園教諭	（1）子どもの園での姿を受け入れてほしい。（2）適切な支援を早い段階から〔親が子の状況を認識してくれる（レアケースだが）〕
C5	幼稚園教諭	（1）0～2 歳。小さな怪我やかみつきに対する寛容さが無くなってきている。（2）繰り返し、子どもの成長には必要な経験だという事を伝えていく〔「かみつき」は当たり前〕

Q5【A・B】/6【C】　（1）最近のお父さんは積極的に子育てに関わっていると思いますか？（2）どうすれば／どういう働きかけがあれば、お父さんは今より積極的に子育てに関わるようになると思いますか？

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	（1）YES（2）休みやすい環境。時間の余裕。社会全体で子育てに関われる仕組みを作る。育児休暇、時短勤務〔低所得者は余裕がない傾向にある。行事に参加しない〕
A2	幼稚園教諭	（1）関わっている人、そうでない人、どちらもあると思います。（2）楽しいと思えることがあれば。手応え、達成感、満足感など〔おやじの会とか餅つきの男手などのように、男性にとって明確な役割があればよいと思う。ママ友はできてもパパ友はできない。ママ友のつながりからパパ友もつながるように発展していけばよいなと思う。男性には入りやすい場が必要。評価されることも必要。やっぱりお父さんじゃないと…と言われると弱い〕
A3	児童会館	（1）関わっている。（2）社会の仕組み。育休等が当たり前に取れるように。お父さん同士のつながり、おやじの会〔「男の育休カッコイイな！取れ取れ！」になれば良い〕
A4	NPO 等	（1）概ね関わっている。（2）子どもの成長を伝える。少しずつ喜びを共有する
A5	NPO 等	（1）YES　ただし、気持ちはあるが状況が許さない場合もある。（2）土曜日にお父さんが来やすい仕掛けを作る（例：パパママちびっこ講座（土曜日開催・日常的に））。出番を作る（例：餅つき）。男性も来やすい雰囲気づくり（環境構成）
B1	保育士	（1）YES　以前よりも行事参加など、関心を持っている人が増えた。（2）父親に対して子育ての発信をしていく〔子育て情報の発信先。職員側にも母親ファーストの意識がある〕
B2	幼稚園教諭	（1）YES　（2）子育て世帯の保護者を抱える職場に具体的なメリットを政策で保障する（企業単体ではなく、国レベルで）〔意識の差はあれど、一般的に父親の子育て参加は増えている。時短による給与削減からして違う。子育て世帯を含む部署やチームの給与アップを政策で保障〕

Q5【A・B】/6【C】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B3	児童会館	（1）関わっていると思う。（2）母親から、父親の子育てをどのように求めているのかを知ることが大切。父親同士の集まりを企画する（父親が集まりやすい雰囲気）〔父母の集いのイベントを施設側から提案〕
B4	児童会館	（1）YES（2）行事へのお誘い。飲み会など〔飲み会は職員が個別に声かけ（おやじの会など）して実施。内容も子育てにつながるよう、職員がコントロールする〕
B5	NPO 等	（1）YES（その人ごとの差は大きいとは思いますが）。（2）働き方改革。子育てというより家庭生活全般を助け合う姿勢〔子育てだけ限るのでなく、家庭生活の中での子育てを、親も子ども（兄弟姉妹）も行っていく〕
C1	保育士	（1）YES（2）父の育児時間。参加しやすい園行事などももっと考えてみては〔なかには 1 ヶ月育休をとったお父さんもいる〕
C2	保育士	（1）YES。ただ、休みでも保育園に預ける人がいる。（2）休みの時は保育園が使えないなど、決まりを作る
C3	保育士	（1）YES（2）父も育児時間が取れる国を目指して（制度を作る）〔見学にすらお父さんが来てくれる〕
C4	幼稚園教諭	（1）比較的○（2）園として「おやじの会」、お父さんを巻き込む保育。参加する行事、一緒に遊ぶ〔イベント時に「親父の屋台」「もっとやりたいね」と言われる。お父さんを巻き込む工夫をしていく〕
C5	幼稚園教諭	（1）YES（2）お父さんが参加したくなるような行事を考える（雪像づくり）〔「冬の親子レク」にて〕

Q6【A・B のみ】　保育士や幼稚園教諭の離職防止や就職促進のための取組／子育て支援活動を継続していただくために必要な取組として、良いアイデアがあれば教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	勤務時間内の就労。有給休暇の確保。賃金アップ（看護師並み）。小学校高学年から乳児の関わり、園サロンなど（年数回）。産休、育休、時短の充実。職員確保（人件費アップ）。子育て支援活動資金の充実。保護者負担減。社会的地位の見直し〔作り物や書き物は職場では時間不足でできない。家に持ち帰って作業している。保育士になるというと親や先生が低賃金だからやめた方が良い、と引き留めるケースもよく聞く〕
A2	幼稚園教諭	処遇改善。給料、働く時間、人員配置〔出産、結婚で退職しがち。転勤族の妻など。7 時～20 時の運営なので、頑張る人に負担がかかりがち。保育士は家庭支援論を学んでいる世代とそうでない世代の違いで、最近の家庭に支援が必要な世帯への理解度の違いある。若い人の方が子育て支援のことを分かっている。しかし若い保育士は先輩に口を出せないし、年代の高い保育士は支援とは特別な福祉的なものとして見ている〕
A3	児童会館	社会的地位の向上と給与アップ。業務の見直し。業務量を下げる。思った以上の業務量。やりがいだけではできない世代〔児童会館のスタッフは学校の先生より下であると考えている保護者が多い。やりがいだけでは働かない世代への人材育成の手法を変える必要がある〕
A4	NPO 等	子育てサロンを楽しむこと。無理をしない
A5	NPO 等	地域子育て支援拠点に国の基準と同程度の補助金を！100 万円は安い。持ち出していますが、もう限界。スタッフが保育園へ移っていく。やりがいだけでは続かない。安定・継続的に運営できる補助金を！継続的に研修の機会を作りスキルアップを図って専門的知識を得て、誇りをもって子育て支援に取り組めるような環境づくり。子ども時代から乳幼児に触れる機会を作る〔NPO スタッフの高齢化。札幌市でも子育て支援などの研修はあるが、プログラムの内容が薄い〕
B1	保育士	人員の確保。もっと余裕を持った保育をしたい〔専門的なことも増えて、時間がどんどん少なっていく〕

Q6【A・B のみ】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B2	幼稚園教諭	「あこがれの職業」なのに離職が減らない…。業種別のではなく、一般的な給与水準の 2 割以上高くないと。仕事内容を知ってもらうよう、メディアなどで大々的に取り上げてもらう。また、税金を投入する必要性を国民に広く理解してもらう〔あこがれは強いがやらない・辞める人が多い。仕事にプライドを持てるように促す〕
B3	児童会館	専門職としての立場を確立し給料を上げる（教諭や医師のように）。若い人は事務・総合職を希望している人が多い。中高生の時に子育て支援の仕事体験を増やし、興味を持ってもらう〔中高生に対し、子育て職に対する興味・関心を持つ機会を増やす〕
B4	児童会館	給料アップ。もしくは休日を増やす〔現在の給与水準を維持した上での休み増〕
B5	NPO 等	子育て支援活動を運営するための資金援助。地域の人を巻き込む（60 代後半の人）。やりがい・楽しさを発信していく〔子育てや定年退職した人の大量参加を促す〕

Q7【A・B のみ】　子育て支援者同士・他の関係機関とのつながり・連携について、課題だと思っていることを教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	小学校の連携が増加してきたが、児童会館、児童クラブとは継続的な関わりが少ない。職員同士で一日体験など、施設でどのようなことをしているのか？興味・関心を持つ。子育てサロンや園での情報共有と現場への訪問。ケースワークとか実践へ〔小学校の先生は保育園の運営のようすを見学にきて状況を確認している。そうした連携が増えるとよい〕
A2	幼稚園教諭	お互い時間的余裕が無い（場所、時間）。つながることの良さ・大切さが共有されていない
A3	児童会館	お互いの調整。自ら動く。個人情報の共有の難しさ。行き来できる関係性〔今連携があるのは、親父の会や学校・幼稚園・高齢者施設・プレーパークなど。地域のお祭りへの参加や運営のお手伝いをしたり、高齢者施設ではデイサービスに行って高齢者と触れ合うこともしている。連携するためには個人情報も必要になる。取り扱いのマニュアルやルールがあれば。近所の保育園の子どもたちは、成長すると児童会館にくることが多いので、保育園とは連携が深い〕
A4	NPO 等	保健師さんなどとの子育てサロンの参加を希望しているが…（年 4 回くらい）〔保健士配置人数の変更などがあり、前ほど頻繁に来られなくなってしまった。区との連携は良くできていると思う。今後様々な団体と機能をサポートし合える関係が広がって、支援者の支援をし合えるようになるとよい〕
A5	NPO 等	それぞれの概要は知っているが、中身の細かい部分までは知らないことがあった。（本日のお話から）。拠点の活動に必要と思った専門職とのつながりは積極的に作ってきた（小児科医（発達専門）、乳幼児発達心理学者、助産師）。札幌の子育て支援を考える会（他団体と年 4 回の情報交換会）。北海道地域子育て拠点、メールリングリストを作って情報交換。札幌市利用者支援、専門員に毎月来てもらう（区の保健師、栄養士など）。学びの場を作り、一緒に学び合う。地域（町内会）の総会・新年会などに参加し、知ってもらう・来てもらう〔医師や大学教授の協力を得るにあたっては、札幌大谷大学との連携の中で出会い、声掛けをした〕
B1	保育士	他の関係機関の現状を知ること。お互いに理解し合い連携していく〔児童相談所。もっとも関わりが強いはずなのによくわからない〕
B2	幼稚園教諭	本来業務に忙殺されて参加できないこと。つながりが個人または個々の施設レベルでしかできないこと。「研修」の位置づけ、キャリアアップの項目として保証する〔研修制度に他業種体験を加える〕
B3	児童会館	「地域での子育て」という現状なので、各施設が地域連携の必要性を感じており、ここ数年では特に課題を感じない。発展的である〔どの施設・機関も少しずつ連携が広がっていると思う〕
B4	児童会館	関わりを持つ第一歩をどうしたら良いかわからない〔知るための第一歩、どうしたら？〕

Q7【A・B のみ】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B5	NPO 等	（子育て関連の）他業種の方々との交流で全体像を知ること〔保育園や保健師、児童相談所など、少しでもつながりがあれば（名刺交換だけでも）〕

Q7【C のみ】　保育士や幼稚園教諭の離職防止や就職促進のための取組について、良いアイデアがあれば教えてください。

Q8【C のみ】　特に中高生が、将来の職業として保育士や幼稚園教諭をさらに目指すようになるような取組について、良いアイデアがあれば教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
C1	保育士	給料を上げて。働けば若い人に家賃補助（市独自）とか〔最初の何年かだけでも（初任給安すぎ。休み取りづらい。残業となる）〕
C2	保育士	給料アップ。障がい児認定だけでなくグレーの子どもにも補助金を。保育士 1 人に対する子の人数、監査をもっとゆるく〔書類作成が大変〕
C3	保育士	給料アップ
C4	幼稚園教諭	賃金アップで人間関係良好〔賃金が上がると心に余裕がでてくるので。給料安いのに人間関係悪かったら…。先輩が新人をしっかりサポート〕
C5	幼稚園教諭	中高生のインターンシップ〔現在も中高生のボランティア体験を 1～2 回行っている。1 週間くらいあればベター。高校生の方が就職近いのでベター（中学生より）。幼稚園先生、保育士→遊んでいるだけのイメージが持たれている。それを変えるための取組としてインターンやボランティア体験は大切〕

Q8【A・B】/9【C】　子育て世帯に対する支援として、（より）必要だと思う取組を教えてください。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	病児保育の充実とサポート代軽減。送迎時のサポート代軽減。身近な子育てサロンの充実。情報の明確化。親子で参加できる子育て講座。ラフに参加できる場の提供。三世代世帯の促進（世帯に報酬あり）〔病児保育は 1 日で 1 万円くらいかかったとしても、利用する人は多いと思う〕
A2	幼稚園教諭	働き方、時間、有休。子どもと関われる時間の確保。子育てを共に楽しむ。地域資源の活用〔短時間勤務→給与減だと余裕無し。地域資源＝人！〕
A3	児童会館	父母ともに時短できる当たり前の社会へ！経済（お金）支援。地域とともに　0～18 歳まで利用できるスケールメリットを他団体と連携を！地域とともに！父母の支援を〔地域資源や施設間の連携促進。子ども・支援者・父母・地域が互いに WinWin になれるような連携づくり〕
A4	NPO 等	寄り添う子育てサロンの継続〔親御さんにどう参加してもらうか。来ない人達が問題。保育士さんと連携すると来てくれるようになることもある〕
A5	NPO 等	地域子育て支援拠点。中学校ごとに週 5 回開催。他都市の先進事例を見学に行き、市の計画に取り入れてほしい。民間に委託、補助の金額を国の基準で算出して、質の向上を図る。研修やイベントを官民で一緒に企画運営する。連携がうまれる。児童デイサービスに適切につないでくれる仕組み（部署）。その親子のニーズに寄り添いながら最後まで責任をもってつなぐ役割。縦割りから横串へ。児童デイサービスに行くことを勧められながら探さなければならない現状がある
B1	保育士	悩みを吐き出せる人や場所を用意する。様々な機関との連携〔悩みを気軽に相談できる場所の確保（保育園ではやっている）。（例えば時間外でも）継続して対応していく〕
B2	幼稚園教諭	子どもを遊ばせることができる屋内施設（相談員常駐）。無料または安価な送迎タクシー。もしくは巡回バスの提供〔安価で遊べる場所に相談員がいれば…。遊び場までの交通手段の提供（タクシーチケットなど）〕
B3	児童会館	子育ては親・施設で行う。親は子育てをゆったりできる。知識を身につけれる。施設はスキルが向上する〔子育て世帯にとっては住みにくい街（ハード面）。ベビーカーが押しづらい・停める場所がない。スキル（ソフト面）向上によって、親に対するアプローチ方法を学ぶ〕

Q8【A・B】/9【C】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B4	児童会館	多様化するニーズに応えられる受け皿をつくること〔保育料が高くて断念する人が多い（他の選択肢が無い）。早朝や放課後、夜間などのニーズに対応できる施設を増やす〕
B5	NPO 等	経済的支援。利用できる支援の拡大〔地域全体で子育てしていけるようになれば良い。サービスは増えても子どもは減っている。どこかに原因があるのでは？何でも無料ではなく、有料でも利用したいサービスを増やす〕
C1	保育士	親が安心して働けるよう（ちょっとした認定）保育園などを増やす。子育てに関して相談できる場などを増やす〔無資格者対応、ビルの一室（無認可）ではなく。すごく増えている。大丈夫？〕
C2	保育士	親子で関われる時間。関わり方を体験できるレクリエーションなどの継続。地域の人への保育士さんの訪問回数の増加など〔施設イベントを紹介してあげるなど、社会とかかわるきっかけづくりを。ぽかぽかサロン（保育園の取組）や児童会館、子育て・地域サロンについて紹介〕
C3	保育士	病気の子どもを預かるようにする。働きやすい社会を…。ワンオペ育児にならないように〔保育園や幼稚園に入らない子〕
C4	幼稚園教諭	横のつながりが持てるきっかけづくり。公園の整備の仕方を変える（ボール投げ OK など）〔サークルづくりの支援。以前、市の取組としてやっていた（仲良し子ども園）。「館」としても良い制度だった（保育士さん付き）。子育てサロン＝地域の人、だとどうしても限界がある〕
C5	幼稚園教諭	通園していない家庭への支援。具体的な子育て相談窓口（例：トイレトレーニングや離乳食等）〔来る人は良いが、来ない人はどうするか。施設増だけでなく、人育てもきちんとやって！「自分から動けない」若者が増えている。「人」として育ってない若者が多すぎる。養成校も嘆いている。幼保と小学校との連携をもっと進める。小学校の先生をもっと知ってほしい（幼稚園や保育園のことを）。〕

Q9【A・B のみ】　最後に、子育て・子育て支援に関して「札幌市にこれだけは訴えたい！」ということがあれば。

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
A1	保育士	人件費増加。保育士とそれに対する子どもの人数をスウェーデン並みにしてほしい。監査に対して書類を簡素化してほしい。処遇改善と園児に対して教育・保育時間の減少。保護者の労働改善にもつなげて〔先生の負担軽減。スウェーデンは保育士 1 人で 10 人。日本は 1 人で 30 人。スウェーデンレベルになることが望ましい〕
A2	幼稚園教諭	子育てには最強の街になって！必要な所に補助金を！（保育士、幼稚園教諭に札幌市独自の手当とか）〔「子育て頑張っている世帯」手当〕
A3	児童会館	各現場を見に・体験しにきてください。頑張っている団体の人への支援を大切に！（人・物・金）
A4	NPO 等	子育てサロンの助成金の使い道を広めてほしい〔助成金への縛りが多い。やむを得ないのは理解しているが、「お菓子」などがダメなのはわかるが、子どもたちと一緒に料理を体験するちらし寿司などの食材費もダメなのは辛い〕
A5	NPO 等	協働の視点。他都市の取組から学ぶ視点を求めます。官民が学び合いつながり合う仕組みづくり。拠点事業（第 2 社会福祉事業（児童福祉法））とサロンの整理。意義・役割の明確化。要綱の作成。発達の道筋の見直し。（保健センター）おすわり練習×（母子手帳）→はいはいの後におすわり〔柔軟に子どもの発達を受け入れられるように〕
B1	保育士	子育てしやすいまちに〔具体的には保育士を増やしてほしい〕
B2	幼稚園教諭	この業種に対する地位向上の取組。給与面はもちろん、子育てに携わる仕事とそのサービスを受けることの必然性と重要性を、メディアを活用してアピールしてほしい（税金を投入することに対する市民の理解を得るために）〔市独自の子育て施策をつくる。札幌出身の（子育て中の）有名人やスポーツ選手に PR してもらう〕

Q9【A・B のみ】続き

番号	職業・所属	回答内容（※〔 〕はインタビューアーによる補足）
B3	児童会館	専門職という認識で働く人に対して親切なまちであってほしい（現場への理解。「毎日大変だ」）〔子育てや保育の現状をより深く知ってほしい〕
B4	児童会館	子どもはどこに通っていようが何していようが同じ札幌の子ども。子どもに差がつかない政策を〔教育や支援で子どもに差がつかないように〕
B5	NPO 等	子育てや子育て支援、子どもの成長のための予算を増やしてほしい〔国では足りないところは市が支援する〕

Ⅵ．先進事例調査

１．調査の視点

○特に「就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査」「就学前児童の保護者へのグループヒアリング調査」「子育て支援者へのグループヒアリング調査」を踏まえて、子育て支援の取り組みとして、以下のような要望が高いことがわかった。
○まず、母親を孤立させないための取組である。そのためには、母親に対する相談・支援や、母親同士のコミュニティ形成を促進することが大切だと考えられる。
○また、子どもを遊ばせることができる屋内施設も求められているが、それに上記の機能を付加することも有効だと考えられる。
○子どもの一時預かりの要望も大きい。特に、母親の社会参加促進を考えると、子どもが病気にかかった際の病児・病後児保育が今後、さらに必要だと考えられる。
○男性・父親の更なる育児参加が求められるが、それに付随して父親間のコミュニティ形成も必要であると考えられる。
○以上の視点から、札幌市の取組の参考になり得る事例として、下記の 5 事例について調査を行った。

Ａ．わこう版ネウボラ（和光市）

Ｂ．0123 吉祥寺、0123 はらっぱ（武蔵野市）

Ｃ．ろくごう病児保育室（東京都大田区）

Ｄ．スマートフォンアプリによる病児保育の空き状況の情報提供（堺市）

Ｅ．イキメン研究所（川崎市）

2．先進事例調査結果

A．わこう版ネウボラ（和光市）

1）取組の概要

○妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を目指した「地域包括ケア」の考え方に基づく一体的な相談・支援サービス提供のための取組である。

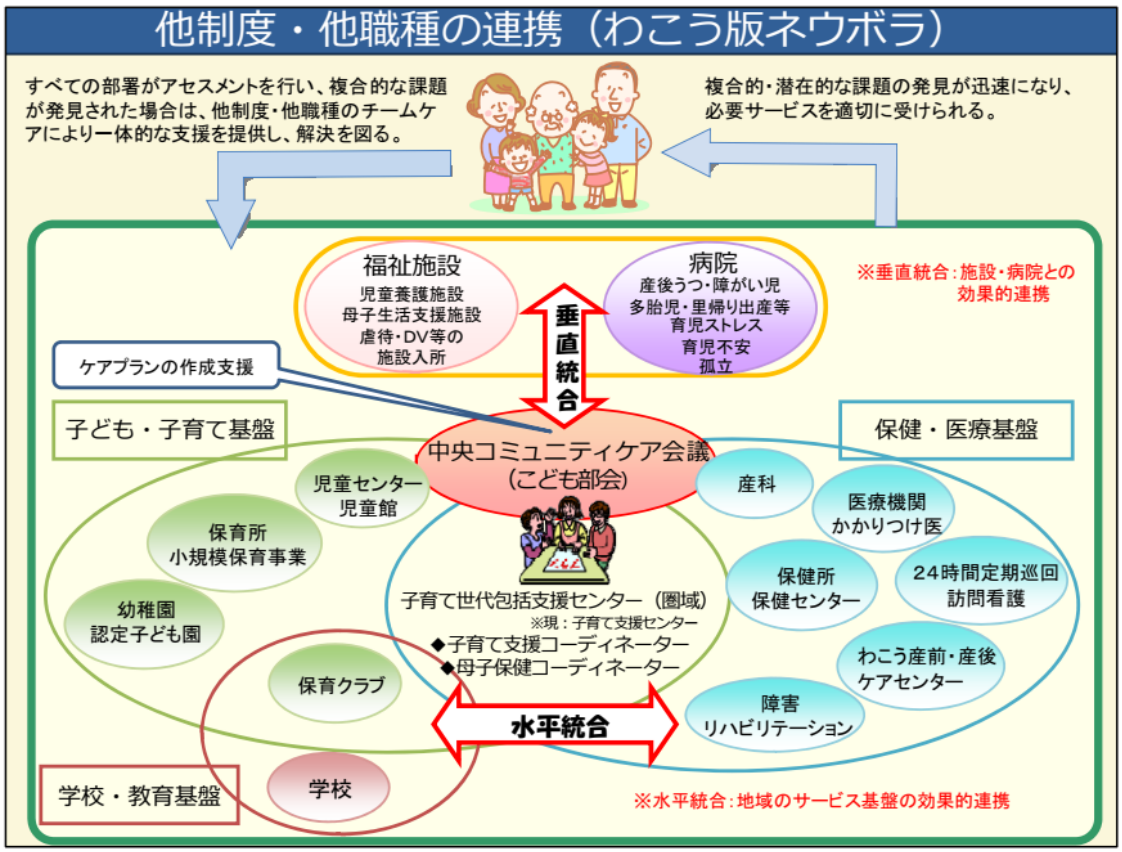
2）取組の内容

○和光市では平成 27 年 3 月に策定された「子ども・子育て支援事業計画」における「基本目標」として「地域包括ケアシステムの構築による子ども・子育ての自立支援」を掲げている。

○この「地域包括ケアシステム」は高齢者介護における同システムが参考にされており、和光市では「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行うため」の「あらゆる地域資源（社会資源）を活用して、地域の特性にあった課題解決のための仕組み」としている。

○この妊娠期から学童期までの時期における「地域包括ケアシステム」を実現するための取組・仕組みが「わこう版ネウボラ」である。

○仕組みとしての「わこう版ネウボラ」の特徴は、子育て支援以外の事業・職種も含めた「他制度・他職種の連携」による仕組みということが挙げられる。縦割りでサービスが個別に提供されるのではなく、下図のように、地域の施設・サービスが「垂直統合」「水平統合」して一体的に提供され、また、サービス提供者側も縦割りではなく 1 つのチームとして活動する。



出典：和光市子ども・子育て支援事業計画

○ネウボラの拠点機能を担うのが市内５ヶ所に設置された「子育て世代包括支援センター」である。それぞれに助産師や看護師などの資格をもった「母子保健ケアマネジャー」、又は社会福祉士や保育士などの資格をもった「子育て支援ケアマネジャー」を置いている。

○これら、母子保健ケアマネジャー又は子育て支援ケアマネジャーが、各センターにて妊娠期から出産・子育てに関する相談を一貫して行っているほか、アセスメントの結果、支援が必要と判断した家庭に対しては「ケアプラン」を作成の上、市役所各部局、医療・障がい福祉等の専門家、サービス事業者等、多職種がチームを組んで、様々な公的・非公的の支援メニューを組み合わせ、重層的な支援を行っている。

○相談・支援の最初の契機となるのが妊娠期における母子健康手帳の交付である。和光市では上述の子育て世代包括支援センターで母子健康手帳を配布しているが、その際に保護者（妊婦）にアンケートやヒアリングを行い、抱えている課題や不安の抽出を図っている。

○出産後も、定期検診、支援事業への参加、教育・保育事業など、様々な時点で、関係部署、関係職種が子どもに関する課題に気づいた場合には関係者によるアセスメントが行われ、その結果、支援が必要と判断された子ども・家庭に対しては上述した「ケアプラン作成～支援」が行われる。必要に応じてアウトリーチ支援も行われる。

わこう版ネウボラでは、母子健康手帳を地域のネウボラ拠点で交付し、妊娠期から出産・子育てに関する相談支援を母子保健ケアマネジャー及び子育て支援ケアマネジャーが一環して行います。その支援は、母子保健及び福祉的視点をもち、経済的問題等にも対応します。

出典：和光市ウェブサイト

3）今後の展開

○「地域包括ケア」とは、基本的に課題を抱えた人について、その人や課題の「種別」を問わず、課題解決に向けた包括的な取組を行うという思想である。

○そのような思想を踏まえて、和光市では平成 30 年度から、高齢者、障がい者、子育て世代、生活困窮者に対応する 4 種類の支援拠点を統合した「統合型地域包括支援センター」の整備に取り組んでいる。妊娠期から高齢期まですべてのライフステージで、生活課題を解決するための継ぎ目ない支援を実現させることを主な目的としている。

B．0123 吉祥寺、0123 はらっぱ（武蔵野市）

1）取組の概要

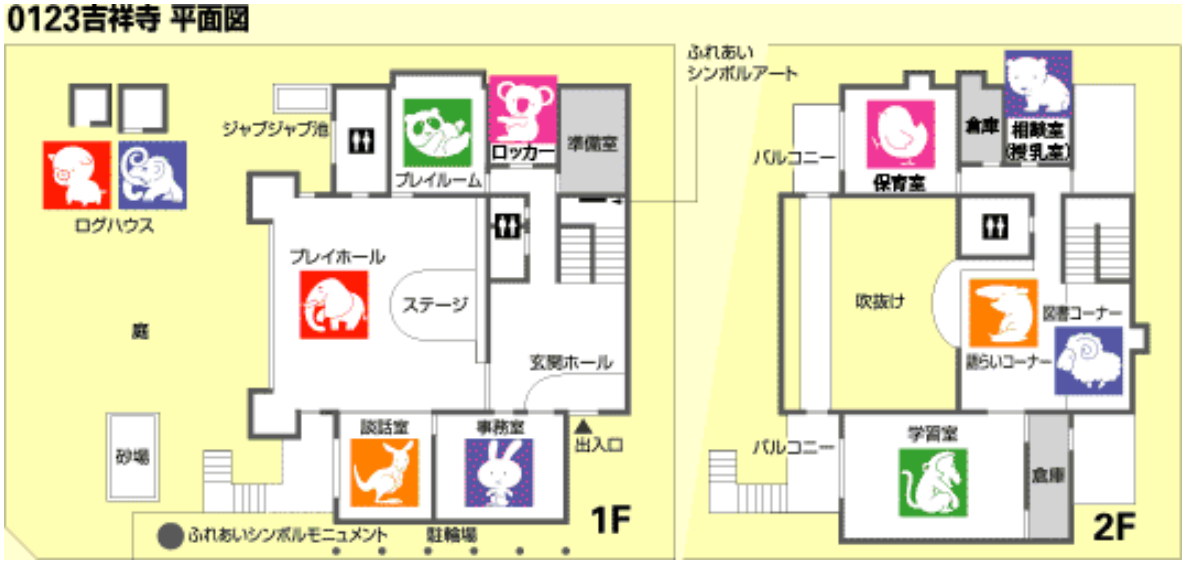
○「0 歳児から 3 歳児の子育てコミュニティ」を掲げ、「子どもたちが自由にのびのび遊べる場」の提供だけではなく、相談機能、コミュニティ形成機能等を掲げている子育て支援施設である。

2）取組の内容

○0123 吉祥寺、0123 はらっぱは、武蔵野市が設置し公益財団法人武蔵野市子ども協会が運営する武蔵野市に住む 0 歳から 3 歳の子どもとその家族を対象とした施設である。

○0123 吉祥寺は平成 4 年に開設された地上 2 階・地下 1 階建て、延床面積 522.76 ㎡の施設である。0123 はらっぱは平成 13 年開設の地上 2 階建て、延床面積 889.08 ㎡の施設である。いずれもプレイホール・ルーム、親がくつろげる談話室、赤ちゃんが過ごす保育室、子育ての相談ができる相談室などがある。

0123 吉祥寺の外観・内観・平面図



出典：0123 ウェブサイト

0123 はらっぱの外観・内観・平面図

○0123 で特徴的なのが、「0 歳児から 3 歳児の子育てコミュニティ」を掲げ、「子どもたちが自由にのびのび遊べる場」としてだけではなく「親同士の交流・学習の場」「子育てについて相談に応じる場」「子育てに関する情報を提供する場」「身近な自然に親しめる場」として次のような機能・事業を提供していることである。

●ひろば事業

午前 9 時から 4 時までの開館時間内いつでも遊びに来ることができます。親子で自由に過ごす中で、遊びや交流がさまざまな形で展開されます。また、スタッフが必要に応じて子どもの遊びや親同士の交流を援助します。

●つどい事業

親子で参加できるイベントや講座を行い、一緒に遊んだり、子育てについて学習したりしながら仲間づくりをしていきます。

また、親を対象にした子育てに関する講演会や講習会も行います。

●情報提供事業

子育てに関するさまざまな情報を提供しています。情報交換掲示板や親の自由な交流を通して、親同士の情報交換も活発に行われています。また、ダイレクトメールの送付・ホームページにより、対象児のいる全家庭、特にまだ一度も来館したことのない親子への PR を行っています。

●地域交流事業

地域と共に子育てを支援していくことを目的に、さまざまな催しを行っています。 また、遊具作りや講座の補助など、必要に応じてボランティアの協力を得ています。
さらに、市内各施設と連携し、子育てを支えています。

●利用者支援事業

子育て家庭の状況やニーズに合わせて、幼稚園、保育施設、一時預かりなど、地域の子育て支援サービスの情報提供や相談を行っていきます。また、地域の様々な関係機関・施設と連携を図っていきます。平成２９年度より地域の「コミセン親子ひろば」や「ふたごみつごのつどい」にスタッフが出張し、日頃の子育てに関する相談に応じたり情報提供を行うなど、より地域に密着した支援を行います。

出典：0123 ウェブサイト（抜粋）

○以上挙げた中でも、施設内で一体的に「相談事業」や、親同士の交流・情報交換を図ることを主眼に置いていると思われる取組、ボランティアスタッフによる取組が行われていることが注目される。

相談事業

催し	実施日時	内容
育児相談	随時	スタッフがいつでも子育ての相談に応じます。幼稚園や保育施設、一時預かり等、地域の子育てサービスについての相談にも応じます。
スタッフと子育てトーク	原則として週１回（月４回） ①9:30～10:00 ②10:00～10:30 ①14:30～15:00 ②15:00～15:30	１人３０分程度お子さんを託児しますのでスタッフとゆっくり話ができます。（要予約、武蔵野市在住の方に限ります）
発達相談	奇数月１回 ①10:30~11:00 ②11:30～12:00	地域療育相談室「ハビット」の職員が相談に応じます。（要予約、武蔵野市の方に限ります。11:00～11:30 は予約不要）
食・なんでも相談	月１回 10:00～12:00	管理栄養士による離乳食から幼児食まで「食」についての相談。

親同士の交流・情報交換を図るための取組

催し	実施日時	内容
誕生日のつどい	毎月 第 4 土曜日（12 月は第 3） 11:00～11:30	誕生月の子どもたちをみんなで祝う会。
みんなで Lunch	年 3 回　5 月 10 月 2 月 11:45～12:30	スタッフも一緒にみんなでお昼ご飯を食べる会です。
0 歳ひろば	原則毎月 10 日・20 日・30 日（8 月を除く） 10:30～11:15	対象：0 歳の子どもと保護者。親子遊びや情報交換。
1 歳ひろば	原則毎月 1 日・11 日・21 日（8 月を除く） 10:30～11:15	対象：1 歳の子どもと保護者。親子遊びや情報交換。
2 歳・ 3 歳ひろば	原則毎月 1 回（8 月を除く） 10:00～11:00	対象：2 歳以上の対象児と保護者。リズム遊びや造形遊び・季節の催しなど。
0123 子育て談話室	年 3 回（連続 2 回） 10:00～11:30	子育てについて同じ悩みを持つ親同士、講師・スタッフを交えての話し合い。
先輩ママと語ろう！	年 3 回	子育てについて、スタッフや先輩ママを交えての話し合い。

ボランティアスタッフによる取組

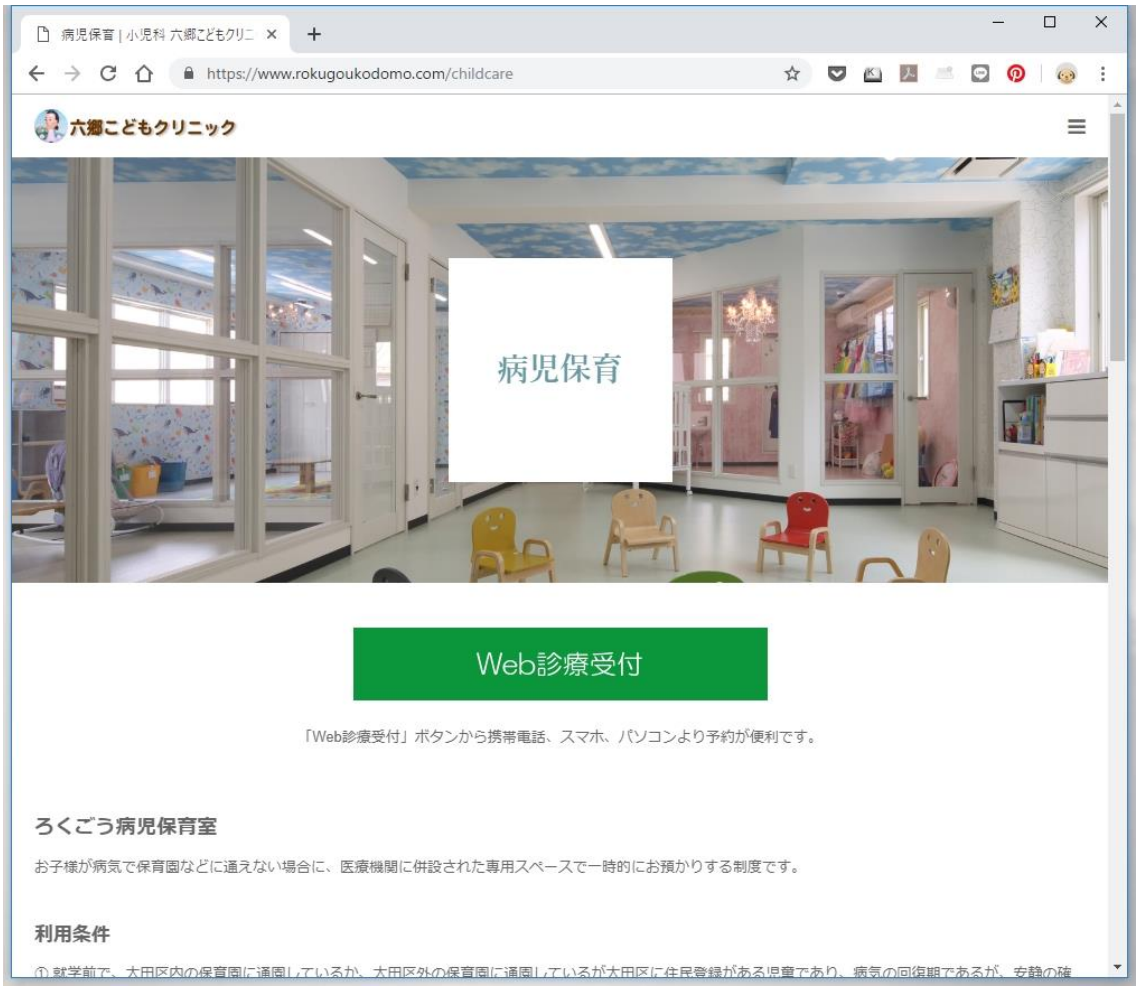
催し	実施日時	内容
うたとピアノの会	毎月 1 回 11:00～11:30	ピアノの伴奏に合わせてみんなで童謡などの歌ったり、ピアノ演奏などを楽しむ時間。
おはなしタイム	水曜日 14:00～14:30	絵本の読み聞かせや、手あそび。
わらべうたの会	毎月 1 回 14:00～14:30	わらべうたを親子で楽しむ会。
ボランティアによるフォト講座	年 2 回（7 月・3 月） 10:00～12:00	写真家によるカメラの基本操作・構図などについての講義と実習。

出典：0123 ウェブサイト（編集・抜粋）

C．ろくごう病児保育室（東京都大田区）

1）事例の特徴

○病児保育について、当日の登録受付、ウェブ上の予約システム、施設での物品提供、写真画像での親の確認などを行うことで、親の予約・受付、物品準備等の手間を軽減している事例である。



https://www.rokugoukodomo.com/childcare

2）大田区での病児保育

○ろくごう病児保育室がある東京都大田区には、同保育室を含めて 6 ヶ所の医療機関併設型、1 ヶ所の保育所併設型、1 ヶ所の専用施設型、計 8 ヶ所の病児・病後児保育施設がある。

○利用条件は下記の通り。

> 就学前で、大田区内の保育所に通所しているか、大田区外の保育所等に通所しているが大田区に住民登録がある児童で、保護者の勤務等の都合により家庭で育児を行うことが困難な児童。

○大田区における病児・病後児保育の基本的な利用の流れは下記のようになっている。

①事前登録（利用日までに必須だったり利用日でも可能だったり、施設により異なる）
②かかりつけ医を受診、医師連絡票に記入してもらう
③病児・病後児保育室を予約
④医師連絡票を提出し病児・病後児保育室を利用

3）ろくごう病児保育室での病児保育

○小児科診療所「六郷こどもクリニック」併設の施設である。

○利用の予約は、前々日～当日 8:30 までであれば、スマートフォンからも登録可能なウェブの登録フォームにより行う。当日 8:30 以降であれば電話にて空き状況を確認し、空きがあれば利用が可能となる。

○「施設利用のご案内」等に「8 時以降のキャンセル、無断キャンセルは、キャンセル料は頂きませんが、次回以降のご利用をお断りさせていただきます」と明記することで、安易な予約や 8 時以降のキャンセル、無断キャンセル等を予防している。

○事前登録は必須ではない。当日、登録票を記入し提出することで利用可としている。

○具体的な利用の流れは下記のようになっている。

①ウェブにて利用申込
②来所し、必要書類を提出。これらはクリニックにて記入できるほか、クリニックのウェブサイトからダウンロードして事前に記入しておくことも可能としている。
③医師による診察後、利用（保育）開始。診察は他の医療機関受診を受診済みの子どもを含めて、すべての子どもに対して行われる。

○利用時の必要書類は下記のとおりである。

【登録票】子どもの既往症、アレルギー、予防接種の状況、保護者の連絡先などを記入。
【同意書】感染症の子どもの取扱・処置などについての同意。
【連絡票】病気について、発症した時からの経過、前日の食事、睡眠の状況などを記入。
【与薬依頼書】子どもに飲ませる薬について記入。
【医師連絡票】他の医療機関受診後に施設を利用する場合は提出。

○なお、ろくごう病児保育室では、親の準備の負担を減らすために、施設にて昼食、飲み物、粉ミルク、着替え、おむつを提供している。

○子どもを引き取る際の確認用に、来所時に保護者と子どもの顔をデジタルカメラで撮影し、写真を親に渡すとともに、引き取りに来た際には顔での目視認証を行っている。別の親が引き取りに来る場合には写真を持参することで確認している。

D．スマートフォンアプリによる病児保育の空き状況の情報提供（堺市）

1）事例の特徴

○スマートフォンアプリから複数施設の空き状況を一覧できるようにすることで、利用希望者の手間の軽減、施設稼働状況の平準化を図っている。

2）取組内容

○堺市には 5 つの病児保育室があるが、システム供用前までは利用希望者は複数の移設に空き状況を電話等で確認する必要があった。また、利用希望者が複数施設に予約することに起因する空きが発生してしまうこともあった。

○上記の問題を改善するため、堺市が提供する子育て支援のためのスマートフォンアプリ「さかい子育て応援アプリ」の 1 コーナーとして病児保育施設の空き状況が一覧できるシステムの供用を平成 29 年 10 月から開始した。

出典：堺市ウェブサイト

○なお、アプリで提供している機能は空き状況の一覧のみでアプリからの予約はできない。利用の予約は保護者が各施設に電話して行うようになっている。

○なお、堺市における病児保育施設利用の流れは下記のようになっている。

①原則として利用日までに利用の事前登録を行う。登録は施設ごとに必要。
②かかりつけ医を受診。「診療情報提供書」に記入してもらう。
③「さかい子育て応援アプリ」で施設の空き状況を確認。
④空いている施設に電話等で利用申込。
⑤病児保育の利用開始。

○空き状況の情報更新は各施設が行っている。情報登録のためのシステム（ウェブフォーム）にアクセスして「空あり」か「満室」かを切り替えるようになっている

○このシステム稼働後、利用者からは「病児保育室の利用に当たって、とても参考になる」という声が寄せられているそうである。各施設からは「システムを通じて予約までできるようになればよい」との意見が上がっているが、現在のシステムでは難しいとのことである。

E．イキメン研究所（川崎市）

1）取組の概要

○一般市民の父親有志の参画による「イキメン研究所」が、同じ父親を対象とし育児参加に関する様々な講座・取組を行っているという父親参画の取組である。

2）取組の内容

○平成 25 年 6 月に川崎市男女共同参画センター（すくらむ 21）による男性支援事業として始まった取組。

○「イキメン」とは、仕事だけではなく、「家庭でも地域でもイキイキと過ごすパパ」のこととしている。

○「イクメン」ではなく「地域でもイキイキと過ごす」「イキメン」としたのは、それまでに男女共同参画センターが行ってきた子育て中のパパが語り合う場「パパり場」等を通じて、父親が、主催者が用意した育児参加のイベント等に受動的に参加するのではなく、主体的に地域づくり等に参画したいという意識を持っており、それに応えていくことが、男女共同参画センターに求められているという点を認識したからである。

○また「研究所」という名称も、受動的な姿勢ではなく、当事者として自分自身で考えて主体的な関わりを持ってもらうという意味合いが込められている。

○現在「研究員」は約 20 名で、その約 3 割が特にアクティブに活動している。

○メンバーは月に 1～2 回のミーティングを行い、下記のような様々な取組を「研究活動」として実施している。

パパのための子育てサロン「salon　PaPas」

パパ目線で気になる事柄をテーマにした講座や、親子イベント、パパ交流会として行っている。

イキメン研究所パパ料理部

仕事をしながら地域でも活躍する「イキメン」ならではの料理を研究・収集・発信している。

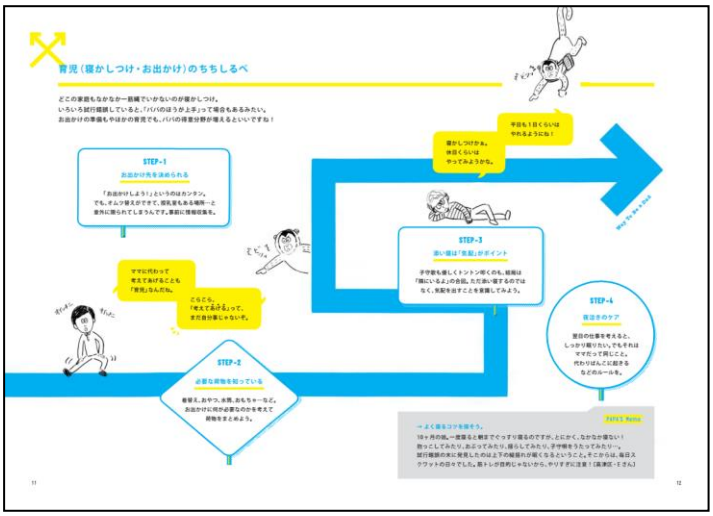
パパと子でお出かけスポット調べ

どこにどれくらい公園や遊び場などがあるか、子どもとのおでかけの必需品・便利グッズ、オムツを替えられる場所はあるかなど、実際に子ども連れで出かけてリサーチし「ちちしらべ・遊び場マップ」としてまとめた。

父子手帳「ちちしるべ」の作成・改訂

平成 27 年 2 月に発行された父親向けの小冊子。単なる育児参加のスキル集・マニュアル本ではなく、読み進めていくことで、育児、遊び、夫婦間の協力、家事、時間の使い方等について、各父親に合ったスタイルを見つけていくための考え方やヒントを示す内容となっている。平成 28 年には経済産業省による第 10 回「キッズデザイン賞」の奨励賞を受賞している。

なお、平成 30 年度には改訂作業が行われ、平成 31 年 3 月に改訂版が発行される予定。



出典：すくらむ 21 ウェブサイト、ちちしるべ

3）その他

○「イキメン研究所」の取り組みを進めるに当たって、男女共同参画センター事務局は一定の方向性を示しつつもなるべく補助的な位置に留まり、研究所メンバーが主体的に企画・運営に関わるように留意しているとのことである。

○メンバーによるミーティング時には、子どもの同伴も可としている。それが難しい内容の場合は一時保育をつけることで、父親が子どもと過ごす時間・機会を増やすとともに、母親にとっても一人になれる時間を確保するように工夫している。

○「イキメン研究所」では、イベント時等に参加者に「イキメン研究所」への参画を呼びかけることでメンバーを増やすこと、すなわち、地域づくり活動への参画を増やすことにも取り組んでいる。

左「Salon Papas・絵本の読み聞かせ」、右「イキメン講座・子どもとおもちゃ作り～」
出典：川崎市ウェブサイト

資料編

札幌市就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査 調査票

札幌市では、平成 27 年 3 月に「新・さっぽろ子ども未来プラン」（計画期間：平成 27 年度～31 年度）を策定し、子どもが豊かに育つ環境を総合的に整えています。

このたび、西暦 2020 年度～2024 年度を計画期間とする新たなプランの策定にあたり、子育て中の世帯の皆様の子育ての実態や子育て支援に関するニーズを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

札幌市におけるより良い子育ての環境を整備していくための基礎となる非常に重要な調査です。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

■調査票のご回答にあたって

●封筒の宛名の方の保護者の方がご回答ください。

●ご回答は当てはまる番号を○で囲み、□内には数字 1 文字を、（括弧）内には具体的内容をご記入ください。

●網掛けは回答対象者の条件をお示ししています。条件に合わない方はお答えいただかなくて結構です。また　**⇒問●へ**　は設問の分岐を示しています。

■回答方法

●調査票は、平成 31 年 1 月 4 日（金）までに 同封の返信用封筒にて投函願います。

●このアンケートは、ウェブフォーム、E メールにてご回答いただくことも可能です。スマートフォン、PC から右の QR コードまたは https://www.northerncross.co.jp/hoiku/または https://goo.gl/ZVHGBz にアクセスしてください。

■その他

●この調査票は、札幌市内にお住まいの 0 歳から 5 歳のお子さんの中から 15,000 人を無作為に選びお送りしています。

●調査票へのご回答は統計的に処理するため、個人が特定される形で公表されることはありません。

●本調査の集計・分析業務は、株式会社ノーザンクロスに委託しております。

＜お問合せ先＞

札幌市子ども未来局子ども企画課（担当：中村、山形）

電話：011-211-2982（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 9:00～17:00）

＜発送者・調査業務受注者＞

株式会社ノーザンクロス（担当：井上、島崎）

電話：011-232-3661（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 9:00～18:00）

E-mail：hoiku@northerncross.co.jp

この調査票は両面印刷です。次のページ（裏面）から設問が始まります。

A．封筒の宛名の方（お子さん）とご家族の状況についてうかがいます。

問１　お住まいの区はどちらですか。（○は１つだけ）

１．中央区　２．北区　３．東区　４．白石区　５．厚別区　６．豊平区　７．清田区
８．南区　９．西区　10．手稲区　11．札幌市外（　　市・町・村）

問２　宛名の方（お子さん）の生年月をご記入ください。

平成□□年□□月生まれ

問３　宛名の方（お子さん）を含めて、お子さんは何人いますか。

お子さんの人数□人

問４　宛名の方（お子さん）の世帯は次のうちのどれに当たりますか。（○は１つだけ）

１．お子さん＋ご両親（二世代世帯）
２．お子さん＋ご両親＋祖父母（三世代世帯）
３．お子さん＋母親（ひとり親・二世代世帯）
４．お子さん＋父親（ひとり親・二世代世帯）
５．お子さん＋母親＋祖父母（ひとり親・三世代世帯）
６．お子さん＋父親＋祖父母（ひとり親・三世代世帯）
７．お子さん＋祖父母
８．その他（　　）

問５　宛名の方（お子さん）の身の回りのお世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は１つだけ）

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

問６　世帯の年収（税込）についてお答えください。（○は１つだけ）

１．200 万円未満　２．200～300 万円未満　３．300～400 万円未満
４．400～500 万円未満　５．500～700 万円未満　６．700～1,000 万円未満
７．1,000 万円以上　８．わからない・答えたくない

問７　平日、お子さんが起きている間に、お子さんと一緒に過ごす時間は何時間くらいですか。

【母親】おおよそ□時間　【父親】おおよそ□時間

問８　あなたが欲しいと思っているお子さんの人数は何人ですか。（それぞれ○は１つだけ）

（１）理想的なお子さんの人数。（制約が何もない場合に欲しい人数）

１．１人　　２．２人　　３．３人　　４．４人　　５．５人以上 ６．子どもを欲しいとは思わなかった

（２）実際に予定しているお子さんの人数。

１．１人　　２．２人　　３．３人　　４．４人　　５．５人以上

問９　問８で理想的なお子さんの人数よりも実際に予定しているお子さんの人数が少ない方、または（１）で「６．子どもを欲しいとは思わなかった」と回答した方にうかがいます。

（１）予定のお子さんの人数が少ない、または、子どもが欲しいと思わなかった理由は何ですか。（○は３つまで）

１．子どもの世話が大変だから	２．家族からの十分な理解・協力が得られないから
３．高齢出産になるから	４．健康・体力に自信がないから
５．時間的なゆとりがなくなるから	６．経済的な負担が増えるから
７．住まいが狭いから	８．仕事と子育ての両立が大変だから
９．子どもの将来の環境に不安を感じるから	
10．その他（　　）	
11．特に理由はない　**⇒問 10 へ**	

（２）（１）で選択した中で最も大きな理由をお答えください。

最も大きな理由 □

B．子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 10　日頃、宛名の方（お子さん）をみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

１．日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
５．子どもをみてもらえる人はいない

問 11　宛名の方（お子さん）の子育てをする上で、気軽に相談できる先（人や機関・場所）はどちらですか。（○はいくつでも）

１．配偶者	２．子どもの祖父母などの親族
３．友人や知人	４．近所の人
５．子育て支援施設（児童会館等）や NPO 法人	６．保健所・保健センター
７．保育所などの保育士	８．幼稚園の教諭
９．民生委員・児童委員	10．かかりつけの医師
11．行政の子育て関連担当窓口	
12．その他（　　）	
13．気軽に相談できる先はない	

問 12　子育てや子育て支援に関する情報をどこから入手していますか。（○はいくつでも）

1．テレビ・ラジオ　　2．新聞
3．雑誌・情報誌　　4．書籍（雑誌以外）
5．家族・友人・知人
6．札幌市発行の情報誌（「さっぽろ子育てガイド」など）、パンフレット、チラシ
7．行政による子育て相談（窓口・こそだてインフォメーション・電話など）
8．札幌市の広報誌「広報さっぽろ」
9．地域で行われている子育てサロンや育児サークル
10．さっぽろ子育て情報サイトなどの札幌市のホームページ
11．さっぽろ子育てアプリ
12．札幌市以外のホームページ・インターネット⇒ 具体的に（　　）
13．その他（　　）
14．特にない

問 13　子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じることが多いですか。（○は 1 つだけ）

1．楽しさの方が多い
2．どちらかといえば楽しさの方が多い
3．楽しさと大変さが同じくらい
4．どちらかといえば大変さの方が多い
5．大変さの方が多い

問 14　子育てをしてよかったこと、うれしかったことは何ですか。（○はいくつでも）

1．子どもを持つ喜びができたこと
2．子どもの成長
3．子育てを通じて自分も成長できたこと
4．配偶者との関係がよくなったこと
5．家族間の会話が増えたこと
6．家庭が明るくなったこと
7．子どもと一緒にスポーツやレクリエーションなどを楽しむ機会が増えたこと
8．子育てを通じて新たな趣味ができたこと
9．子育てを通じて友人が増えたこと
10．子育てを通じて地域とのつながりができたこと
11．自分の親への感謝の念が生まれたこと
12．その他（　　）
13．特にない

問 15　子育てをしていて感じる悩みはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1．子どもの病気や発育・発達に関すること
2．子どもの食事や栄養に関すること
3．子どもと過ごす時間を十分にとれないこと
4．子どもの教育に関すること
5．子どもの友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること
6．子育ての方法がよくわからないこと
7．子どもを叱りすぎている気がすること
8．子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
9．子育てによる身体的・精神的な疲れが大きいこと
10．自分の自由な時間がもてないこと
11．仕事と子育ての両立が大変なこと
12．子育ての経済的負担が大きいこと
13．話し相手や相談相手がいないこと
14．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
15．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
16．社会との関わりが少ないこと
17．親同士のつきあいに関すること
18．子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
19．その他（　　）
20．特にない

問 16　問 15 で「１」～「19」（悩みがある）に○をつけた方にうかがいます。悩みを軽減するには、どのようなサポートがあればよいと思いますか。（○はいくつでも）

1．配偶者の協力
2．子どもの祖父母や親せきの協力
3．配偶者や親族以外の協力
4．各区保育・子育て支援センター（ちあふる）や保健センターなどで悩みを気軽に相談できる場
5．親子で行ける子育てサロンなど地域や親同士でつながることができる場
6．メールや SNS などでできる気軽な悩みの相談
7．その他（　　）
8．特にない

C．宛名の方（お子さん）の保護者の方の就労状況についてうかがいます。

問 17　**母親**の就労状況をうかがいます。父子家庭の場合は**問 18 へ**お進みください。

（１）母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のうちどれですか。（○は１つだけ）

※フルタイム　　：１週５日程度でかつ１日８時間程度の就労。

※パート・アルバイトなど　：「フルタイム」以外の就労。

１．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３．パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４．パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５．以前は就労していたが、現在は就労していない
６．これまで就労したことがない
⇒**問 17（６）へ**

（２）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。母親の 1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たり □ 日　１日当たり □□ 時間

（３）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（時間を 24 時間制で記入〔例：0 9時、1 8時〕）

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 □□ 時　　帰宅時刻 □□ 時

（４）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。日曜日・祝日の就労状況をお答えください。（２に○をつけた場合は日曜日・祝日の月平均勤務日数も記入〔例：2日〕）

１．日曜日または祝日が固定勤務
２．日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務
　⇒日曜日・祝日の月平均勤務日数 □ 日
３．日曜日・祝日は勤務していない

（５）（１）で「3」または「4」（パート・アルバイトなどで就労している）に○をつけた方にうかがいます。　母親は、フルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つだけ）

１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（６）（１）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 母親の就労希望の有無等をお答えください。（○は1つだけ）

１．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい ２．１年より先に就労したい ３．子育てや家事などに専念したい（就労の希望はない） **⇒問 18 へ**

（７）（６）で「２． １年より先に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。 母親はおおよそ何年後に就労したいと考えていますか。また、それは一番下のお子さんが何歳になったころですか。

□□年後に就労を希望（それは一番下の子どもが□□歳になったころ）

（８）（６）で「1」～「2」（就労したい）に○をつけた方にうかがいます。 母親が就労する際に希望する就労形態をお答えください。（○はひとつだけ）

１．フルタイム ２．パート、アルバイトなど ⇒（１週当たり□日 １日当たり□□時間）

問 18 **父親**の就労状況をうかがいます。母子家庭の場合は**問 19 へ**お進みください。

（１）父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のうちどれですか。（○は１つだけ）

１．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない ２．フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である ３．パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイトなどで就労しているが、育休・介護休業中である ５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない **⇒問 18（６）へ**

（２）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 父親の 1 週当たりの就労日数と１日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たり□日 １日当たり□□時間

（３）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（時間を 24 時間制で記入〔例：0 9時、1 8時〕）

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻□□時 帰宅時刻□□時

（４）（１）で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。日曜日・祝日の就労状況をお答えください。（２に○をつけた場合は日曜日・祝日の月平均勤務日数も記入〔例：2日〕）

１．日曜日または祝日が固定勤務
２．日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務
⇒日曜日・祝日の月平均勤務日数 □□ 日
３．日曜日・祝日は勤務していない

（５）（１）で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。　父親は、フルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つだけ）

１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
４．パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

（６）（１）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。　父親の就労希望の有無等をお答えください。（○は１つだけ）

１．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
２．１年より先に就労したい
３．子育てや家事などに専念したい（就労の希望はない）　**⇒問 19 へ**

（７）（６）で「２．１ 年より先に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。　父親はおおよそ何年後に就労したいと考えていますか。また、それは一番下のお子さんが何歳になったころですか。

□□ 年後に就労を希望（それは一番下の子どもが □□ 歳になったころ）

（８）（６）で「1」または「2」（就労したい）に○をつけた方にうかがいます。　父親が就労する際に希望する就労形態をお答えください。（○はひとつだけ）

１．フルタイム
２．パート、アルバイト等　⇒（１週当たり □ 日　１日当たり □□ 時間）

D．宛名の方（お子さん）の平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・ご意向についてうかがいます。

問 19　宛名の方（お子さん）は現在、幼稚園や保育所などの「平日の定期的な教育・保育の事業」（具体的には問 19-1 で示した事業が含まれます）を利用されていますか。（○は 1 つだけ）

1．利用している
2．利用していない **⇒問 19-5 へ**

問 19-1　問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。　次のどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はいくつでも）

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。【数字】は添付資料に掲載している事業の番号です。

1．幼稚園（通常の就園時間の利用）【1】
2．幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）【2】
3．認可保育所・公立保育所【3】
4．認定こども園【4】
5．家庭的保育事業（保育ママ）【5】
6．小規模保育事業【6】
7．事業所内保育事業（認可／認可外）【7】
8．認可外保育施設【8】
9．企業主導型保育事業【9】
10．居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）【10】
11．さっぽろ子育てサポートセンター【11】
12．その他（　　）

問 19-2　問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。　平日の定期的な利用の現状と、ご希望についてお答えください。ご回答は 1 週当たりの日数と、毎日の利用時間をご記入ください。（時間は 24 時間制で記入〔例：0 9時～1 8時〕）

（1）現状

1 週当たり □日　利用時間は □□時～□□時

（2）希望　※現在、希望どおり利用できている場合でも、必ずお答えください。

1 週当たり □日　利用時間は □□時～□□時

問 19-3　問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお答えください。（○はいくつでも）

1．中央区　2．北区　3．東区　4．白石区　5．厚別区　6．豊平区　7．清田区
8．南区　9．西区　10．手稲区　11．他の市町村（市町村名：　　）

問 19-4　問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。　平日の定期的な「教育・保育事業」を利用されている理由をお答えください。（○はいくつでも）

1．子どもの教育や発達のため
2．子育てをしている方が現在就労しているため
3．子育てをしている方が就労予定である／求職中であるため
4．子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため
5．子育てをしている方が病気や障がいがあるため
6．子育てをしている方が学生であるため
7．その他（　　）

問 19-5　問 19 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。　利用していない理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親せきの人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 教育・保育の事業に空きがない
5. 経済的な理由で事業を利用できない
6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもに医療的ケアが必要なため
9. まだ家庭での子育てを大切にしたいから
　⇒（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）
10. その他（　　）
11. 特にない

問 20　すべての方にうかがいます。　現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名の方（お子さん）の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。【数字】は添付資料に掲載している事業の番号です。

1．幼稚園（通常の就園時間の利用）【1】
2．幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）【2】
3．認可保育所・公立保育所【3】
4．認定こども園【4】
5．家庭的保育事業（保育ママ）【5】
6．小規模保育事業【6】
7．事業所内保育事業（認可／認可外）【7】
8．認可外保育施設【8】
9．企業主導型保育事業【9】
10．居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）【10】
11．さっぽろ子育てサポートセンター【11】
12．その他（　　）
13．特に定期的に利用したい事業はない　**⇒問 20-3 へ**

問 20-1　問 20 で「1」～「12」（利用したい事業がある）に○をつけた方にうかがいます。　教育・保育事業を最も利用したい場所はどこですか。（○は 1 つだけ）

1．中央区　2．北区　3．東区　4．白石区　5．厚別区　6．豊平区　7．清田区 8．南区　9．西区　10．手稲区　11．他の市町村（市町村名：　　）

問 20-2　問 20 で「1」又は「2」に○をつけ、かつ、「3」～「12」にも○をつけた方にうかがいます。　特に幼稚園（幼稚園の一時預かりをあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は 1 つだけ）

1．はい　2．いいえ

問 20-3　すべての方にうかがいます。　幼稚園の一時預かりについて、どのような条件が整えば（より）利用したいと思いますか。（○はいくつでも。時間は 24 時間制で記入〔例：1 8時〕）

1．利用開始及び終了時間　⇒　希望する利用開始時間　□□時 希望する利用終了時間　□□時
2．土曜日の開園
3．長期休暇中の開園　⇒　長期期間中の休園日　日・祝日除く□□日以内
4．完全給食
5．利用料
6．その他（　　）
7．どのような条件でも利用するつもりはない

問 21　すべての方にうかがいます。　3 歳以上の幼児教育・保育が 2019 年 10 月から無償化される予定です。そうなった場合に、現在利用している、利用していないにかかわらず、宛名の方（お子さん）への平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。【数字】は添付資料に掲載している事業の番号です。

1．幼稚園（通常の就園時間の利用）【1】
2．幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）【2】
3．認可保育所・公立保育所【3】
4．認定こども園【4】
5．家庭的保育事業（保育ママ）【5】
6．小規模保育事業【6】
7．事業所内保育事業（認可／認可外）【7】
8．認可外保育施設【8】
9．企業主導型保育事業【9】
10．居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）【10】
11．さっぽろ子育てサポートセンター【11】
12．その他（　　）
13．特に定期的に利用したい事業はない

E．宛名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な「教育・保育事業」の利用希望についてうかがいます。

問 22　宛名の方（お子さん）について、土曜日、日曜日・祝日に、定期的な「教育・保育事業」の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。利用希望と利用したい時間帯をお答えください。
（○は 1 つだけ。時間は 24 時間制で記入〔例：0 9時～1 8時〕）
※事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

（1）土曜日

1．特に利用希望はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に 1～2 回は利用したい
⇒利用したい時間帯 □□時～□□時

（2）日曜日・祝日

1．特に利用希望はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に 1～2 回は利用したい
⇒利用したい時間帯 □□時～□□時

問 23　宛名の方（お子さん）が「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。　夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の「教育・保育事業」の利用を希望しますか。利用希望と利用したい時間帯をお答えください。（○は 1 つだけ。時間は 24 時間制で記入〔例：0 9時～1 8時〕）
※事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

1．特に利用希望はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい
⇒利用したい時間帯 □□時～□□時

F.「教育・保育事業」の利用にあたって重視することについてうかがいます。

問 24　「教育・保育事業」を利用するにあたり、どのようなことを重視しますか。（○はいくつでも）

1．自宅から近いこと
2．勤務先に近いこと
3．公共交通機関（地下鉄・JR 等）に近いこと
4．自宅から勤務先までの通勤経路上にあること
5．進学する小学校と同一小学校区にあること
6．兄弟姉妹が通っていること
7．保育士・幼稚園教諭等の印象が良いこと
8．保育・教育方針等に共感できること
9．在園児の雰囲気が良いこと
10．地域の評判が良いこと
11．保育時間が長いこと（延長保育等を行っていること）
12．乳児（満１歳未満）の保育を行っていること
13．園の設備が充実していること
14．勤務先が設置していること（事業所内保育事業、企業主導型保育事業）
15．その他（　　）
16．特に重視することはない・わからない

問 24-1　問 24 で「１．自宅から近いこと」に○をつけた方にうかがいます。　保育所などの「教育・保育事業」の利用先まで、自宅から最大限どの程度の距離までなら利用できるとお考えですか。（○は１つだけ）

1．自宅から１00m 以内（徒歩で１～２分）
2．自宅から 500m 以内（徒歩で 6～7 分）
3．自宅から 1km 以内（徒歩で 15 分弱）
4．自宅から 2km 以内（徒歩で約 30 分、車で 5～10 分弱）
5．自宅から２km 超でも良い（約　　km までなら可）
6．わからない

G．宛名の方（お子さん）の病気の際の対応についてうかがいます。（平日の「教育・保育事業」を利用する方のみ）

問 25　平日の定期的な「教育・保育事業」を利用していると答えた保護者の方（問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。定期的な「教育・保育事業」を利用していない方は、**問 26** にお進みください。　この 1 年間に、宛名の方（お子さん）が病気やケガで通常の「教育・保育事業」が利用できなかったことはありましたか。（○は 1 つだけ）

1．あった　**⇒問 25-1 へ**
2．なかった　**⇒問 26 へ**

問 25-1　問 25 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。　この 1 年間でお子さんが病気やけがで普段利用している「教育・保育事業」が利用できなかった場合に、どのように対応されたかをお答えください（○はいくつでも）。また、それぞれについて、おおよその日数もお答えください。

※半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。【数字】は添付資料に掲載している事業の番号です。

1．父親が休んだ	⇒1年間で	□□	日程度
2．母親が休んだ	⇒1年間で	□□	日程度
3．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	⇒1年間で	□□	日程度
4．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	⇒1年間で	□□	日程度
5．さっぽろ子育てサポートセンター【11】を利用した	⇒1年間で	□□	日程度
6．札幌市こども緊急サポートネットワーク【12】を利用した	⇒1年間で	□□	日程度
7．病後児保育事業（病後児デイサービス）【13】を利用した	⇒1年間で	□□	日程度
8．認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）を利用した	⇒1年間で	□□	日程度
9．ベビーシッターを利用した	⇒1年間で	□□	日程度
10．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	⇒1年間で	□□	日程度
11．その他（　　）	⇒1年間で	□□	日程度

⇒問 26 へ

問 25-2　問 25-1 で「1」または「2」（父親・母親が休んだ）に○をつけた方にうかがいます。　行政サービスとして「病児・病後児のための預かりサービス」があります（問 25-1 の「5」～「7」）。お子さんが病気やけがをした際に、これらのサービスを利用したいと思われますか。また、利用したいとは思わない場合は、その理由をお答えください。（○はいくつでも）

※病児・病後児のための事業等の利用には、事前登録が必要で、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

１．行政の預かりサービスを利用したい

行政の預かりサービスを利用したいとは思わない

２．親が仕事を休んで対応するから
３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらうから
４．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから
５．保育の質に不安があるから
６．保育事業の利便性が悪いから（立地、利用可能時間など）
７．利用料がかかる・高いから
８．利用料がわからないから
９．その他（　　）

問 25-3　問 25-2 で「1. 行政の預かりサービスを利用したい」に○をつけた方にうかがいます。　病気やけがで子どもを預ける場合、いずれの保育形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

１．小児科に併設した施設で子どもを保育
２．近所の地域住民が保育（さっぽろ子育てサポートセンター、こども緊急サポートネットワーク等）
３．幼稚園や保育所内、または併設した施設で子どもを保育
４．その他（　　）
５．特に希望はない

H．宛名の方（お子さん）の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 26　宛名の方（お子さん）について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか（○はいくつでも）。また、1年間のおおよその利用日数をお答えください。

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。【数字】は添付資料に掲載している事業の番号です。

1．さっぽろ子育てサポートセンター【11】	⇒1年間で□□日程度
2．札幌市こども緊急サポートネットワーク【12】	⇒1年間で□□日程度
3．子育て短期支援事業（ショートステイ）【14】	⇒1年間で□□日程度
4．保育所などでの一時預かり事業【15】	⇒1年間で□□日程度
5．幼稚園の一時預かり（※不定期に利用する場合のみ）	⇒1年間で□□日程度
6．ベビーシッター	⇒1年間で□□日程度
7．その他（　　）	⇒1年間で□□日程度
8．利用していない　**⇒問 26-1 へ**	

問 26-1　問 26 で「8. 利用していない」に○をした方にうかがいます。　現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．利用したい事業が近くにないから
2．保育の質に不安があるから
3．保育事業の利便性が悪いから（立地、利用可能時間など）
4．利用料がかかる・高いから
5．利用料がわからないから
6．利用方法がわからないから
7．子どもに医療的ケアが必要だから
8．これらの事業があることを知らなかったから
9．その他（　　）
10．特に利用する必要がなかったから

問 27　宛名の方（お子さん）について、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 26 で挙げた事業を利用したいと思いますか。利用したい場合は、どのような場合に利用したいかをお答えください（○はいくつでも）。また、年間で何日くらい事業を利用したいですか。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要な場合があります。

利用したい

1．私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的	⇒1年間で□□日程度
2．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院、出産、介護　等	⇒1年間で□□日程度
3．不定期の就労	⇒1年間で□□日程度
4．その他（　　）	⇒1年間で□□日程度
5．利用する必要はない	

問 27-1　問 27 で「1」～「4」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。　問 27 の目的でお子さんを預ける場合、いずれの保育形態を利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

1．大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所など）
2．小規模施設で子どもを保育する事業（子育てサロンのような身近な場所など）
3．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（さっぽろ子育てサポートセンターなど）
4．その他（　　）

問 28　宛名の方（お子さん）について、この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけでお子さんの両親以外の方にみてもらわなければならないことや、その際に預け先が見つからなかったことはありましたか。あった場合は、どのように対応されたかをお答えください（○はいくつでも）。また、1 年間のおおよその泊数をお答えください。

あった

1．札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した　⇒1 年間で□□泊程度
2．子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）　⇒1 年間で□□泊程度
3．2 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した　⇒1 年間で□□泊程度
4．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった　⇒1 年間で□□泊程度
5．仕方なく子どもを同行させた　⇒1 年間で□□泊程度
6．仕方なく子どもだけで留守番をさせた　⇒1 年間で□□泊程度
7．その他（　　）　⇒1 年間で□□泊程度

8．なかった

問 28-1　問 28 で「4」「5」「6」「7」に○をつけた方にうかがいます。　今後同様の用事があった場合、できれば「1」「2」「3」の事業を利用したいと思われますか。（○は 1 つだけ）

1．利用したい　　2．利用したいと思わない

Ⅰ．宛名の方（お子さん）の地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 29　宛名の方（お子さん）は、現在、子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場である子育てサロンを利用していますか（○はいくつでも）。また、それぞれのおおよその利用回数（頻度）をお答えください。

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

『常設子育てサロン【添付資料の 17】』
札幌市、児童会館、NPO 法人等が週３回以上開催している子育てサロンをいいます。

『その他の子育てサロン』
地域の方が定期的に実施している地域主体の子育てサロン、常設子育てサロン以外の児童会館での子育てサロン、保育園や幼稚園等の施設において実施されている同様の取組のことをいいます。

1．常設子育てサロン　⇒1 ヶ月当たり □□ 回（日）程度
2．その他の子育てサロン　⇒1 ヶ月当たり □□ 回（日）程度
3．利用していない

問 29-1　常設子育てサロンの今後の利用希望についてお答えください（○は 1 つだけ）。また、おおよその希望する利用回数（頻度）をお答えください。

1．今後（も）利用したい　⇒1 ヶ月当たり □□ 回（日）程度　**⇒問 30 へ**
2．利用したいと思わない・利用しない　**⇒問 29-2 へ**

問 29-2　問 29-1 で「2. 利用したいと思わない・利用しない」に○をつけた方にうかがいます。　そう思われる理由をお答えください。（○はいくつでも）

1．保育所や幼稚園などに定期的に通っていて利用する機会がないから
2．開催している日や時間帯が合わないから
3．家から遠く、利用しづらいから
4．どこでいつ行われているかわからないから
5．どんな事業内容かよくわからないから
6．常設子育てサロン以外の子育てサロンで十分だから
7．その他（　　）
8．特に利用する必要性を感じないから

J．宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方及び家庭における子育てについてうかがいます。

問 30～問 33 は宛名のお子さんが 5 歳以上の方のみお答えください。それ以外の方は問 34 へお進みください。

問 30　宛名の方（お子さん）について、小学校に上がった後、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所でどのくらい過ごさせたいと思いますか。（１）低学年（1～3 年生）、（２）高学年（4～6 年生）のそれぞれの期間についてお答えください（○はいくつでも）。また、過ごさせたい場所それぞれで希望する 1 週当たり日数を数字でお答えください。なお、「5」または「6」については、利用を希望する時間もお答えください。（時間は 24 時間制で記入〔例：1 8時〕）

『放課後児童クラブ』…学童保育と呼ばれていることもあります。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。札幌市では以下の３つの運営形態があります。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要です。

1．「児童クラブ」…①運営主体：札幌市（委託事業）　②場所：児童会館・ミニ児童会館　③休会日：日曜日・祝日・祝日の振替休日・年末年始（12/29～1/3）　④開設時間：下校時～19 時（学校休業日は８時開始）　⑤利用料：８時～８時 45 分または 18 時～19 時の利用は月額 2,000 円（８時 45 分～18 時の利用は無料）　⑥概要：学校から直接来館が可能、連絡帳による出欠確認、おやつはなし（持ち込み可）、退館方法は一人（集団）帰りまたはお迎え

2．「民間児童育成会」…①運営主体：地域や保護者等　②場所：民家等　③休会日：概ね児童クラブと同じ　④開設時間：児童クラブより長時間開設している育成会あり　⑤利用料：平均月額 15,000 円　⑥概要：家庭的な雰囲気の中、おやつの提供、学校や自宅間の送迎等、各育成会が特徴のある運営を行っている

3．「届出事業所」…①運営主体：学校法人等　②場所：テナント等　③休会日：概ね児童クラブと同じ　④開設時間：児童クラブより長時間開設している事業所あり　⑤利用料：各施設により異なる　⑥概要：幼稚園やゲストハウス等と併設し連携するなど、各事業所が特徴のある運営を行っている

（１）小学校低学年（1～3 年生）

1．自宅	⇒週に □ 日程度
2．祖父母宅や友人・知人宅	⇒週に □ 日程度
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒週に □ 日程度
4．児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用しない）	⇒週に □ 日程度
5．児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）	⇒週に □ 日程度 下校時から □□ 時まで
6．民間児童育成会又は届出事業所	⇒週に □ 日程度 下校時から □□ 時まで
7．さっぽろ子育てサポートセンター【添付資料 11】	⇒週に □ 日程度
8．その他（地区センター、図書館、公園など）	⇒週に □ 日程度
9．現時点ではわからない	

（２）小学校高学年（4～6 年生）

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

１．自宅	⇒週に □ 日程度
２．祖父母宅や友人・知人宅	⇒週に □ 日程度
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒週に □ 日程度
４．児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用しない）	⇒週に □ 日程度
５．児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）	⇒週に □ 日程度 下校時から □ 時まで
６．民間児童育成会又は届出事業所	⇒週に □ 日程度 下校時から □ 時まで
７．さっぽろ子育てサポートセンター【添付資料の 11】	⇒週に □ 日程度
８．その他（地区センター、図書館、公園など）	⇒週に □ 日程度
９．現時点ではわからない	

問 30-1　問 30（１）または（２）で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。　宛名の方（お子さん）について、（１）土曜日と（２）日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をそれぞれお答えください（○は１つだけ）。また、利用したい時間帯をお答えください。（時間は 24 時間制で記入〔例：0 9時～1 8時〕）

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要です。

（１）土曜日

１．低学年（1～3 年生）の間は利用したい ２．高学年（4～6 年生）になっても利用したい ３．利用する予定はない	⇒利用したい頻度と時間帯： １．ほぼ毎週　２．月２回程度まで □□時～□□時

（２）日曜日・祝日

１．低学年（1～3 年生）の間は利用したい ２．高学年（4～6 年生）になっても利用したい ３．利用する予定はない	⇒利用したい頻度と時間帯： １．ほぼ毎週　２．月２回程度まで □□時～□□時

問 31　宛名の方（お子さん）について、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯をお答えください。（時間は 24 時間制で記入〔例：0 9時～1 8時〕）

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要です。

１．低学年（1～3 年生）の間は利用したい ２．高学年（4～6 年生）になっても利用したい ３．利用する予定はない	⇒利用したい時間帯： □□時～□□時

問 32　お子さんへの家庭における子育ての中で、特に力を入れていることは何ですか。また、悩みがあることは何ですか。それぞれ当てはまるものについてお答えください。（○はいくつでも）

力を入れているもの	悩みがあるもの	内容
1	1	あいさつや返事、言葉づかい
2	2	約束やルールを守ること
3	3	相手を思いやる気持ち
4	4	善悪の判断
5	5	公共の場や集団の中でのマナー
6	6	早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど
7	7	子どもの自主性の尊重
8	8	友達との関わり方
9	9	スポーツ（サッカー、スイミング等）や体を使う遊び、外遊び
10	10	芸術（ピアノ、習字、絵画）などの習い事
11	11	学習や本を読むこと
12	12	その他（　　）
13	13	特にない

問 33　お子様への家庭での育て方についてご自分ではどのように思っていますか。最も近いものを選んでください。（○は 1 つだけ）

1．必要なことは、きちんと教え、育てることができている
2．足りない部分もあるが、教え、育てることができていることが多い
3．教え、育てることができていることもあるが、足りないことが多い
4．ほとんどのことが、教え、育てることができていない

K．すべての方に、妊娠・出産・育児に関すること、及び育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 34　宛名の方（お子さん）の１ヶ月健診（産後健診）を受診しましたか。（○は１つだけ）

１．産後２週間頃受診した
２．産後１か月頃受診した
３．受診はしていないが、出産した医療機関からの訪問があった
４．受診しなかった

問 34-1　問 34 で「4」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。（○はいくつでも）

１．里帰りしていたため
２．家事や育児で忙しかったため
３．料金が高かったため
４．施設が遠かったため
５．待ち時間が長かったため
６．順調だと自信があったため
７．上のお子さんを連れて行くのが大変だったため
８．医療機関から何も言われなかったため
９．その他（　　）

問 35　妊娠中から２歳児までの間に特に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。各時期についてお答えください。（それぞれ○は 3 つまで）

妊娠中	出産直後（分娩後）から４ヶ月まで	５ヶ月から２歳児	内容
1	1	1	電話やメールなどでの気軽な相談
2	2	2	専門職による家庭訪問
3	3	3	助産所等で受ける母子のケア（日帰り）
4	4	4	助産所等で受ける母子のケア（宿泊）
5	5	5	赤ちゃんの沐浴などの育児ヘルパー
6	6	6	家事などのヘルパー
7	7	7	SNS 等による子育てなどに関する情報提供
8	8	8	子育て経験者や年配者との世代間交流
9	9	9	子どもを連れて遊びに行ける場の提供
10	10	10	母親同士の交流の場の提供
11	11	11	父親向けの育児教室
12	12	12	育児方法を習得する機会
13	13	13	その他（　　）
14	14	14	特にない

問 36　宛名の方（お子さん）が生まれた時、母親、父親はそれぞれ育児休業を取得しましたか。（それぞれ○は 1 つだけ）

母親	父親
1．働いていなかった	1．働いていなかった
2．取得した	2．取得した
3．現在、取得中である	3．現在、取得中である
4．取得していない	4．取得していない

問 36-1　問 36 で「4. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。　取得していない理由をお答えください。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親	取得していない理由
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため
2	2	仕事が忙しかったため
3	3	（産休後に）仕事に早く復帰したかったため
4	4	仕事に戻るのが難しそうだったため
5	5	昇給・昇格などに影響がありそうだったため
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなるため
7	7	保育所（園）などに預けることができたため
8	8	配偶者が育児休業制度を利用したため
9	9	配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため
10	10	子育てや家事に専念するため退職したため
11	11	職場に育児休業の制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため
13	13	育児休業を取得できることを知らなかったため
14	14	その他（　　）

問 36-2　問 36 で「2. 取得した」に○をつけた方にうかがいます。　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ○は 1 つだけ）

母親	父親
1．育児休業取得後、職場に復帰した	1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．育児休業中に離職した	2．育児休業中に離職した
3．育児休業取得後に離職した	3．育児休業取得後に離職した

問 36-3　問 36-2 で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。　育児休業から「実際に」職場復帰したのは宛名の方（お子さん）が何歳何ヶ月のときでしたか。また、ご希望としては何歳何ヶ月まで育児休業を取得したかったですか。

母親	父親
実際の職場復帰： お子さんが□歳□□ヶ月のころ 希望： お子さんが□歳□□ヶ月のころ	実際の職場復帰： お子さんが□歳□□ヶ月のころ 希望： お子さんが□歳□□ヶ月のころ

問 36-4　問 36-3 で実際の職場復帰が希望より早かった方にうかがいます。　希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親
１．勤め先の制度や指示のため仕方なく ２．希望する保育所（園）に入るため ３．配偶者や家族の希望があったため ４．経済的な理由で早く復帰する必要があったため ５．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため ６．その他（　　）	１．勤め先の制度や指示のため仕方なく ２．希望する保育所（園）に入るため ３．配偶者や家族の希望があったため ４．経済的な理由で早く復帰する必要があったため ５．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため ６．その他（　　）

問 36-5　問 36-3 で実際の職場復帰が希望より遅かった方にうかがいます。　希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親
１．勤め先の制度や指示のため仕方なく ２．希望する保育所（園）に入れなかったため ３．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため ４．配偶者や家族の希望があったため ５．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため ６．子どもをみてくれる人がいなかったため ７．その他（　　）	１．勤め先の制度や指示のため仕方なく ２．希望する保育所（園）に入れなかったため ３．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため ４．配偶者や家族の希望があったため ５．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため ６．子どもをみてくれる人がいなかったため ７．その他（　　）

問 36-6　問 36-2 で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ○は１つだけ）

母親	父親
１．短時間勤務制度を利用した ２．短時間勤務制度を利用しなかった	１．短時間勤務制度を利用した ２．短時間勤務制度を利用しなかった

問 36-7　問 36-6 で「２．短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。　短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親	利用していない理由
1	1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため
2	2	仕事が忙しかったため
3	3	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため
4	4	短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がるため
5	5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため
6	6	配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため
7	7	子育てや家事に専念するため退職したため
8	8	職場に短時間勤務制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）
9	9	短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため
10	10	その他（　　）

Ｌ．子育て支援施策に関するご意見やご要望についてうかがいます。

問 37　札幌市の子育て支援策について、（１）既にある程度充実しているとお考えのもの、（２）今後より充実してほしいとお考えのものをお答えください。（それぞれ○はいくつでも）

（１）ある程度充実しているとお考えの子育て支援策

１．文化、スポーツや就業体験など様々な子どもの体験機会の場を増やす取組み
２．子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備
３．子育て支援に係る行政サービス等の積極的な情報提供
４．子育てに困ったときの相談ができる場の整備
５．認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減
６．子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度
７．公営住宅における多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮
８．残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ
９．地域住民同士のつながりを強めるイベントや親子が安心して集まれる身近な場がある
10．子育てに関する学習会や講習会などの開催
11．子育ての方法に関する冊子などの情報提供
12．子育ての方法に関するホームページやアプリなどの情報提供
13．ひとり親家庭や障がいのある子どもがいる家庭への支援
14．いじめや虐待から子どもを守る取り組み
15．その他（　　）
16．特にない

（２）今後充実してほしいとお考えの子育て支援策

１．文化、スポーツや就業体験など様々な子どもの体験機会の場を増やす取組み
２．子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備
３．子育て支援に係る行政サービス等の積極的な情報提供
４．子育てに困ったときの相談ができる場の整備
５．認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減
６．子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度
７．公営住宅における多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮
８．残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ
９．地域住民同士のつながりを強めるイベントや親子が安心して集まれる身近な場がある
10．子育てに関する学習会や講習会などの開催
11．子育ての方法に関する冊子などの情報提供
12．子育ての方法に関するホームページやアプリなどの情報提供
13．ひとり親家庭や障がいのある子どもがいる家庭への支援
14．いじめや虐待から子どもを守る取り組み
15．その他（　　）
16．特にない

問 38　札幌市の子育て支援の取組について、何かご意見があれば自由にご記入ください。

M. グループヒアリングへのご参加のお願いです。

札幌市では、今回のアンケート調査結果を踏まえ、子育て中の世帯の方のご意見を直接お聞きするためグループヒアリング（意見交換）を行います。下記をお読みの上、ご参加について検討ください。

なお、参加者として選定させていただいた方には、1月に本調査業務の受託者である（株）ノーザンクロスより連絡させていただきます。選定されなかった方には連絡は差し上げません。ご了承ください。

■日時：平成31年2月9日（土）、10日（日）、16日（土）14:00～17:00
※いずれか1日のご参加

■会場：かでる2.7（中央区北2条西7丁目）
10階1050会議室（2月9日）、5階510会議室（2月10日、16日）

■謝礼：クオカード3,000円分

■ご参加条件：

・封筒の宛名のお子さんの保護者で、該当する設問すべてにご回答いただけた方。
・現在、札幌市在住の方。
・札幌市職員ではない方。
・上記ヒアリング時間の最初から最後まで出席いただける方。
・グループヒアリングの模様（写真等）や、そこでのご回答・ご意見の内容は札幌市のホームページ等で公開する予定です。それらの情報を公開することをご承諾いただける方。

■その他：託児あり、有料地下駐車場あり

グループヒアリングへのご参加を希望されますか。

1．上記「ご参加条件」に承諾した上で、希望する　**⇒下記欄にご記入ください**
2．希望しない　**⇒下記欄へのご記入は不要です**

保護者のお名前	
参加可能日	1．2月9日（土）　2．2月10日（日）　3．2月16日（土） ※ご参加可能日に○
ご住所	〒　　－
連絡先電話番号	－　　－ ※日中に連絡可能な番号をお書きください。
連絡先 メールアドレス	＠ ※お持ちでない方は無記入で結構です。 ※メールアドレスはパソコンからの送信メールを受信可能なアドレスをご記入ください。
同居のお子さんの 年齢・性別	□□歳（男・女）　□□歳（男・女）　□□歳（男・女） □□歳（男・女）　□□歳（男・女）　□□歳（男・女）
託児のご希望	1．あり　→　※上の欄で託児を希望されるお子さんに○ 2．なし

調査は以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。
調査票は同封の封筒に入れ平成31年1月4日（金）までにご投函ください。切手は不要です。

放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査 調査票
（児童会館・ミニ児童会館利用者向け）

平成 31 年１月

放課後児童クラブを御利用されている保護者の皆様へ

札幌市子ども未来局

放課後児童クラブに関するアンケート　回答のお願い

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は札幌市の子ども施策に対し御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成 27 年度から子ども・子育て支援新制度が開始しております。この制度では、子育て中の御家庭の現状やニーズを踏まえ、各自治体が「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされており、現在の計画が平成 31 年度までとなっておりますので、平成 32 年度に向けて新たな計画を策定する必要があります。

つきましては、計画検討において児童会館及びミニ児童会館の児童クラブを御利用されているお子様の保護者の皆様に対しまして、ご利用の実態・ご要望を把握するため、アンケートを実施することといたしましたので、大変お忙しいところ誠にお手数ではございますが、御協力くださいますようお願いいたします。

御回答いただいた調査票については、返信用封筒に入れて封をし、**平成３１年１月２１日（月）まで**に児童会館及びミニ児童会館に提出してください。また、このアンケートはウェブフォーム、E メールにて御回答いただくことも可能です。スマートフォン、PC から下の QR コードまたは
https://www.northerncross.co.jp/houkago/ または
https://goo.gl/EZx4xs にアクセスのうえ、上記期日までにご回答くださいますようお願いいたします。

なお、ウェブフォーム、E メールにて御回答いただいた方は、紙の調査票を提出いただく必要はありません。

【ご回答方法】

選択式の設問については当てはまる番号を○で囲んでください。（括弧）内、四角枠 内には具体的内容をご記入ください。

【問合せ先】

札幌市役所子ども未来局子ども育成部子ども企画課放課後児童係　齋藤・青木
〒060-0051　札幌市中央区南１条東１丁目大通バスセンタービル１号館３階
TEL：011-211-2989　FAX：011-211-2943

（児童会館・ミニ児童会館　御利用者様向け）

放課後児童クラブに関するアンケート

問１　お子様が御利用の施設と区に○をつけてください。

１．児童会館 **２．ミニ児童会館**	１．中央区　２．北区　３．東区　４．白石区　５．厚別区 ６．豊平区　７．清田区　８．南区　９．西区　10．手稲区

問２　お子様の学年に○をつけてください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、当てはまるものすべてに○をつけてください。

１．１年生　２．２年生　３．３年生　４．４年生　５．５年生　６．６年生

問３　父親の就労状況に○をつけてください。

※母子家庭の場合、御記入は不要です。

※就労日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

【就労形態】

１．正規職員　２．契約職員　３．パート・アルバイト職員　４．自営業

５．その他（　　）　６．非就労

【就労する曜日】

固定勤務：１．月曜　２．火曜　３．水曜　４．木曜　５．金曜　６．土曜　７．日･祝

変則勤務：８．シフト勤務　９．その他（　　）

【１日当たりの就労時間】

１．８時間以上　２．６時間以上８時間未満　３．４時間以上６時間未満

４．２時間以上４時間未満　５．２時間未満

問４　母親の就労状況に○をつけてください。

※父子家庭の場合、御記入は不要です。

※就労日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

【就労形態】

１．正規職員　２．契約職員　３．パート・アルバイト職員　４．自営業

５．その他（　　）　６．非就労

【就労する曜日】

固定勤務：１．月曜　２．火曜　３．水曜　４．木曜　５．金曜　６．土曜　７．日･祝

変則勤務：８．シフト勤務　９．その他（　　）

【１日当たりの就労時間】

１．８時間以上　２．６時間以上８時間未満　３．４時間以上６時間未満

４．２時間以上４時間未満　５．２時間未満

問５　世帯の年収に○をつけてください。

１．～200 万円未満　２．200～300 万円未満　３．300～400 万円未満　４．400～500 万円未満 ５．500～700 万円未満　　６．700～1,000 万円未満　　７．1,000 万円以上

問６　児童クラブの御利用日数に○をつけてください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、当てはまるものすべてに○をつけてください。

１．週６日　　２．週５日　　３．週２～４日　　４．週１日　　５．週１日未満

問７　放課後のお子さんの習い事の状況について、当てはまるものすべてに○をつけ、活動状況を御記入してください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、それぞれのお子さんの状況をお答えください

※３人以上のお子さんが利用している場合は、下からお二人の状況をお答えください。

		（1 人目）	（2 人目）
１．学習塾	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
２．スポーツクラブ	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
３．音楽教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
４．語学教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
５．書道教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
６．その他（　　）	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
７．習い事はしていない			

問８　あなたが児童クラブを御利用の理由について、主なもの３つまでに○をつけてください。

１．安全に放課後を過ごせる	２．交友範囲が広がる	３．子どもの成長発達に役立つ
４．豊富な活動内容や行事	５．外遊びができる	６．家がたまり場となるのが心配
７．信頼できる指導員がいる	８．行動を把握できる	９．習い事までの時間つなぎ
10．利用料が安価	11．子どもの希望	12．近くに民間のクラブがない
13．その他（　　）		

問９　あなたの児童クラブの全体的な満足度について、当てはまるものに○をつけてください。

１．大変満足している	２．ある程度満足している	３．少し不満である
４．不満である	５．どちらともいえない	

問 10　児童クラブは全学年の御利用が可能ですが、あなたが児童クラブを退会する場合の判断基準について、当てはまるもの１つに○をつけてください。

１．学年の進行	２．留守番の可否	３．子どもの意向	４．友人の動向
５．習い事の状況	６．６年生まで入会予定	７．その他（　　）	

問 11　あなたが児童クラブに今後望むことについて、主なもの３つまでに〇をつけてください。

１．読書活動の充実	２．学習に関する取組の充実	３．体力づくりの充実
４．野外活動の充実	５．スタッフ体制の充実	６．保護者との情報共有の強化
７．施設の拡充	８．開設時間の延長	９．日曜・祝日の開所
10．おやつの提供	11．その他（　　）	12．　現状で十分

問 12　児童クラブの開設時間とあなたの利用状況について、当てはまるものに〇をつけてください。

１．適当である　　２．適当ではない

【「２．適当ではない」に〇をつけた方にお伺いします】

何時を希望しますか　　平日　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

土曜日　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

長期休　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

問 13　現在、児童クラブの延長時間帯（平日 18 時～19 時。土曜日・長期休 8 時～8 時 45 分、18 時～19 時）について、月額 2,000 円でご利用できます。また、日曜日や祝日は休館としております。今後、現在よりも開設時間を延長したり開館日を増やすとした場合、あなたの御利用の意向について、当てはまるものに〇をつけてください。

１．現状のままで良い

２．月額（　　）円まで増額しても、開設時間を延長してほしい

３．月額（　　）円まで増額しても、休日も開所してほしい

問 14　現在、一部の校区内には民間の放課後児童クラブ（民間児童育成会・届出事業所）がありますが、あなたの御利用の意向について、当てはまるものに〇をつけてください。

※民間児童育成会は、一定の会費（平均月 15,000 円程度）がかかりますが、民家等において地域や父母等が主体となり、家庭的な雰囲気の中、おやつや食事の提供、学校や自宅間の送迎、長時間開設など、児童クラブとは異なるメニューで運営する放課後の居場所です。

また、届出事業所も一定の会費（施設によって異なる）がかかりますが、認定こども園等において学校法人等が主体となって運営する放課後の居場所です。

１．利用したい　　２．もう少し安価なら利用したい　３．児童クラブで満足している

【「２．もう少し安価なら利用したい」に〇をつけた方にお伺いします】

いくらぐらいを希望しますか　　⇒　　月額　（　　）　円程度

問 15　最後に、児童クラブや児童会館・ミニ児童会館全般について、御意見や御要望がございましたら、自由に御記入ください。

御協力ありがとうございました

放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査 調査票
（民間児童育成会・届出事業所向け）

平成 31 年 1 月

放課後児童クラブを御利用されている保護者の皆様へ

札幌市子ども未来局

放課後児童クラブに関するアンケート　回答のお願い

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は札幌市の子ども施策に対し御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成 27 年度から子ども・子育て支援新制度が開始しております。この制度では、子育て中の御家庭の現状やニーズを踏まえ、各自治体が「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされており、現在の計画が平成 31 年度までとなっておりますので、平成 32 年度に向けて新たな計画を策定する必要があります。

つきましては、計画検討において放課後児童クラブを御利用されているお子様の保護者の皆様に対しまして、ご利用の実態・ご要望を把握するため、アンケートを実施することといたしましたので、大変お忙しいところ誠にお手数ではございますが、御協力くださいますようお願いいたします。

御回答いただいた調査票については、返信用封筒に入れて封をし、**平成３１年１月２１日（月）まで**に投函してください。また、このアンケートはウェブフォーム、E メールにて御回答いただくことも可能です。スマートフォン、PC から下の QR コードまたは https://www.northerncross.co.jp/houkago/ または https://goo.gl/EZx4xs にアクセスのうえ、上記期日までに御回答くださいますようお願いいたします。

なお、ウェブフォーム、E メールにて御回答いただいた方は、紙の調査票を郵送いただく必要はありません。

【ご回答方法】

選択式の設問については当てはまる番号を○で囲んでください。（括弧）内、四角枠内には具体的内容をご記入ください。

【問合せ先】

札幌市役所子ども未来局子ども育成部子ども企画課放課後児童係　齋藤・青木
〒060-0051　札幌市中央区南１条東１丁目大通バスセンタービル１号館３階
TEL：011-211-2989　FAX：011-211-2943

（民間児童育成会・届出事業所　御利用者様向け）

放課後児童クラブに関するアンケート

問１　お子様が御利用している放課後児童クラブの区に○をつけてください。

１．中央区　　２．北区　　３．東区　　４．白石区　　５．厚別区 ６．豊平区　　７．清田区　　８．南区　　９．西区　　10．手稲区

問２　お子様の学年に○をつけてください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、当てはまるものすべてに○をつけてください。

１．１年生　　２．２年生　　３．３年生　　４．４年生　　５．５年生　　６．６年生

問３　父親の就労状況に○をつけてください。

※母子家庭の場合、御記入は不要です。

※就労日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

【就労形態】 １．正規職員　　２．契約職員　　３．パート・アルバイト職員　　４．自営業 ５．その他（　　）　６．非就労
【就労する曜日】 固定勤務：１．月曜　２．火曜　３．水曜　４．木曜　５．金曜　６．土曜　７．日･祝 変則勤務：８．シフト勤務　９．その他（　　）
【１日当たりの就労時間】 １．８時間以上　　２．６時間以上８時間未満　　３．４時間以上６時間未満 ４．２時間以上４時間未満　　５．２時間未満

問４　母親の就労状況に○をつけてください。

※父子家庭の場合、御記入は不要です。

※就労日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

【就労形態】 １．正規職員　　２．契約職員　　３．パート・アルバイト職員　　４．自営業 ５．その他（　　）　６．非就労
【就労する曜日】 固定勤務：１．月曜　２．火曜　３．水曜　４．木曜　５．金曜　６．土曜　７．日･祝 変則勤務：８．シフト勤務　９．その他（　　）
【１日当たりの就労時間】 １．８時間以上　　２．６時間以上８時間未満　　３．４時間以上６時間未満 ４．２時間以上４時間未満　　５．２時間未満

問５　世帯の年収に○をつけてください。

１．～200 万円未満　２．200～300 万円未満　３．300～400 万円未満　４．400～500 万円未満 ５．500～700 万円未満　　６．700～1,000 万円未満　　７．1,000 万円以上

問６　放課後児童クラブの御利用日数に○をつけてください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、当てはまるものすべてに○をつけてください。

１．週６日　　２．週５日　　３．週２～４日　　４．週１日　　５．週１日未満

問７　放課後のお子さんの習い事の状況について、当てはまるものすべてに○をつけ、活動状況を御記入してください。

※兄弟姉妹で御利用中の場合は、それぞれのお子さんの状況をお答えください

※３人以上のお子さんが利用している場合は、下からお二人の状況をお答えください。

		（1 人目）	（2 人目）
１．学習塾	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
２．スポーツクラブ	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
３．音楽教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
４．語学教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
５．書道教室	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
６．その他（　　）	⇒	週(　)日(　)時～(　)時	週(　)日(　)時～(　)時
７．習い事はしていない			

問８　あなたが民間の放課後児童クラブを御利用している理由について、主なもの３つまでに○をつけてください。

１．安全に放課後を過ごせる	２．交友範囲が広がる	３．子どもの成長発達に役立つ
４．豊富な活動内容や行事	５．外遊びができる	６．家がたまり場となるのが心配
７．信頼できる指導員がいる	８．行動を把握できる	９．おやつ等の提供がある
10．送迎がある	11．子どもの希望	
12．その他（　　）		

問９　あなたが利用している放課後児童クラブの全体的な満足度について、当てはまるものに○をつけてください。

１．大変満足している	２．ある程度満足している	３．少し不満である
４．不満である	５．どちらともいえない	

問 10　放課後児童クラブを退会する場合のあなたの判断基準について、当てはまるもの１つに○をつけてください。

１．学年の進行	２．留守番の可否	３．子どもの意向	４．友人の動向
５．習い事の状況	６．６年生まで利用予定	７．その他（　　）	

問 11　放課後児童クラブの開設時間とあなたの利用状況について、当てはまるものに○をつけてください。

１．適当である　　２．適当ではない

【「２．適当ではない」に○をつけた方にお伺いします】

何時を希望しますか　平日　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

土曜日　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

長期休　⇒(　　)時(　　)分～(　　)時(　　)分

問 12　あなたが放課後児童クラブに今後望むことについて、主なもの３つまでに○をつけてください。

１．読書活動の充実	２．学習に関する取組の充実	３．体力づくりの充実
４．野外活動の充実	５．スタッフ体制の充実	６．保護者との情報共有の強化
７．施設の拡充	８．開設時間の延長	９．日曜・祝日の開所
10．その他（　　）		11．　現状で十分

問 13　あなたが利用している放課後児童クラブの会費について、当てはまるものに○をつけてください。

１．高い　　２．少し高い　　３．少し安い　　４．安い　　５．わからない

【「１．高い」または「２．少し高い」に○をつけた方にお伺いします。】

いくらぐらいが適当だと思いますか　⇒　月額　（　　）　円程度

問 14　最後に、民間の放課後児童クラブについて、御意見や御要望がございましたら、自由に御記入ください。

御協力ありがとうございました